

令和 6 年度

市民アンケート実施結果

報 告 書

令和 6 年 8 月

鹿角市総務部政策企画課総合戦略室

目 次

I	実施概要	3
II	回収状況	4
III	調査の総括	5
IV	設問別集計結果	17
1	市の政策について	18
2	運動の実施状況について	28
3	健康づくりについて	30
4	医療相談が受けられる環境づくりについて	32
5	芸術鑑賞について	33
6	コモッセの利用状況について	35
7	文化財等について	36
8	大湯環状列石について	39
9	中心市街地について	40
10	大館能代空港の利用について	42
11	カーボンニュートラルについて	46
12	まちの満足度について	48
13	自由意見	55
資料	令和6年度市民アンケート回答票	73

I 実施概要

1 実施目的

政策評価の一環として、第7次鹿角市総合計画の成果指標に係るデータを把握するとともに、各施策に対するニーズ（需要）を調査・把握し、今後の政策推進に活用するほか、広聴の一環として市民の意見を市政に反映することを目的とします。

2 設問構成

設問	設問の趣旨	担当課
1 あなた自身について	居住地区、性別、年代、職業の確認	—
2 市の政策について	第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略における取組方針毎の満足度と重要度の把握	政策企画課
3 運動の実施状況について	運動や生活活動の頻度とその時間の把握	すこやか子育て課
4 健康づくりについて	RIZAP 健康セミナーの認知度の把握 有料会員ジムの利用意向の把握	すこやか子育て課
5 医療相談が受けられる環境づくりについて	テレフォン病院 24 の認知度の把握	福祉総務課
6 芸術鑑賞について	芸術鑑賞した割合の把握	生涯学習課
7 コモッセの利用状況について	コモッセの利用状況の把握	生涯学習課
8 文化財等について	文化財等に接する機会の把握 文化財等の保存活用に向けて注力すべき取組項目の把握 文化財等の保存活用への協力意向の把握	生涯学習課
9 大湯環状列石について	大湯環状列石への訪問歴と施設整備に望む項目の把握	大湯ストーン サークル館
10 大館能代空港の利用について	大館能代空港の利用割合及び運賃助成制度の認知度の把握	産業活力課
11 中心市街地について	中心市街地の生活環境に対する満足度と不満要因の把握	政策企画課
12 カーボンニュートラルについて	「2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」の認知度及び地球温暖化の影響について関心がある項目の把握	産業活力課
13 まちの満足度について	まちに活力や魅力、快適な環境があると思う方の割合の把握	政策企画課
14 自由記入	市に対する提言、改善要望 第7次総合計画後期計画に望むことなど	—

3 実施期間

令和6年4月25日（木）～5月7日（火）まで

4 実施対象

令和6年4月25日時点で住民基本台帳に登録されている方のうち、無作為によって抽出した満年齢18歳から74歳までの市民900人。抽出にあたっては性別、年齢、地域条件を考慮し均衡を図ったほか、令和3年度から令和5年度までの市民アンケート調査対象者を除いています。

5 実施方法

- (1) 配付 自治会長及び広報等配布員による配付（一部郵送）
- (2) 回収 郵便（受取人払い）による回収及びインターネット回答による受付

II 回収状況

1 回収率

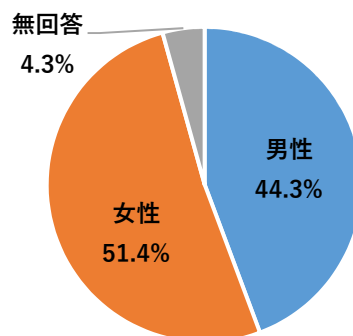
52.1%（469 人／900 人） ※令和 5 年度の回収率 49.1%（442 人／900 人）

2 回答者の属性

市民アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は次のとおりです。構成比¹は、その区分の対象者（回答者）が全対象者（回答者）のうち何%を占めているかを表しています。回収率²は、その区分の対象者数のうち何%³が回答を寄せたかを表しています。

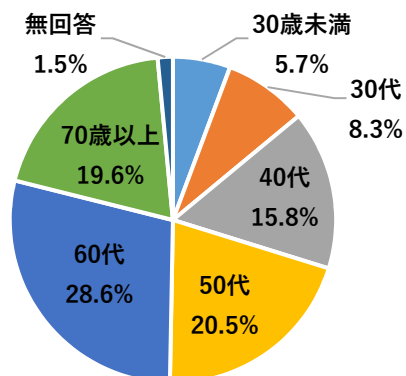
(1) 男女別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
女 性	433	48.1%	241	51.4%	55.6%
男 性	467	51.9%	208	44.3%	44.5%
無回答	-	-	20	4.3%	-
計	900	100%	469	100%	52.1%



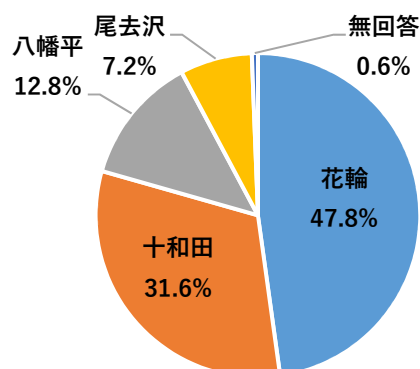
(2) 年代別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
30 歳未満	97	10.8%	27	5.7%	27.8%
30 代	101	11.3%	39	8.3%	38.6%
40 代	165	18.3%	74	15.8%	44.8%
50 代	175	19.4%	96	20.5%	54.9%
60 代	224	24.9%	134	28.6%	59.8%
70 歳以上	138	15.3%	92	19.6%	66.7%
無回答	-	-	7	1.5%	-
計	900	100%	469	100%	52.1%



(3) 地区別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
花 輪	427	47.6%	224	47.8%	52.5%
十和田	294	32.6%	148	31.6%	50.3%
八幡平	110	12.2%	60	12.8%	54.5%
尾去沢	69	7.6%	34	7.2%	49.3%
無回答	-	-	3	0.6%	-
計	900	100%	469	100%	52.1%



¹ 構成比 ＝ その区分に属する対象者数（回答者数）÷ 全対象者数（全回答者数）

² 回収率 ＝ その区分に属する回答者数 ÷ その区分に属する対象者数

³ 各設問における項目選択の割合（%）は、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合があります。

Ⅲ 調査の総括



Ⅲ 調査の総括

1 市の政策について

▶ 詳細分析 P 18

(1) 市が進めている取組に対する満足度

順位	取組方針	満足度 スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わから ない	無回答
1 位	ごみの適正処理と 資源リサイクルの推進	3.37	10.2%	25.6%	48.4%	4.9%	3.6%	4.1%	3.2%
2 位	心身の健康づくり	3.23	7.2%	21.7%	49.7%	6.8%	4.5%	7.5%	2.6%
3 位	衛生的で良好な 生活環境の確保	3.18	11.5%	16.4%	46.9%	7.9%	7.7%	6.4%	3.2%
4 位	文化財の保存への取組	3.13	4.9%	17.3%	50.5%	7.7%	4.1%	11.9%	3.6%
5 位	火災や救急に対する 体制強化の推進	3.12	5.6%	14.3%	53.5%	7.7%	3.8%	11.5%	3.6%

市が進めている取組に対する満足度として最も高い評価を得たのは、「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」です。破碎処理場が供用開始され、ごみ処理における利便性の向上が図られていることに加え、市民のごみの適正処理と再資源化へのライフスタイルの浸透が高く評価されていると考えています。

2 番目に多く選ばれたのは、「心身の健康づくり」です。働き盛り世代への啓発や母子への適切な支援、ワクチン接種等について新たな費用助成の追加が評価されたものと考えています。

3 番目に多く選ばれたのは「衛生的で良好な生活環境の確保」です。水洗化の促進や、安全な水道水の安定供給が評価されていると考えられます。

4 番目は、「文化財の保存への取組」です。世界遺産のまちとしての認知度が向上しているほか、鹿角地域文化財保存活用計画の策定を進めていることなど、文化財を守り、伝える体制づくりが高い評価になったと考えられます。

5 番目は、「火災や救急に対する体制強化の推進」です。迅速に対応できる組織体制のほか、消防フェア等での応急手当の普及啓発や緊急通報時の応急処置の丁寧な誘導等が評価されたものと考えられます。

(2) 今後のまちづくりに対する重要度

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
1 位	適切な医療を受けられる 体制の整備	4.62	65.5%	18.5%	7.0%	0.9%	0.0%	1.7%	6.4%
2 位	市民等の意欲のある 就労・就農に対する支援	4.41	49.5%	26.1%	11.7%	0.6%	0.2%	5.5%	6.4%
3 位	地域産業の成長を支援	4.34	45.8%	25.2%	13.2%	1.5%	0.2%	8.3%	5.8%
4 位	地域ぐるみの 子育て支援の充実	4.31	49.0%	23.4%	15.1%	1.3%	1.1%	4.3%	5.8%
5 位	子どもから青少年までの 生きる力を育む	4.24	40.7%	29.4%	18.8%	0.2%	0%	4.5%	6.4%

今後のまちづくりに対する重要度として最も多くの方に選ばれたのは、「適切な医療を受けられる体制の整備」です。昨年度と同様、出産に関する環境の整備を求める意見があったほか、医師確保に加え、看護師の確保を求める意見も出されました。

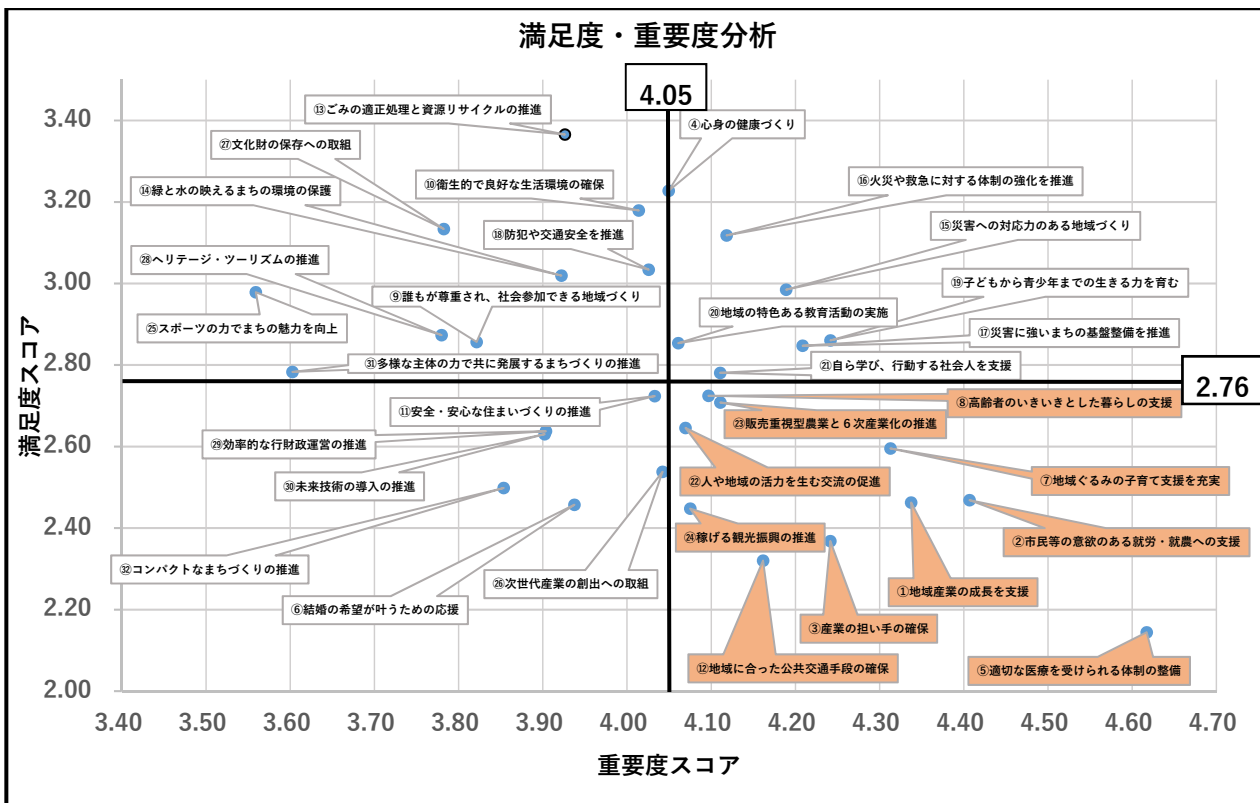
2 番目に多く選ばれたのは、「市民等の意欲のある就労・就農に対する支援」です。就労者の賃上げを求める意見があったほか、人材確保に向けた高齢者の就労支援や、事業所の施設整備助成によって、企業誘致を促進し、若者の就職先の確保を求める意見がありました。

3 番目に多く選ばれたのは、「地域産業の成長を支援」です。所得の向上を図り、若者や働き盛り世代が住みやすいと思える地域づくりが求められているほか、人口減少を見据えた、持続可能な地域経済の構築への意見がありました。

4 番目は「地域ぐるみの子育て支援の充実」で、子育て・教育にかかる経済的支援のさらなる拡充が求められているほか、子育て支援が当たり前になっている現代において、親としての教育や役割について考えることが重要との意見がありました。

5 番目は「子どもから青少年までの生きる力を育む」で、学力だけではない、鹿角市独自の多様な教育の推進のほか、通学や不登校児童への支援などソフト面の充実を求める意見があったほか、学校の統合を求める意見もありました。

(3) 満足度と重要度によるクロス集計分析



本市の32の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から4つの領域に分けることができ、特に右下の領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。

満足度が低く、重要度が高いのは、「①地域産業の成長を支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農を支援」、「③産業の担い手の確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑫地域に合った公共交通手段を確保」、「⑲人や地域の活力を生む交流の促進」、「㉓販売重視型農業と6次産業化の推進」、「㉔稼げる観光資源の推進」の10項目でした。

昨年度と同様、市内産業の活性化と雇用に関する施策が重要視されています。「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」は、我が国の医療制度において非常に重要で難しい課題ですが、具体的な改善策が求められています。

「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」については、国の「こども未来戦略」に基づき支援を強化していくほか、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑫地域に合った公共交通手段を確保」については、高齢者の移動手段の確保を含み、自家用車を持たない方が公共交通を利用しやすくなるよう、地域の特性やニーズに応じた柔軟な施策を展開していきます。

2 運動の実施状況について

週 1 回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合							▶ 詳細分析 P 28
基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
52.2%	52.8%	61.5%	57.0%	62.5%	—	—	65.0%

(第 3 次鹿角市スポーツ推進計画成果指標)

令和 5 年度の「週 1 回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合」は 62.5%と昨年を 5.5 ポイント上回っています。

年代別では、これまで働き盛り世代の実施率が低い状況でありましたが、昨年度と比較して、30 代が 5.3 ポイント増加、40 代が 5.8 ポイント増加、50 代が 2.8 ポイント増加しています。週 1 回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は、60%を超えてきており、新型コロナウイルスが 5 類に移行してから 1 年が経過し、あらゆる年代において、運動の習慣がついてきたものと思われます。

健康な生活習慣が根付く社会の実現に向けて、特に、運動習慣がない市民への足掛かりとなるよう、短時間で簡単にできる運動について普及を進めていきます。

3 健康づくりについて

RIZAP 健康セミナーを知っていた人の割合	39.9%	▶ 詳細分析 P 30
------------------------	-------	-------------

RIZAP 健康セミナーを知っていた割合は 39.9%で、6 割近い方に周知が行き届いていなかったことが分かりました。年代別では、40 代で知っていた割合が 52.7%と半数を超えており、関心が高いことが分かりました。

知っていたが参加しなかった割合は 20%で、年代別では 40 代と 30 歳未満が多くなっています。参加しなかった理由としては、「時間がない」と回答した方が最も多く、次いで「興味がない」、「魅力がない」と続きました。

今後の RIZAP 健康セミナーの開催については、周知方法と参加率を上げる取組みを工夫し、多くの方にご参加いただけるよう改善していきます。

有料会員制スポーツジムを利用したい人の割合	24.9%	▶ 詳細分析 P 31
-----------------------	-------	-------------

スポーツジムの利用については、「利用したい」が 24.9%、「利用しない」が 45.0%、「分からない」が 28.6%でした。

「利用したい」方を年代別に見ると、40 代と 50 代が 32%台と最も割合の多い年齢層となりました。利用しない理由としては、「興味がない・必要と思わない」「費用が高い」が多く、50 代以上では、「費用が高い」よりも「興味がない・必要と思わない」方の割合が多くなっています。

スポーツジムの利用については、一定のニーズがあることが分かりましたが、「利用しない」と回答した方が 4 割以上いましたので、市民が気軽に運動に取り組むことができる機会創出の一つとして、慎重に検討していきます。

4 医療相談が受けられる環境づくりについて

テレフォン病院 24 事業を知っていた人の割合	44.3%	▶詳細分析 P 32
(参考)令和 4 年度アンケート結果	29.2%	

「テレフォン病院 24」事業を知っていた人の割合は 44.3%で、令和 4 年度に実施した前回調査 (29.2%) よりも 15.1 ポイント増加しました。年代別では、すべての年代で前回調査よりも増加していますが、30 歳未満が 22.2%と各年代と比較して約半数と低くなっています。

令和 5 年度に事業周知用のマグネットシートを全戸配布したことなどにより、相談件数・入電件数ともに増加しました。今後は、チャットボット (AI を活用した自動会話プログラム) による乳幼児の育児・健康相談や、ウェブ健康相談などについても紹介しながら、認知度が低かった若年層を中心に事業のメリットと利用について周知していきます。

5 芸術鑑賞について

1 年間に文化芸術鑑賞に親しんだ割合							▶詳細分析 P 33
—	R2	R3	R4	R5	R6	R7	—
—	23.0%	26.5%	44.1%	43.7%	—	—	—

芸術鑑賞をした人の割合は全体で 43.7%となり、昨年度より 0.4 ポイント減少しましたが、芸術鑑賞した人のうちコモッセで鑑賞した人は 73.6%で、昨年度より 5.4 ポイント増加しました。

年代別では、昨年度と比較し、30 歳未満が 13.4 ポイント減少したほか、30 代は 22.4 ポイント減少しました。

さまざまな世代が市内で質の高い文化芸術に触れる機会を得られるよう考慮しながら、若い世代が関心を寄せる内容も充実させ、心の豊かさを実感できる環境づくりを進めます。

6 コモッセの利用状況について

1 年間にコモッセを利用した割合							▶詳細分析 P 35
—	R2	R3	R4	R5	R6	R7	—
—	50.6%	54.7%	62.5%	60.2%	—	—	—

コモッセを利用した人は全体で 60.2%となり、昨年度より 2.3 ポイント減少しました。利用回数は、利用した人の中では年 3 回程度が多く、定期的な利用があることが見てとれます。年代別では 30 歳未満が 18.1 ポイント、30 代が 20.7 ポイントそれぞれ減少し、50%台に落ち込んでいます。

利用しない理由としては、「行く機会がない」と回答した人が多かったため、図書館、市民センター、子育て支援施設、文化ホールの複合施設全体の催しの情報発信を強化することで、多くの市民が学び、集い、交流する施設となるよう目指していきます。

7 文化財等について

▶ 詳細分析 P 36

順位	設問項目（日常生活の中で文化財・歴史文化・文化遺産に接する機会）	割合	回答者数
1 位	地域・家庭で行われるまつりや伝統行事、年中行事	49.9%	234 人
2 位	旅行・観光	29.2%	137 人
3 位	情報メディアやホームページ、SNS 等	23.0%	108 人
4 位	博物館などの文化施設での展示や講演・講座	13.2%	62 人
5 位	学校での授業や行事	11.1%	52 人
6 位	その他	0.4%	2 人

日常生活の中で文化財などに接する機会として最も割合が高かったのは、「地域や家庭で行われるまつりや伝統行事、年中行事」で、約半数の方が選んでいます。次いで高かった「旅行や観光」と合わせ、直接的な体験機会が多い一方で、「情報メディアやホームページ、SNS 等」が 23.0%と、間接的な接触機会は少ないことが分かりました。また、「機会がない」と答えた方は 29.0%で、一定数の方が文化財に接する機会がないと述べています。

接する機会が最も多かった「まつりや伝統行事等」については、30 歳未満と 30 代の若年層が他の年代に比べて低い結果となりました。

文化財等に広く接してもらう機会を増やすために、まつりや伝統行事等に参加しやすい仕組みづくりの検討のほか、デジタル技術の活用や SNS 等を使った積極的な情報発信を進めていきます。

順位	設問項目（保存活用を進める上で力を入れるべきだと思う取組み）	割合	回答者数
1 位	まつりや伝統行事等の担い手の育成	65.5%	307 人
2 位	建造物や仏像などの有形文化財の保存や修理	30.3%	142 人
3 位	学校教育での充実	29.6%	139 人
4 位	古民家などを生かした民間事業者等によるビジネス化	27.1%	127 人
5 位	講座や展示、情報発信の充実	26.7%	125 人
6 位	防災・防犯等への対策	24.5%	115 人
7 位	その他	3.6%	17 人

文化財等の保存活用を進める上で力を入れるべきだと思う取組みは、「まつりや伝統行事等の担い手の育成」の割合が最も高く、すべての地区、年代で 60%以上でした。次いで「建造物や仏像などの有形文化財の保存や修理」が 30.3%、「学校教育での充実」が 29.6%、「古民家などを生かした民間事業者等によるビジネス化」が 27.1%でした。

調査から、地域のまつりや伝統行事の継承に欠かせない担い手の育成が、全世代共通の強い関心であることがあらためて分かりましたので、担い手育成対策により一層注力するとともに、将来の担い手確保につながる「学校教育での充実」にも努めてまいります。

順位	設問項目（自分でもできる取組み）	割合	回答者数
1 位	イベント等への支援や遺跡・文化財等の草刈りなどのボランティア活動	29.2%	137 人
2 位	保存活用のための寄付	25.8%	121 人
3 位	担い手としてまつりや伝統行事等への参加	24.1%	113 人
4 位	SNS やインターネット等での情報発信	20.0%	94 人
5 位	その他	8.1%	38 人

自分でも協力できる取組みでは、「イベント等への支援やボランティア活動」が 29.2%、「保存活用のための寄付」が 25.8%、「担い手としてまつりや伝統行事等への参加」が 24.1%、「SNS やインターネット等での情報発信」が 20.0%でした。

年代別では、「イベント等への支援やボランティア活動」については 30 代未満と 30 代の若年層が 10%台でしたが、40 代以降は協力できると感じている割合が高くなっています。逆に、担い手としての参加や SNS 等での情報発信については 30 代未満がどちらも 40.7%と他の年代より高く、自身の興味関心や気軽に取り組めることが協力のしやすさにつながっているものと考えられます。また、保存活用のための寄付については、すべての年代で 20%以上となっています。

今後は、ボランティアを含め、まつりや伝統行事に参加しやすい仕組みづくりのほか、クラウドファンディング等の手軽に寄付ができる取組みについて、検討していきます。

8 大湯環状列石について

▶ 詳細分析 P 39

順位	設問項目（展示に期待する内容）	割合	回答者数
1 位	体験型の展示（触れられる展示物の設置、生活体験など）	36.7%	172 人
2 位	最新の映像技術を取り入れた展示	27.1%	127 人
3 位	展示スペースの拡張	18.1%	85 人
4 位	その他	7.7%	33 人

「体験型の展示」を選択した方が全体で 36.7%と最も高くなりました。特に、女性の期待が高く、年代別では 30 代、40 代の年齢層のニーズが高い結果となりました。

「最新の映像技術を取り入れた展示」は、全体で 27.1%となり、女性 22.0%、男性 32.7%で、女性よりも男性の方が 10 ポイント以上高くなりました。

「展示スペースの拡張」は、全体で 18.1%でした。女性よりも男性の関心が高いことがうかがえますが、相対的に見て期待はあまり高くありませんでした。

文化財を観光資源として活用するためには、市民がその文化財に親しみを持っていることが不可欠であると考えます。まずは、市民がストーンサークルに魅力を感じ、満足できるよう、継続的にイベント等を企画・開催するとともに、効果的な周知に努めていきます。

9 中心市街地について

中心市街地の環境に満足している市民の割合							▶ 詳細分析 P 40
基準値 (H30-R2 平均)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
53.6%	58.1%	55.9%	58.1%	55.9%	—	—	60.0%

(鹿角市中心市街地活性化プラン数値目標)

「満足」「やや満足」と回答した割合は 55.9% で前年を 2.2 ポイント下回りました。

年代別では、30 歳未満の満足度が 70.4% と最も高く、30 代、40 代は昨年同様 60% 以上となっており、比較的若い方の満足度は高くなっています。

不満と感じる理由では、公共交通機関が不便であること、駐車場が少ないことが最も多く、次いで飲食店などの店舗の少なさから、活気がないことが挙げられています。

公共交通機関のアクセス向上を図りながら、まちなかへの緩やかな人口の集約や空き店舗の利活用など、まちの賑わいの創出に取り組むことで、暮らしやすく、訪れたい中心市街地の形成を目指していきます。

10 大館能代空港の利用について

昨年度に空港を利用した人の割合

12.4%

▶ 詳細分析 P 42

設問項目（利用した空港）	順位	利用率	回答者数
1. 大館能代空港⇄羽田空港	1 位	66.6%	40 人
2. 青森空港⇄羽田空港	2 位	13.3%	8 人
3. 青森空港⇄新千歳空港	3 位	10.0%	6 人
8. いわて花巻空港⇄伊丹空港	4 位	3.3%	2 人
4. 青森空港⇄名古屋空港	5 位	1.7%	1 人
5. 青森空港⇄小牧空港	5 位	1.7%	1 人
6. 秋田空港⇄羽田空港	5 位	1.7%	1 人
7. 秋田空港⇄伊丹空港	5 位	1.7%	1 人

昨年 1 年間に空港を利用した人の割合は 12.4%でした。利用者のうち 3 分の 2 が大館能代空港を利用しており、羽田空港行きの空路においては主に大館能代空港が選択されていることが分かりました。

大館能代空港東京羽田線は、令和 7 年 3 月まで増便が決定し、1 日 3 往復運航していますが、以降も 3 往復運航を維持するため、利用者の増加を目指しています。

空港を利用した人の全体数としては多くはないことから、大館能代空港の利便性のほか空港の利用方法の周知に努めるとともに、引き続き、周辺自治体と連携しながら魅力の向上に努めていきます。

運賃助成制度の認知度

23.9%

▶ 詳細分析 P 44

運賃助成制度については、70%以上が知らなかったと回答しており、さらなる周知が必要です。

年代別にみると、知らなかったと回答した年代のうち 30 歳未満の比率が 81.5%と最も高くなっています。

制度の周知については、市広報紙のほかホームページを中心に行っていますが、30 歳未満や 30 代での認知度が比較的低いことを踏まえ、空港利用促進の効果的なプロモーション活動のほか、SNS 等の活用も周辺自治体と連携して進めていきます。

11 カーボンニュートラルについて

「鹿角市2030ゼロ・カーボンシティ宣言」の認知度

38.4%

▶詳細分析P46

「鹿角市2030ゼロ・カーボンシティ宣言」を知っている人の割合は38.4%であり、昨年度の39.6%と比べて1.2ポイントの減少となりました。

年代別では30歳未満の認知度が22.2%で、特に若年層の認知度が低い結果となりました。

昨年度と比較し、課題としていた女性の認知度は36.5%で、昨年度より3ポイント改善しました。

一方で、男性の認知度は39.5%で女性の認知度とほぼ同水準にとどまり、昨年度と比較し7.8ポイント減少しています。

ゼロ・カーボンシティ実現のためには、全市を挙げた取組みが重要でありますので、若年層を中心にさらなる意識醸成を図っていきます。

順位	設問項目（日常生活で取り組んでいるもの）	割合	回答者数
1位	こまめな消灯などの省エネ	69.3%	325人
2位	冷暖房の適切な温度設定	58.2%	273人
3位	宅配便の再配達防止	30.1%	141人
4位	住まいの断熱	27.1%	127人
5位	省エネ効果の高い製品の購入	23.7%	111人
6位	電気自動車の選択やエコドライブの実践	14.3%	67人
7位	徒歩・自転車・公共交通機関の利用	11.9%	56人

全体で見ると、「冷暖房の適切な温度設定」は58.2%、「こまめな消灯などの省エネ」は69.3%と、自宅で簡単にできる取組みはおおよそ半数が行っていることが分かりました。

費用が高額となる取組みは比較的低い結果となりましたが、支援制度のある「住まいの断熱」は27.1%と一定程度みられ、「省エネ効果の高い製品の購入」よりも3.4ポイント高い結果となりました。

取り組んでいる割合の高かった「冷暖房の適切な温度設定」は、60代は68.7%が取り組んでいるのに対して、30歳未満は40.7%であったほか、「こまめな消灯などの省エネ」も各年代と比較し30歳未満が低いという結果となりましたので、ゼロ・カーボンシティ宣言の認知度と同様に、若い世代へのアプローチに努めてまいります。

12 まちの満足度について

▶詳細分析 P 48

第7次鹿角市総合計画前期基本計画における戦略目標について、各分野の取組がどのように評価されているかを把握することを目的としています。

(「思う」「どちらかといえば思う」と回答した人の割合)

設問項目	R1 (基準値)	R5	基準値との差
1. 市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思う	19.5%	12.6%	▲6.9
2. 心身ともに健康に暮らせていると思う	58.7%	44.8%	▲13.9
3. 生活環境が快適なまちだと思う	49.7%	45.6%	▲4.1
4. 安全で安心して暮らせるまちだと思う	77.6%	70.0%	▲7.6
5. 市外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思う	23.4%	21.4%	▲2.0
6. 文化遺産が豊富で誇れるまちだと思う	51.3%	55.9%	+4.6
7. 自分に必要な行政サービスが受けられていると思う	59.8%	48.6%	▲11.2

7つの設問のうち、6つの満足度で基準値を下回りました。

まちの満足度が低下した原因として、物価高騰などの経済的な要因や医師不足などの社会インフラが足りていないなど、様々な問題が複合的に影響していると考えています。

また、本市の閉塞感が影響している可能性も考えられます。商業活動の減少など地域の活気が失われていることや、明るい話題が少ないと感じている市民が多いと推察しています。

市が行っている事業については、市民が情報を適切に受け取れるよう、情報発信の強化を図るとともに、先述した要因に対しては、部署横断的に連携を強化しながら、より効果的な施策を実施できるよう取り組んでいきます。

IV 設問別集計結果



1 市の政策について

設問2 あなたは、市が進めている取組にどれくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。あなたの考えに一番近い番号を、それぞれ1つつ選んで○をつけてください。

◆市が進めている取組に対する満足度

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「満足」、4「やや満足」、3「普通」、2「やや不満」、1「不満」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これまでの満足度」に関する状況を調査しています。

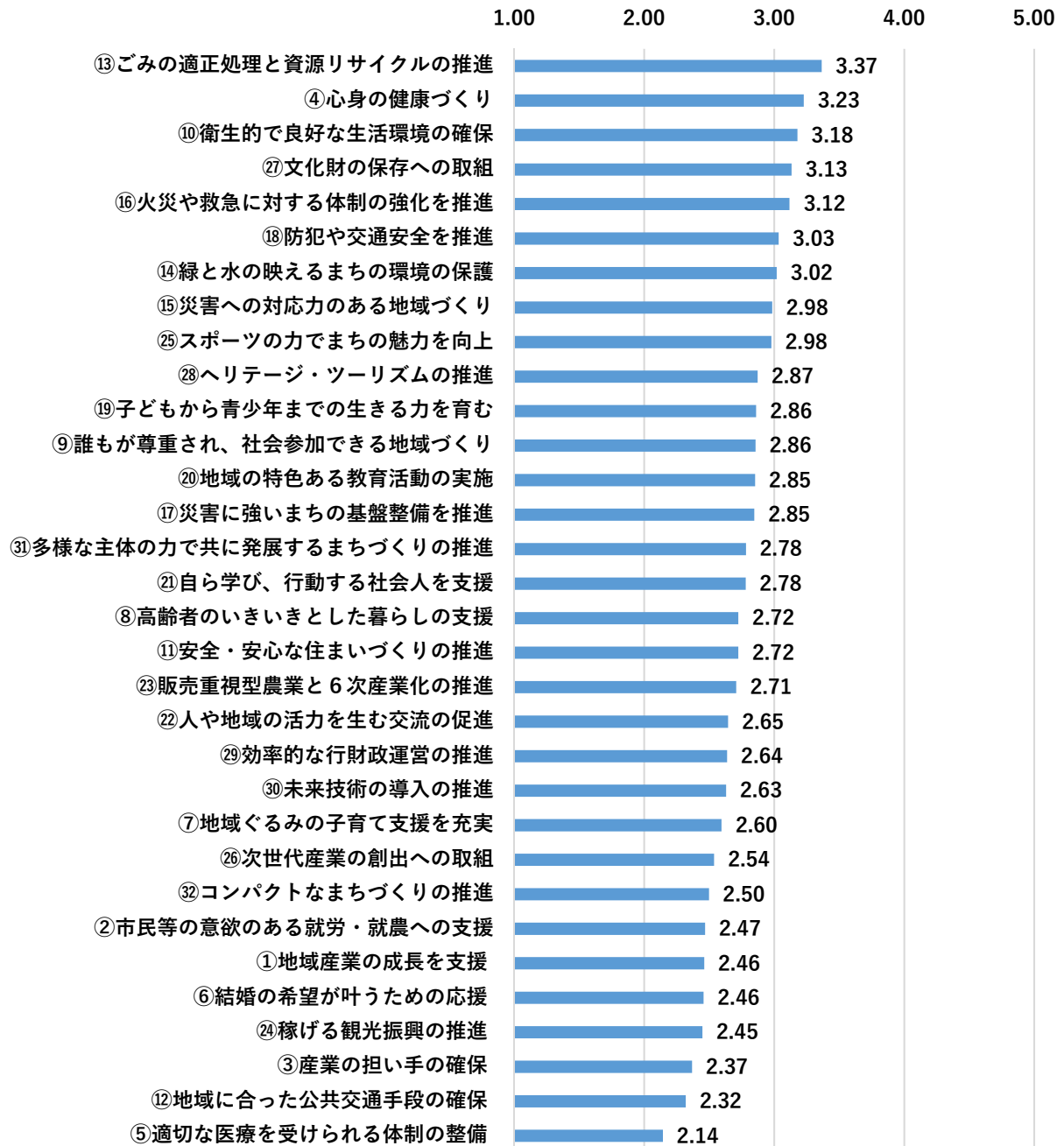
(1) 全体

〔単位：点〕

順位	取組方針	満足度スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わからない	無回答
1位	⑬ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.37	10.2%	25.6%	48.4%	4.9%	3.6%	4.1%	3.2%
2位	④心身の健康づくり	3.23	7.2%	21.7%	49.7%	6.8%	4.5%	7.5%	2.6%
3位	⑩衛生的で良好な生活環境の確保	3.18	11.5%	16.4%	46.9%	7.9%	7.7%	6.4%	3.2%
4位	⑳文化財の保存への取組	3.13	4.9%	17.3%	50.5%	7.7%	4.1%	11.9%	3.6%
5位	⑯火災や救急に対する体制の強化を推進	3.12	5.6%	14.3%	53.5%	7.7%	3.8%	11.5%	3.6%
6位	⑱防犯や交通安全を推進	3.03	3.9%	10.2%	62.3%	7.2%	3.8%	9.0%	3.6%
7位	⑭緑と水の映えるまちの環境の保護	3.02	4.3%	14.3%	53.5%	9.2%	5.9%	9.4%	3.4%
8位	⑮災害への対応力のある地域づくり	2.98	3.2%	14.3%	51.4%	10.0%	6.0%	11.5%	3.6%
〃	㉕スポーツの力でまちの魅力を向上	2.98	3.6%	12.2%	49.3%	8.3%	6.4%	16.2%	4.0%
10位	㉔ヘリテージ・ツーリズムの推進	2.87	1.9%	9.0%	49.3%	11.9%	5.3%	18.3%	4.3%
11位	⑲子どもから青少年までの生きる力を育む	2.86	2.8%	10.0%	47.1%	12.6%	7.0%	15.4%	5.1%
〃	⑨誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり	2.86	1.5%	7.1%	47.6%	10.4%	4.9%	24.7%	3.8%
13位	⑰災害に強いまちの基盤整備を推進	2.85	2.8%	9.4%	51.0%	13.6%	7.0%	12.6%	3.6%
〃	㉔地域の特色ある教育活動の実施	2.85	2.8%	9.2%	45.6%	13.2%	6.4%	17.9%	4.9%

順位	取組方針	満足度 スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わから ない	無回答
15 位	③多様な主体の力で共に発展するまちづくりの推進	2.78	1.5%	6.8%	51.2%	11.5%	7.7%	15.6%	5.7%
〃	④自ら学び、行動する社会人を支援	2.78	2.2%	6.4%	46.9%	13.6%	6.8%	19.0%	5.1%
17 位	⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援	2.72	3.6%	10.1%	40.1%	16.8%	11.5%	16.0%	1.9%
〃	⑪安全・安心な住まいづくりの推進	2.72	2.1%	8.7%	47.1%	18.8%	9.0%	10.2%	4.1%
19 位	②③販売重視型農業と6次産業化の推進	2.71	1.7%	8.7%	41.6%	16.0%	9.4%	18.6%	4.0%
20 位	②②人や地域の活力を生む交流の促進	2.65	1.5%	6.0%	45.2%	14.5%	11.1%	18.1%	3.6%
21 位	②⑨効率的な行財政運営の推進	2.64	1.5%	5.6%	41.4%	15.1%	10.0%	20.9%	5.5%
22 位	③⑩未来技術の導入の推進	2.63	1.1%	2.8%	43.7%	11.9%	9.2%	24.3%	7.0%
23 位	⑦地域ぐるみの子育て支援を充実	2.60	3.0%	11.1%	35.3%	14.3%	17.9%	15.6%	2.8%
24 位	②⑥次世代産業の創出への取組	2.54	1.7%	4.5%	37.3%	17.3%	12.2%	22.1%	4.9%
25 位	③⑫コンパクトなまちづくりの推進	2.50	1.3%	1.7%	42.9%	18.1%	12.2%	18.3%	5.5%
26 位	②②市民等の意欲のある就労・就農への支援	2.47	1.3%	7.7%	34.9%	16.2%	17.7%	17.7%	4.5%
27 位	①①地域産業の成長を支援	2.46	2.4%	4.1%	34.3%	18.3%	15.1%	21.1%	4.7%
〃	⑥⑥結婚の希望が叶うための応援	2.46	0.6%	4.1%	35.8%	15.6%	13.9%	26.7%	3.4%
29 位	②④稼げる観光振興の推進	2.45	1.3%	5.8%	36.5%	19.8%	16.2%	16.8%	3.6%
30 位	③③産業の担い手の確保	2.37	1.5%	4.7%	32.6%	17.7%	18.8%	19.6%	5.1%
31 位	①⑫地域に合った公共交通手段の確保	2.32	1.9%	5.8%	32.2%	25.8%	21.5%	9.4%	3.4%
32 位	⑤⑤適切な医療を受けられる体制の整備	2.14	1.7%	6.8%	27.1%	24.9%	32.4%	4.1%	3.0%

市が進めている取組に対する満足度



(2) 分析結果

市が進めている取組に対する満足度のスコアの最大値は 3.37、最小値は 2.14、平均は 2.76 となりました。

満足度で最も高い評価を得たのは、「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」となりました。「満足」「やや満足」と回答した割合は 35.8%、「やや不満」「不満」と回答した割合は 8.5%で、不満に感じている方は少ないという結果となりました。破碎処理場が供用開始され、ごみ処理における利便性の向上が図られていることに加え、市民のごみの適正処理と再資源化のライフスタイルの浸透が高く評価されていると考えています。

2 番目に多く選ばれたのは、「心身の健康づくり」で、満足度のスコアは 3.23 となりました。全体における「満足」「やや満足」と回答した割合が 28.9%であり、年代別でのばらつきがないことから、働き盛り世代への啓発や母子への適切な支援、ワクチン接種等について新たな費用助成の追加が評価されたものと考えています。

3 番目に多く選ばれたのは「衛生的で良好な生活環境の確保」で、満足度のスコアは 3.18 となりました。水洗化の促進や、安全な水道水の安定供給が評価されていると考えられますが、花輪地区では 36.6%が「満足」「やや満足」と回答している一方で、八幡平地区では、「満足」「やや満足」と回答した方は 18.3%に留まり、「やや不満」「不満」と回答した方の割合は 21.7%となりました。

4 番目は、「文化財の保存」で、満足度のスコアは 3.13 となりました。男女別では、「満足」「やや満足」と回答した割合に大きな差は見られませんでした。が、「不満」「やや不満」と回答した割合は女性の 7.5%に対し、男性は 17.8%となっています。世界遺産のまちとしての認知度が向上しているほか、鹿角地域文化財保存活用計画の策定を進めていることなど、文化財を守り、伝える体制づくりが、高い評価になったと考えられます。

5 番目は、「火災や救急に対する体制の強化を推進」で、満足度のスコアは 3.12 でした。全体で「満足」「やや満足」と回答した割合は約 20%となっているほか、「不満」「やや不満」と回答した割合は 11.5%となっています。迅速に対応できる組織体制のほか、消防フェア等での応急手当の普及啓発や緊急通報時の応急処置の丁寧な誘導等が評価されたものと考えられます。

◆今後のまちづくりに対する重要度

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「重要」、4「やや重要」、3「普通」、2「あまり重要でない」、1「重要でない」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これからの重要度」に関する状況を調査しています。

(1) 全体

〔単位：点〕

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
1位	⑤適切な医療を受けられる体制の整備	4.62	65.5%	18.5%	7.0%	0.9%	0.0%	1.7%	6.4%
2位	②市民等の意欲のある就労・就農への支援	4.41	49.5%	26.1%	11.7%	0.6%	0.2%	5.5%	6.4%
3位	①地域産業の成長を支援	4.34	45.8%	25.2%	13.2%	1.5%	0.2%	8.3%	5.8%
4位	⑦地域ぐるみの子育て支援を充実	4.31	49.0%	23.4%	15.1%	1.3%	1.1%	4.3%	5.8%
5位	③産業の担い手の確保	4.24	41.2%	29.0%	15.4%	1.1%	0.8%	6.1%	6.4%
〃	⑩子どもから青少年までの生きる力を育む	4.24	40.7%	29.4%	18.8%	0.2%	0.0%	4.5%	6.4%
7位	⑦災害に強いまちの基盤整備を推進	4.21	40.3%	29.0%	20.1%	0.4%	0.2%	4.5%	5.5%
8位	⑮災害への対応力のある地域づくり	4.19	39.0%	27.9%	22.2%	0.0%	0.0%	5.1%	5.8%
9位	⑫地域に合った公共交通手段の確保	4.16	39.4%	29.4%	20.5%	0.9%	0.9%	3.4%	5.5%
10位	⑯火災や救急に対する体制の強化を推進	4.12	37.7%	26.0%	25.8%	0.6%	0.0%	4.1%	5.8%
11位	⑮販売重視型農業と6次産業化の推進	4.11	32.0%	32.2%	19.0%	0.9%	0.6%	8.7%	6.6%
〃	⑮自ら学び、行動する社会人を支援	4.11	33.9%	29.9%	22.0%	0.9%	0.2%	6.8%	6.3%
13位	⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援	4.10	38.3%	26.7%	22.2%	2.1%	1.1%	4.7%	4.9%
14位	⑮稼げる観光振興の推進	4.08	34.1%	27.7%	20.3%	2.1%	1.1%	8.3%	6.4%
15位	⑮人や地域の活力を生む交流の促進	4.07	34.0%	26.2%	24.3%	0.9%	0.6%	7.0%	7.0%
16位	⑮地域の特色ある教育活動の実施	4.06	33.5%	27.9%	24.5%	1.5%	0.2%	6.2%	6.2%
17位	④心身の健康づくり	4.05	34.3%	28.6%	26.2%	0.9%	0.6%	3.0%	6.4%

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
18 位	㊸次世代産業の創出への取組	4.04	33.5%	27.5%	22.0%	1.1%	1.9%	8.3%	5.7%
19 位	⑪安全・安心な住まいづくりの推進	4.03	32.6%	29.0%	28.6%	0.2%	0.2%	3.6%	5.8%
〃	⑱防犯や交通安全を推進	4.03	33.7%	26.7%	30.5%	0.4%	0.0%	4.1%	4.6%
21 位	⑩衛生的で良好な生活環境の確保	4.01	34.0%	25.8%	31.3%	0.6%	0.0%	2.1%	6.2%
22 位	⑥結婚の希望が叶うための応援	3.94	29.0%	28.4%	23.0%	3.4%	1.5%	8.7%	6.0%
23 位	⑬ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.93	29.3%	28.4%	34.1%	0.6%	0.2%	2.1%	5.3%
24 位	⑭緑と水の映えるまちの環境の保護	3.92	29.4%	26.7%	32.2%	1.5%	0.4%	4.5%	5.3%
25 位	㊹効率的な行財政運営の推進	3.90	24.8%	27.1%	28.1%	1.3%	0.6%	10.9%	7.2%
〃	⑳未来技術の導入の推進	3.90	25.2%	26.4%	26.0%	1.9%	1.1%	11.3%	8.1%
27 位	㊺コンパクトなまちづくりの推進	3.85	27.1%	23.0%	27.7%	3.8%	1.3%	9.6%	7.5%
28 位	⑨誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり	3.82	23.0%	28.6%	31.3%	1.9%	1.1%	8.5%	5.5%
29 位	㊻文化財の保存への取組	3.78	24.1%	28.8%	31.0%	3.4%	1.9%	5.5%	5.3%
〃	㊼ヘリテージ・ツーリズムの推進	3.78	23.2%	26.0%	30.1%	3.0%	1.9%	9.4%	6.4%
31 位	㊽多様な主体の力で共に発展するまちづくりの推進	3.60	19.8%	21.5%	36.9%	4.3%	2.8%	7.7%	7.0%
32 位	㊾スポーツの力でまちの魅力を向上	3.56	19.2%	21.8%	37.7%	4.1%	3.8%	7.0%	6.4%

今後のまちづくりに対する重要度



(2) 分析結果

今後のまちづくりに対する重要度に関するスコアの最大値は 4.62、最小値は 3.56、平均は 4.05 となりました。

今後のまちづくりに対する重要度が高いものとして最も多くの方に選ばれたのは、「適切な医療を受けられる体制の整備」となりました。回答全体では「重要」「やや重要」と回答した割合は 84.0%で、医療体制の整備は依然として重要視されています。年代別でも、子育て世代である 30 代から 40 代では 8 割以上の方が「重要」と回答しています。昨年度と同様、出産に関する環境の整備を求める意見があったほか、医師確保に加え、看護師の確保を求める意見も出されました。

2 番目に多く選ばれたのは、「市民等の意欲ある就労・就農への支援」で、重要度のスコアは 4.41 でした。回答全体では「重要」「やや重要」と回答した割合は 75.6%で、年代別では、30 代の約 9 割の方が「重要」「やや重要」と回答しました。就労者の賃上げを求める意見があったほか、事業所の施設整備助成によって企業誘致を促進し、若者の就職先の確保を求める意見がありました。

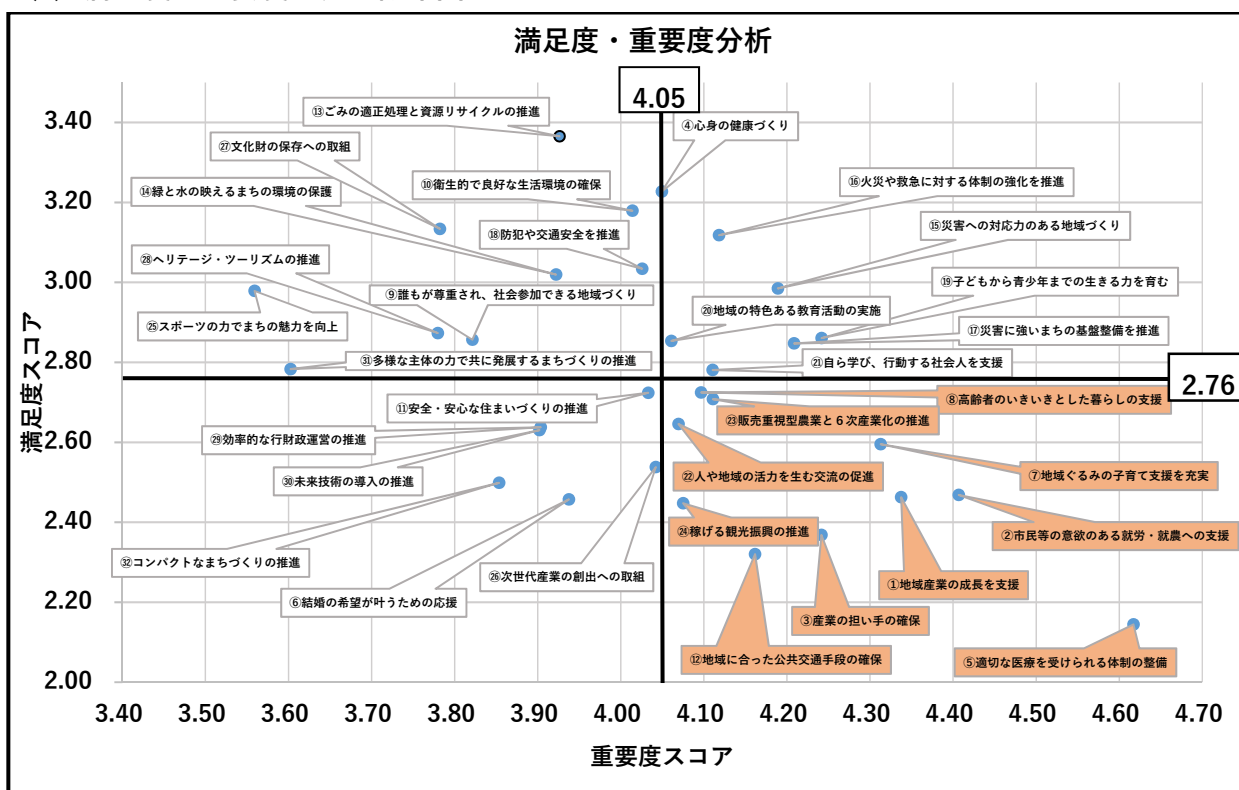
3 番目に多く選ばれたのは、「地域産業の成長を支援」で、重要度のスコアは 4.34 となりました。回答全体では「重要」「やや重要」と回答した割合は 71.0%でした。職業別では、農林業者のうち 64.0%、自営業のうち 62.8%が「重要」と回答しています。若年層が働きたいと思えるような新産業の創出を求める意見があったほか、特産品等、既存の地域資源の有効活用を求める意見がありました。

4 番目は「地域ぐるみの子育てを支援」で、重要度のスコアは 4.31 でした。母子保健の充実や、子育て中の手当の拡充を求める意見のほか、制服や給食費の助成等、就学における支援を求める意見があり、切れ目ない包括的な子育て支援が求められています。

5 番目は「子どもから青少年までの生きる力の育成」で、重要度のスコアは 4.24 となりました。学力だけではない、鹿角市独自の多様な教育の推進のほか、通学や不登校児童への支援などソフト面の充実を求める意見があったほか、学校の統合を求める意見がありました。

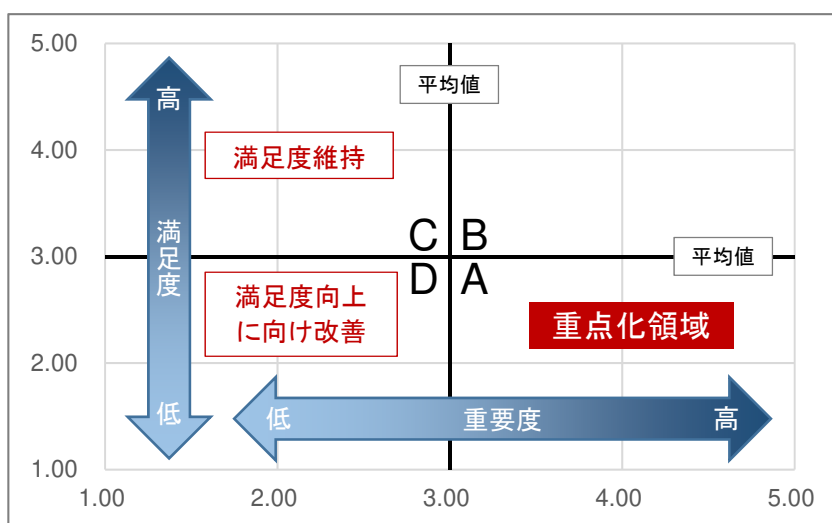
◆「満足度」と「重要度」によるクロス集計分析

(1) 満足度・重要度を表す散布図



(2) 満足度・重要度を表す散布図の見方

本市の32の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から4つの領域に分けることができ、特にA領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。



(3) 分析結果

満足度・重要度が共に高いB領域（グラフ右上側）は、「④心身の健康づくり」、「⑮災害への対応力のある地域づくり」、「⑯火災や救急に対する体制の強化を推進」、「⑰災害に強いまちの基盤整備を推進」、「⑲子どもから青少年までの生きる力を育む」、「⑳地域の特色ある教育活動の実施」、「㉑自ら学び、行動する社会人を支援」であり、今後も重点的に取組を継続していく分野といえます。

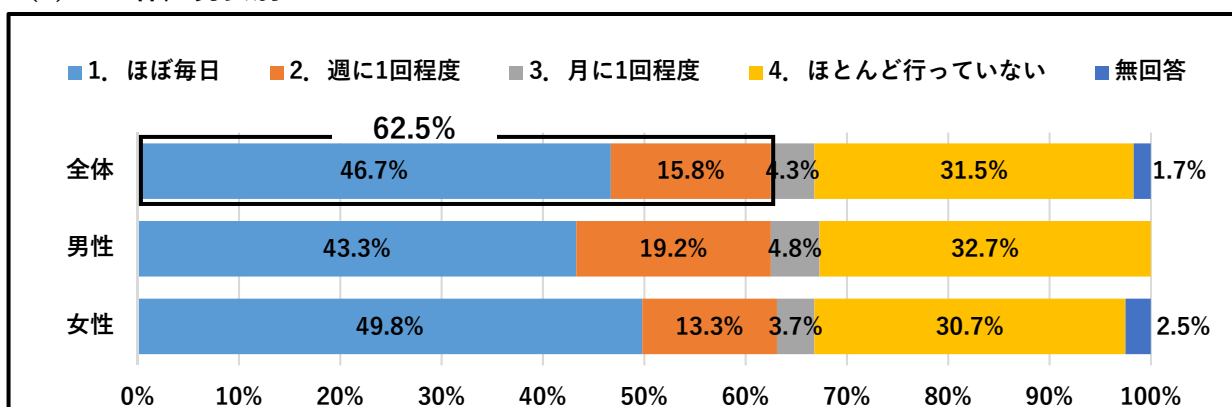
一方、満足度が低く、重要度が高いのは、「①地域産業の成長を支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農を支援」、「③産業の担い手の確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑫地域に合った公共交通手段を確保」、「⑳人や地域の活力を生む交流の促進」、「㉓販売重視型農業と6次産業化の推進」、「㉔稼げる観光資源の推進」の10項目でした。

昨年度と同様、市内産業の活性化と就労・就農への支援が重要視されています。地域の特色ある教育活動と市内産業の連携により、人や地域の活力を生む交流が促進されることで、若年層へのアプローチを図り、生産基盤の整備と、産業の担い手を確保することが必要とされています。「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」については、出産に関する環境の整備を求める意見があったほか、子育て政策が不足しているという意見も散見されました。少子高齢化に際し、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑫地域に合った公共交通手段を確保」については、引き続き医師確保対策や交通手段の利便性向上が求められていると考えられます。

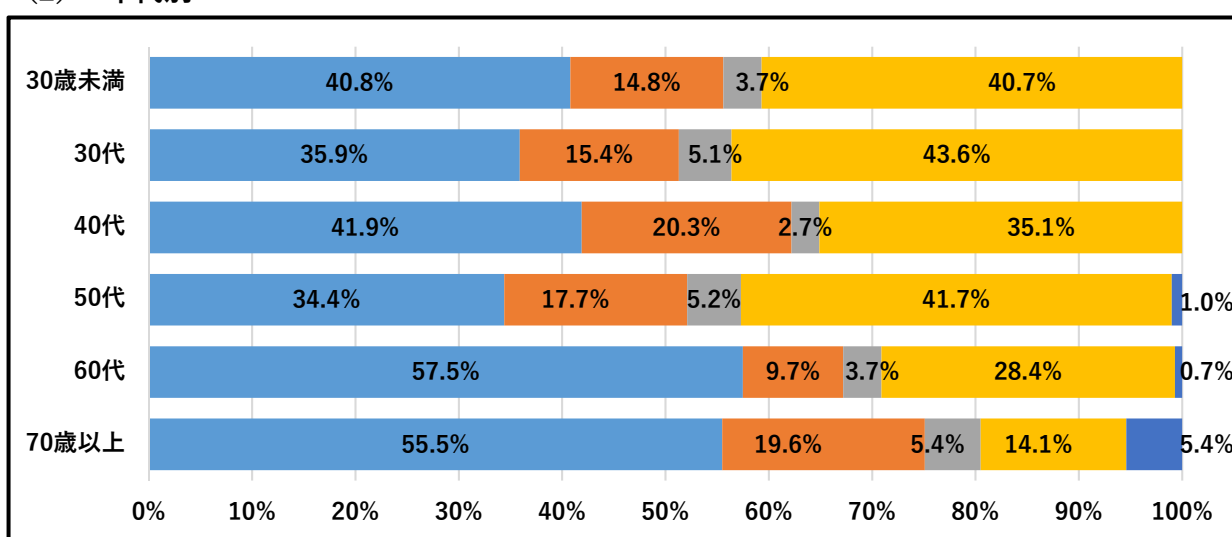
2 運動の実施状況について

設問3 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

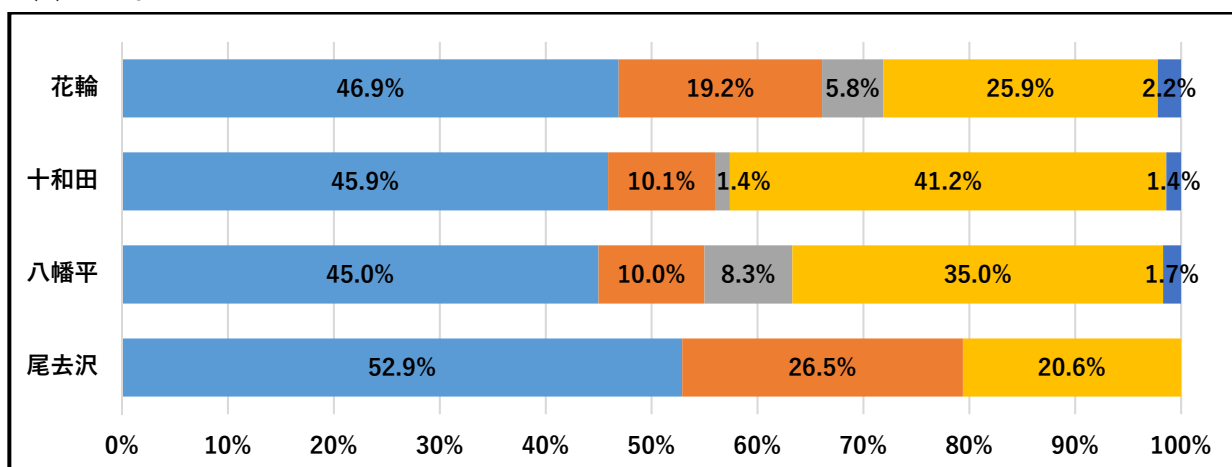
(1) 全体／男女別



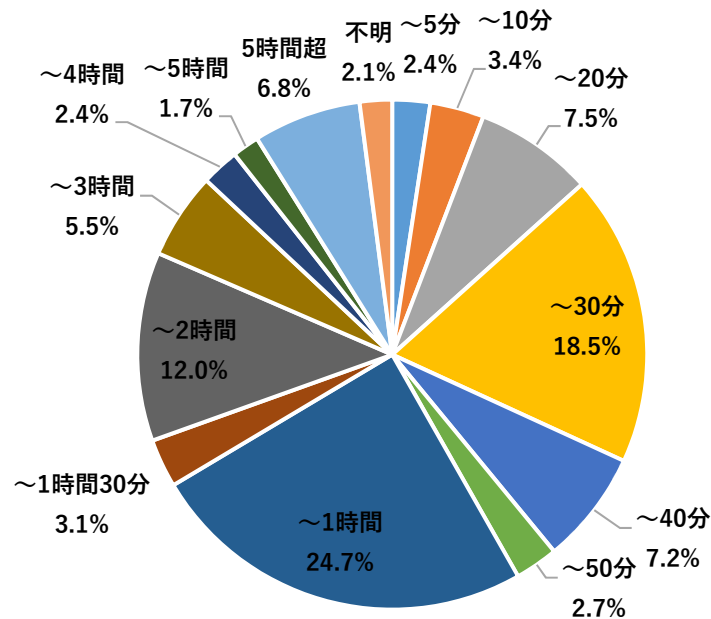
(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 運動時間



(5) 分析結果

週1回以上、運動やスポーツを実施している割合は、62.5%と、昨年度と比べて5.5ポイント増加しました。年代別では、これまで働き盛り世代の実施率が低い状況にありましたが、昨年度と比較して、30代が5.3ポイント増加、40代が5.8ポイント増加、50代が2.8ポイント増加しています。

1回あたりの運動時間は、1時間程度が24.7%で最も多く、次いで30分程度が18.5%、2時間程度が12.0%で続いています。1回あたり2時間以下の運動をしていると答えた方の多くは、ウォーキングやラジオ体操、筋力トレーニングを主に行っており、5時間超と答えた方の多くは、農作業や家事を行っている回答道えています。

週1回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は、6割を超えてきており、新型コロナウイルスが5類に移行してから1年が経過し、あらゆる年代において、運動促進や健康意識が高まりつつあるものと思われます。

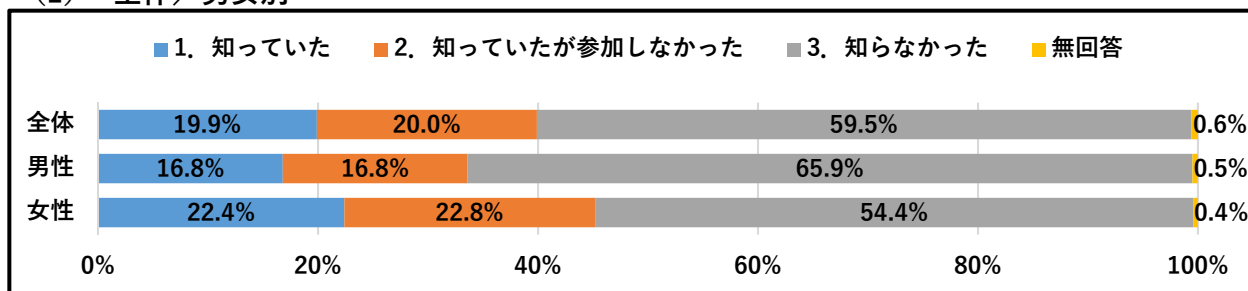
〔参考〕第3次鹿角市スポーツ推進計画成果指標と実績値

週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合							
基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
52.2%	52.8%	61.5%	57.0%	62.5%	—	—	65.0%

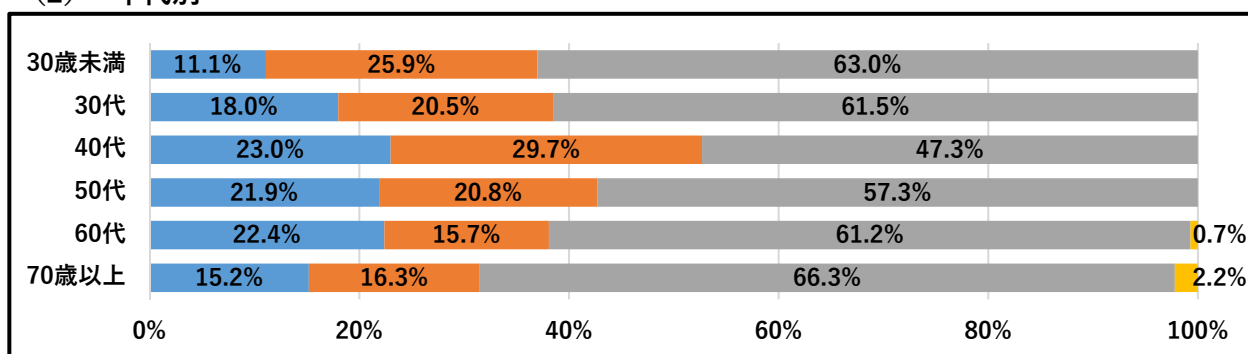
3 健康づくりについて

設問 4 ① 市では、RIZAP 株式会社グループと健康づくりに関する連携協定を締結して、健康増進の取組みを進めています。あなたは、昨年度開催した RIZAP 健康セミナーを知っていましたか。

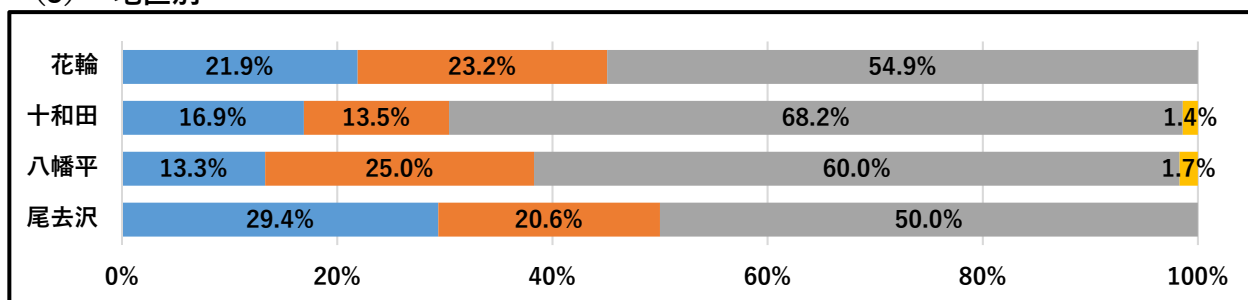
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

RIZAP 健康セミナーを知っていた割合は 39.9%で、知らなかった割合は 59.5%と、6 割近い方に周知がされていなかったことが分かりました。年代別では 40 代の知っていた割合が 52.7%と半数を超えており、他の年代に比べ 40 代の関心が高いことが分かりました。

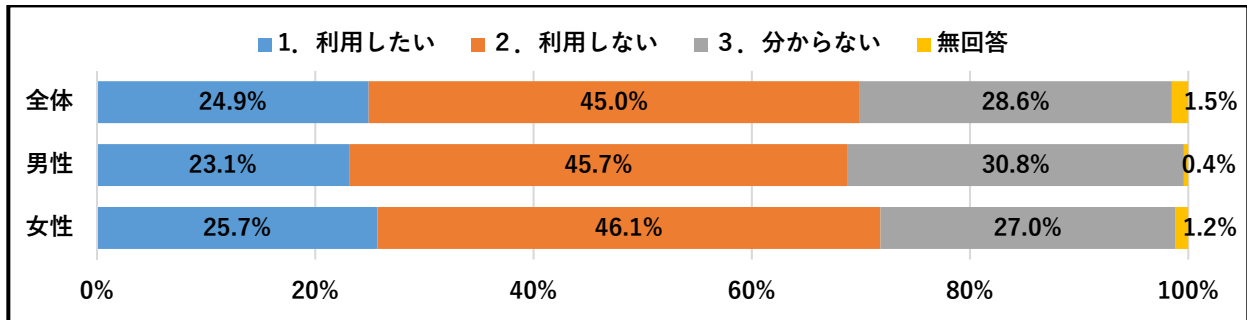
知っていたが参加しなかった割合は 20%で、年代別では 40 代と 30 歳未満が多くなっています。

参加しなかった理由としては、「仕事の兼ね合いで時間がない」、もしくは「開催日時と予定が合わない」と回答した方が最も多く、次いで、「運動に興味がない」、「事業に対する魅力がない」との回答がみられたほか、「自分には合わない」、「難しそう」との回答がありました。

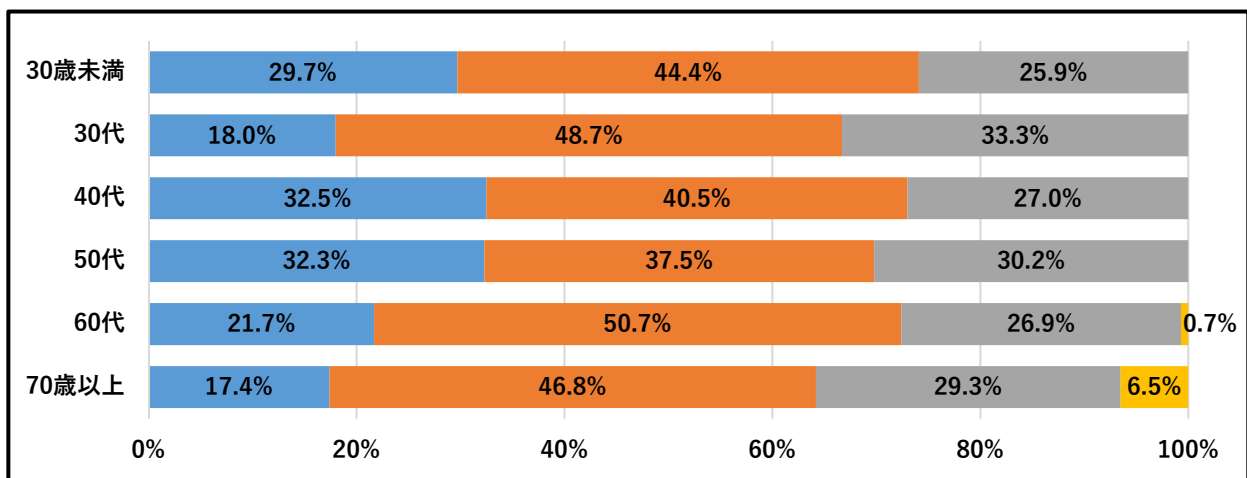
今後の健康セミナーの開催ににあたっては、市民が積極的に取り組む契機となるよう、事業の周知と参加率を向上させる工夫が必要です。

設問 4 ② あなたは、常時利用できる有料会員制のスポーツジムが市内にあった場合、利用しますか。
（月額 3,000 円程度）

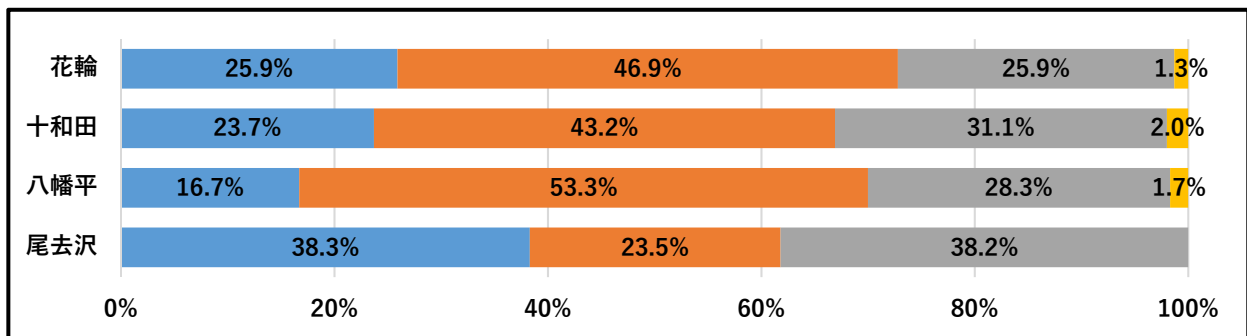
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

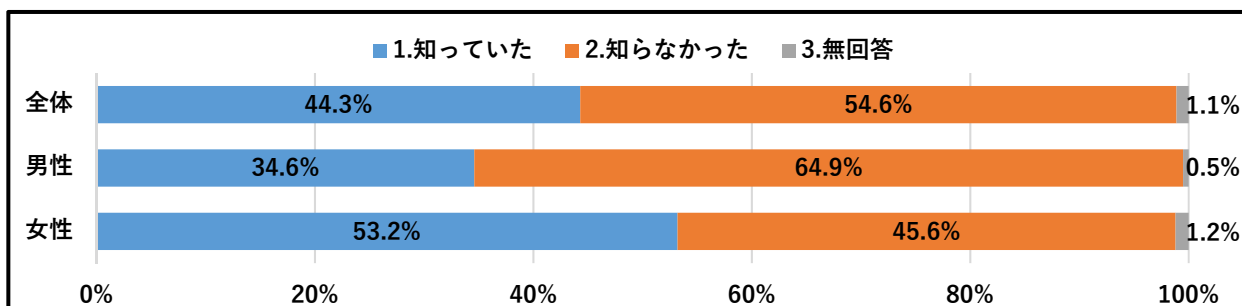
スポーツジムの利用については、「利用したい」と回答した方が 24.9%、「利用しない」「分からない」と回答した方が 73.6%でした。性別でのばらつきはありませんでしたが、年代別では 40 代と 50 代が 32%台と、比較的に割合が高い年齢層となりました。

利用しない理由としては、月 3,000 円という費用の高さや、仕事や家事の兼ね合いから、「利用する時間がない」と回答した方が最も多く、60 代や 70 歳以上では、持病や身体機能の低下により、スポーツジムの利用が難しいことから、「興味が無い・必要と思わない」と回答した方が多くなっています。

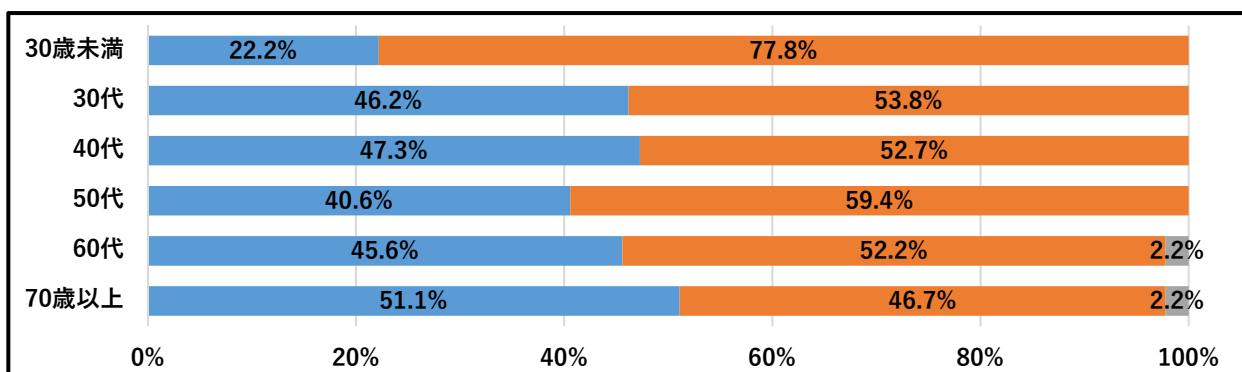
4 医療相談が受けられる環境づくりについて

設問5 「テレフォン病院 24 事業」を行っています、あなたは知っていましたか。

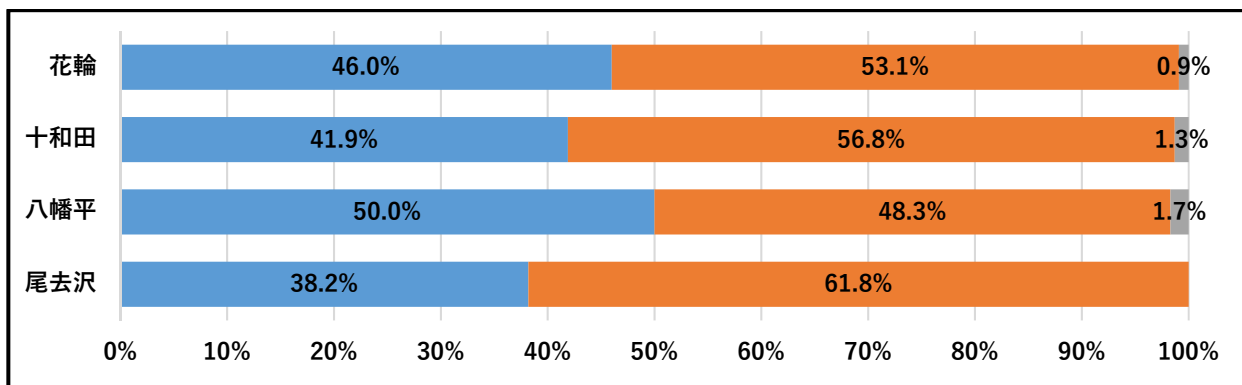
(1) 全体/男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

「テレフォン病院 24」事業を知っていた人の割合は 44.3%で、令和 4 年度に実施した前回調査 (29.2%) よりも 15.1 ポイント増加しています。

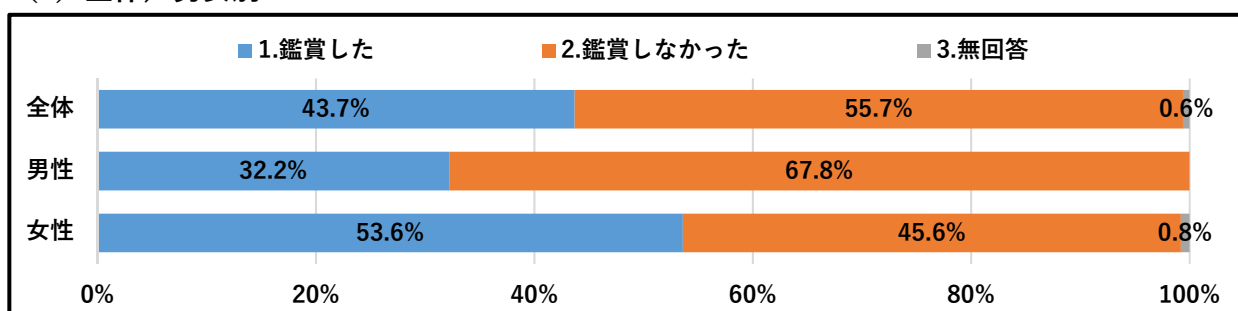
地区別では、八幡平が 50.0%と最も高い結果となりました。年代別では、すべての年代で前回調査よりも増加していますが、30 歳未満は 22.2%と各年代の半分ほどの認知度でした。令和 5 年度に事業周知用のマグネットシートを全戸配付したことにより、事業の認知率が上昇したと考えられ、相談件数・入電件数ともに増加しました。

今後はチャットボット (AI を活用した自動会話プログラム) による乳幼児の育児・健康相談や、ウェブ健康相談などについても紹介しながら、最も認知度が低い若年層を中心に事業のメリットと利用について周知していきます。

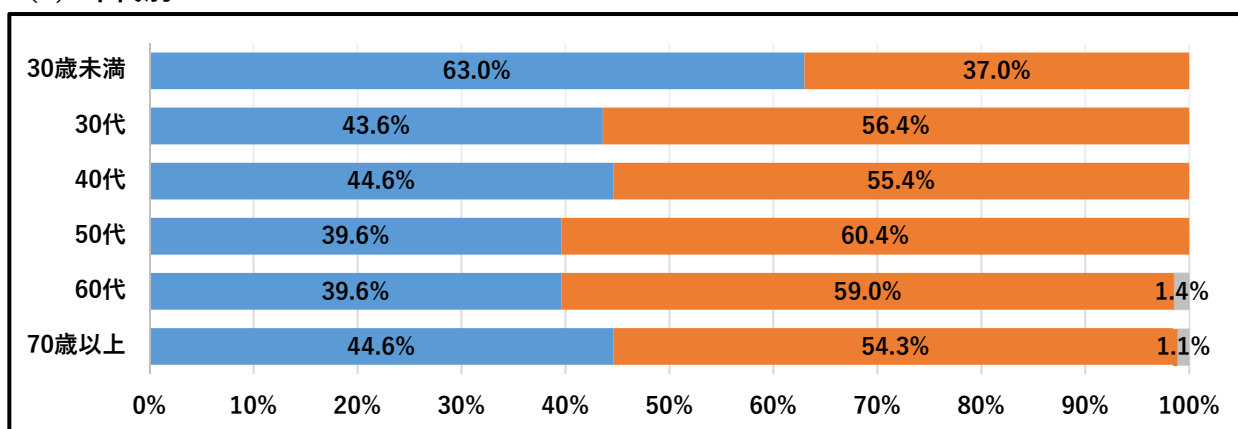
5 芸術鑑賞について

設問6 あなたは、昨年1年間に市内外で文化芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

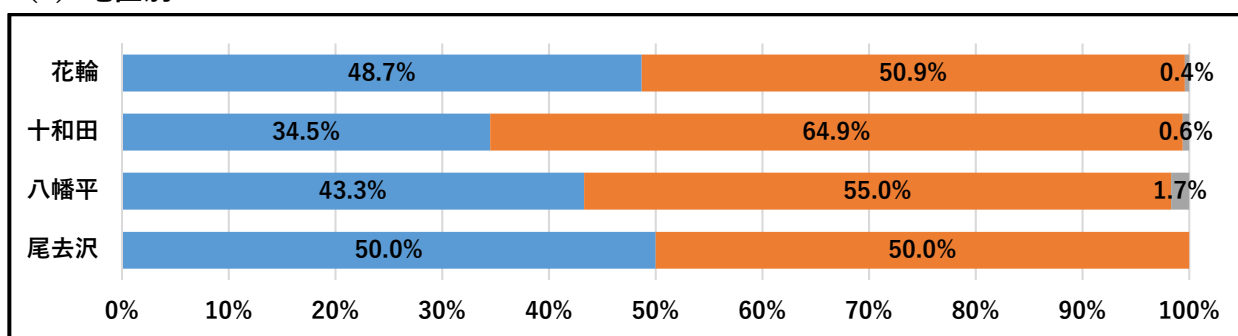
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

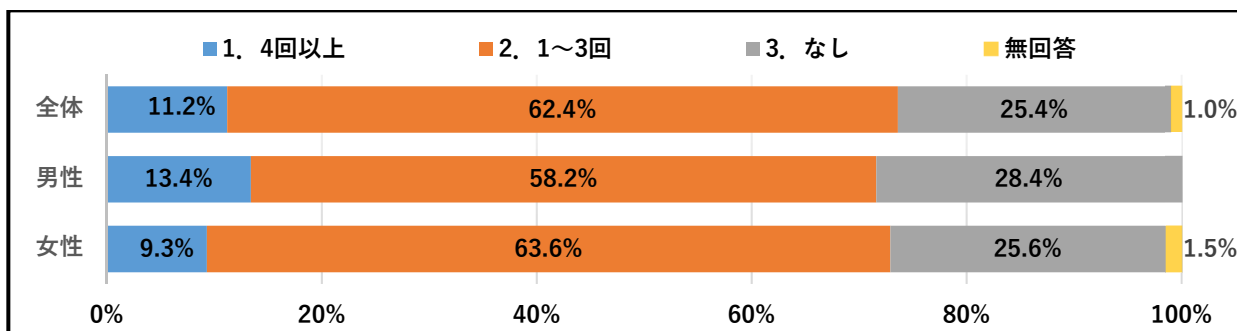
芸術鑑賞をした人の割合は全体で43.7%となり、昨年度より0.4ポイント減少したものの、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことにより、芸術鑑賞の機会もコロナ禍以前に戻っています。

男女別では女性が昨年度より1.9ポイント増加し、半数以上が文化芸術に触れている一方、男性は3.1ポイント減少し、32.2%となっています。

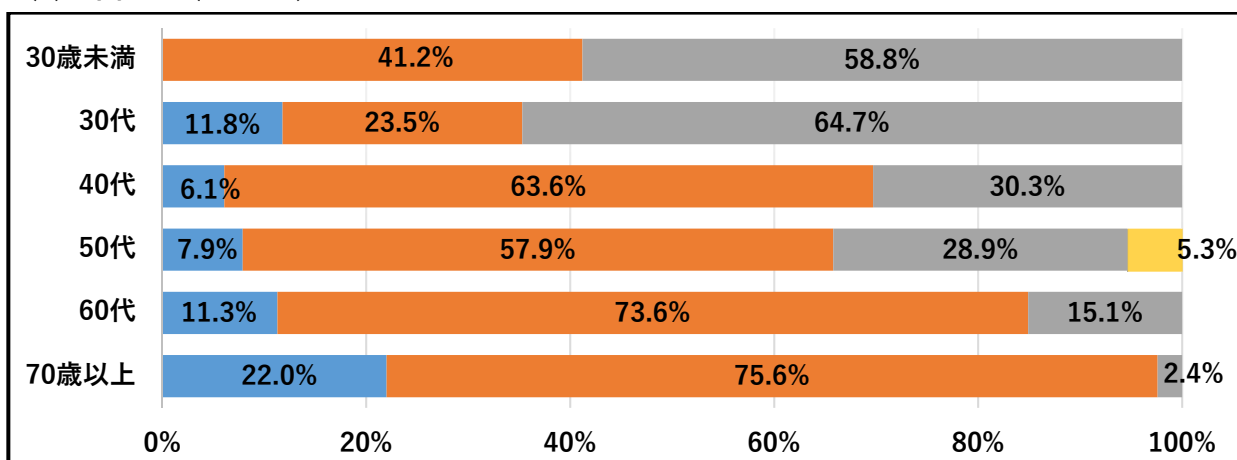
また、年代別では、30歳未満が昨年度より8.0ポイント増加し、63.0%と各年代の中で最も多い割合となりました。

◆芸術鑑賞した人のうち、コモッセで何回鑑賞したか。

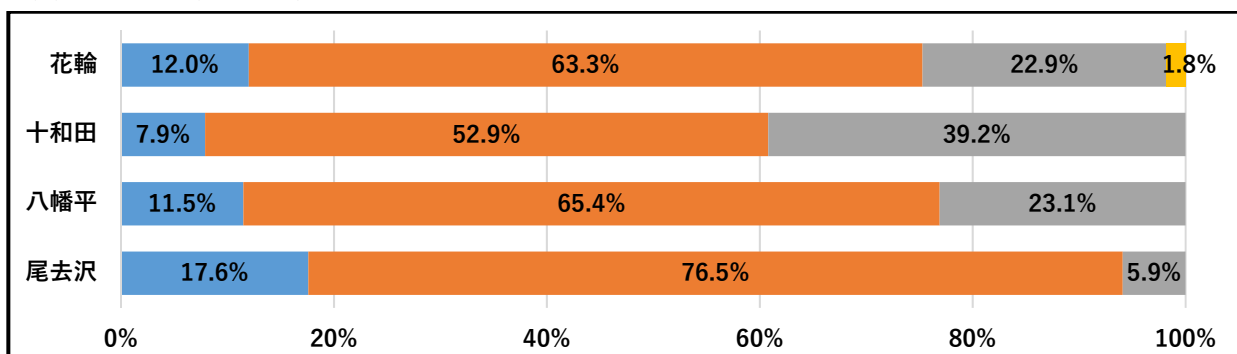
(1) 全体／男女別 (N=205)



(2) 年代別 (N=205)



(3) 地区別 (N=205)



(4) 分析結果

芸術鑑賞した人のうちコモッセで鑑賞した人は 73.6%で、昨年度より 5.3 ポイント増加しました。男女別では女性が昨年度より 2.3 ポイント、男性が 5.8 ポイントそれぞれ増加し多市民がコモッセを活用しています。

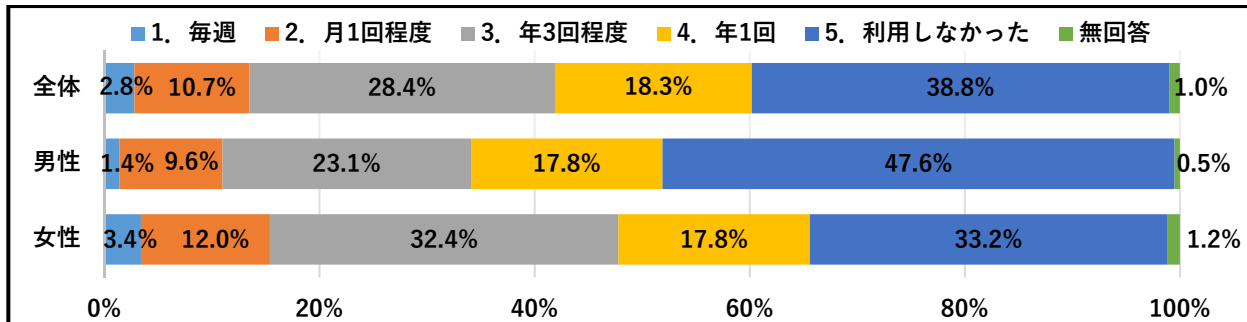
年代別では 30 歳未満が 41.2%で昨年度より 13.4 ポイント減少し、30 代が 35.3%で昨年度より 22.4 ポイント減少しました。

コモッセでの鑑賞は、事業数とジャンルの選択を意識しながら、様々な世代が市内で質の高い文化芸術に触れる機会を得られるよう考慮しつつ、若年層の利用率の回復のために、若い世代が関心を寄せる内容も検討する必要があります。

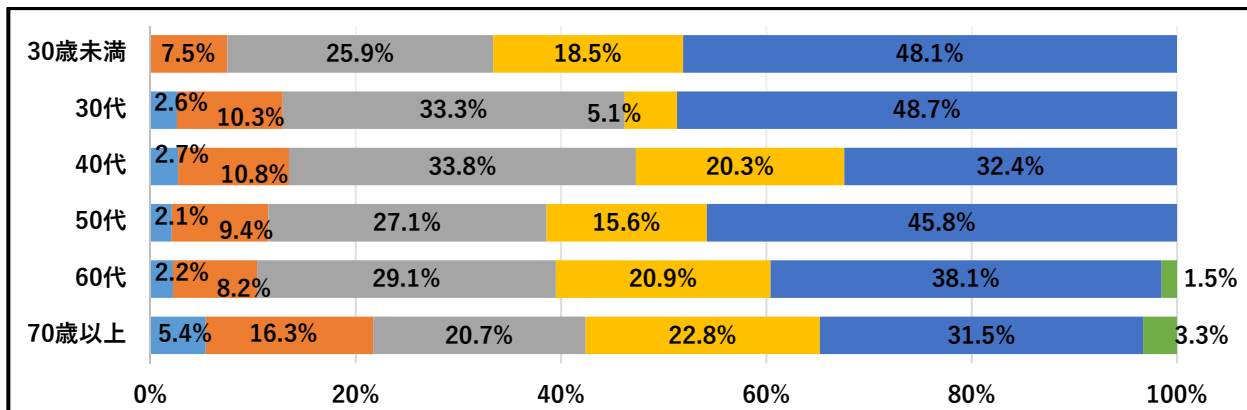
6 コモッセの利用状況について

設問7 あなたは、昨年1年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

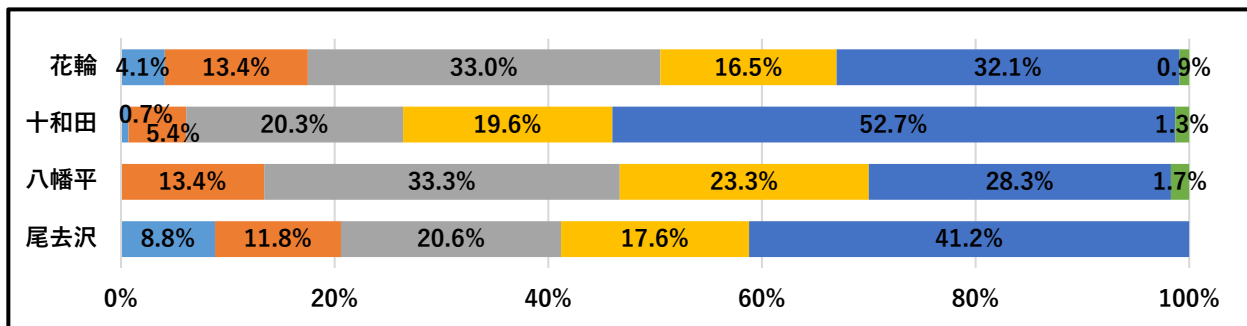
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

コモッセを利用した人は全体で60.2%となり、昨年度より2.3ポイント減少しました。

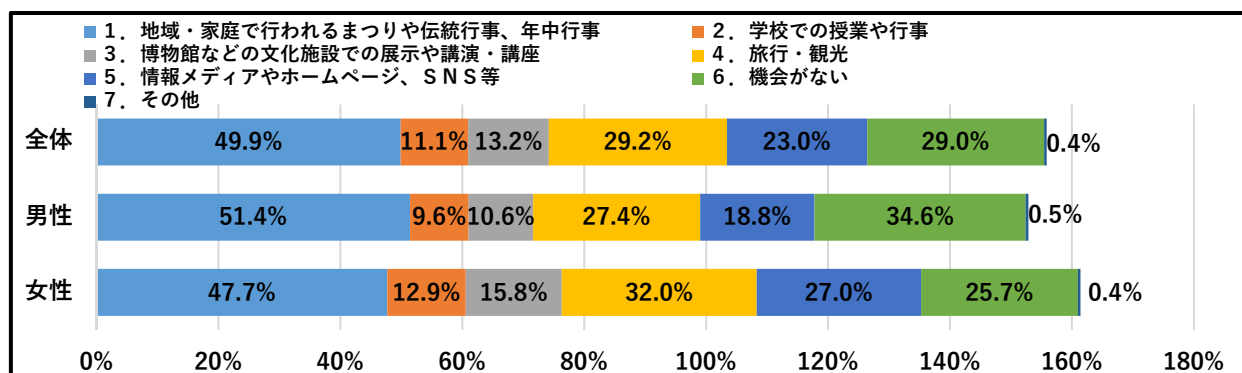
男女別では、女性は昨年度と同程度の65.6%が利用していますが、男性は昨年度より7.0ポイント減少し、コロナ禍以前の割合とほぼ同じでした。年代別では30歳未満が18.1ポイント、30代が20.7ポイントそれぞれ減少し、50%台に落ち込んだことから、若者や子育て世代の利用を促していく必要があります。地区別では、花輪地区と八幡平地区が概ね70%と高いものの、十和田地区が46.0%で昨年度より3.2ポイント減少しました。

「利用しなかった」と答えた方の理由としては、行く機会がないと回答した人が最も多いことから、複合施設全体の利便性と多機能性の情報発信を工夫し、多くの市民が学び、集い、交流する施設として運営する必要があります。

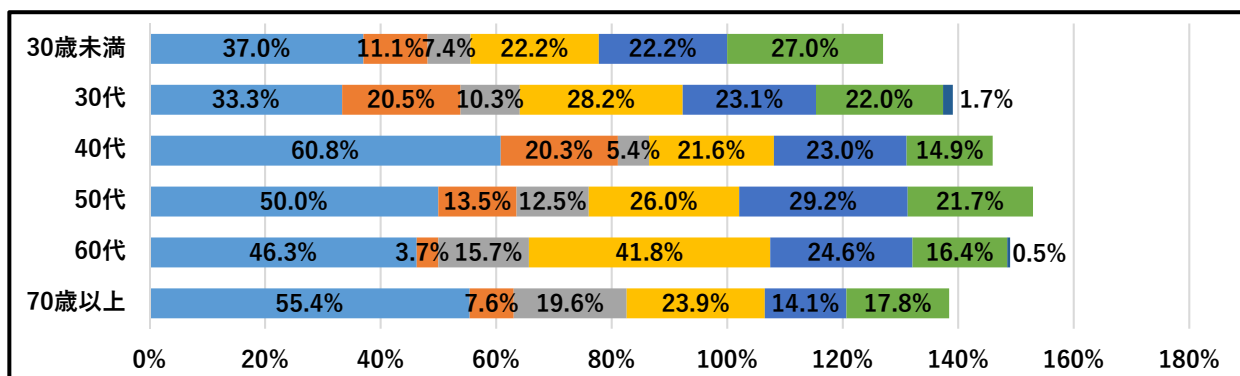
7 文化財等について

設問 8 ① 市では、小坂町と共に文化財の保存と活用を進めています。日常生活の中で文化財・歴史文化・文化遺産に接する機会がありますか。(複数回答可)

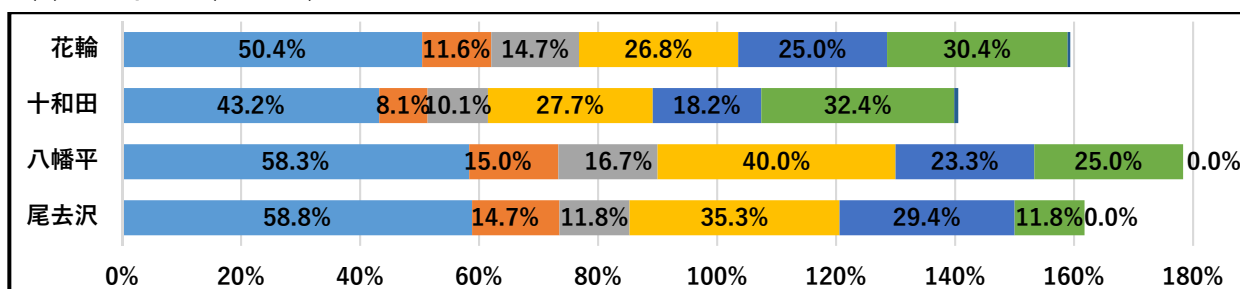
(1) 全体/男女別 (N=731)



(2) 年代別 (N=731)



(3) 地区別 (N=731)



(4) 分析結果

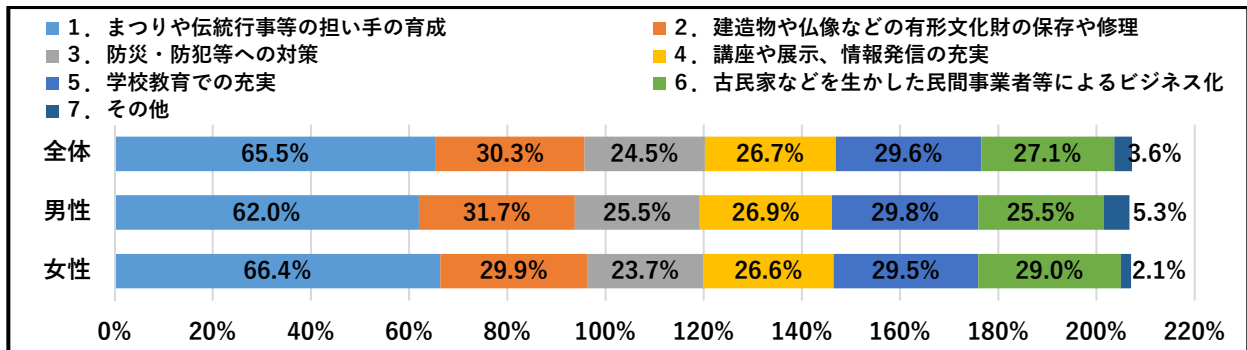
日常生活の中で文化財等に接する機会として最も割合の高かったのは、「地域や家庭で行われるまつりや伝統行事、年中行事」で、49.9%と約半数の方が選んでいます。「旅行や観光」が29.2%と直接的な体験機会が多い一方で、「情報メディアやホームページ、SNS等」が23.0%と、間接的な接触機会が少ないことが分かります。

接する機会が最も多かった「まつりや伝統行事等」については、地区でのばらつきは見られませんが、年代別では、30歳未満と30代の若年層が他の年代に比べて低い結果となりました。

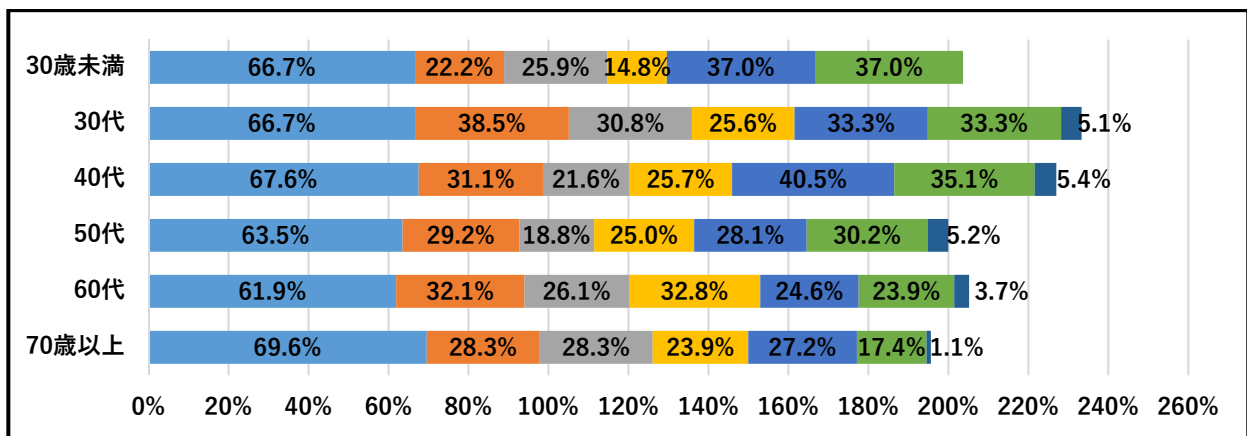
文化財等に広く接してもらう機会を増やすために、まつりや伝統行事等に参加しやすい仕組みづくりのほか、学校と連携した取組み、デジタル技術の活用や、SNS等を使った積極的な情報発信を進めていく必要があります。

設問 8② 市にある文化財・歴史文化・文化遺産の保存活用を進める上で力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。(複数回答可)

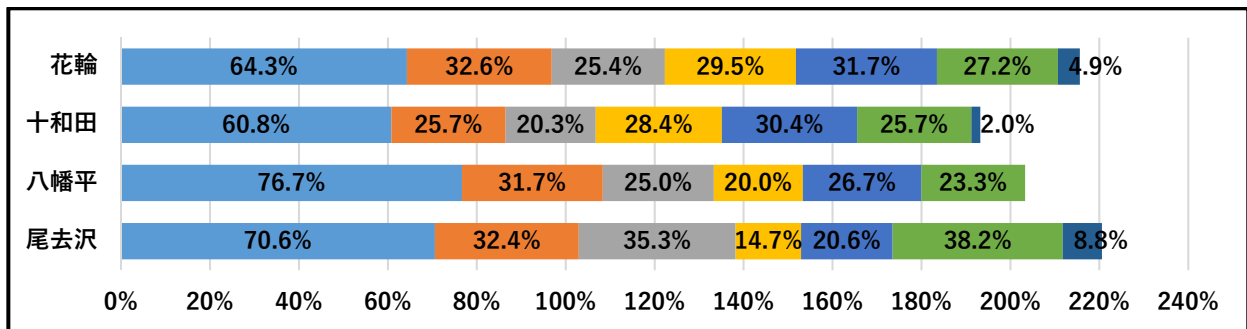
(1) 全体/男女別 (N=972)



(2) 年代別 (N=972)



(3) 地区別 (N=972)



(4) 分析結果

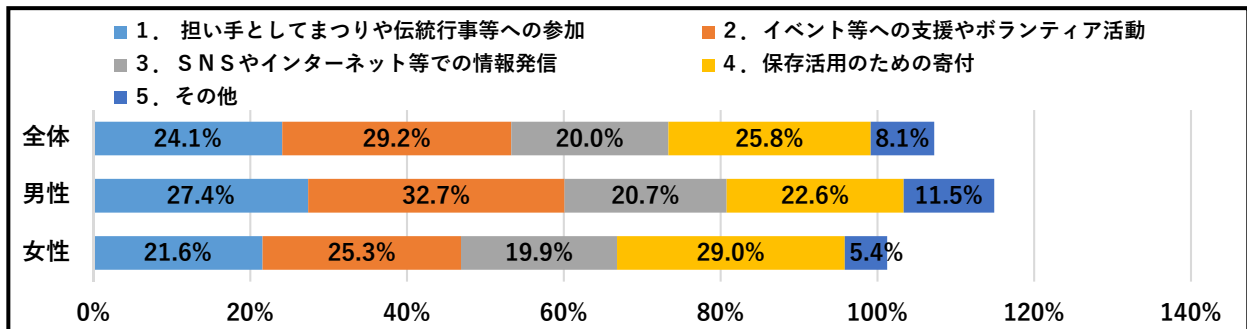
文化財等の保存活用を進める上で力を入れるべきだと思う取り組みでは、「まつりや伝統行事等の担い手の育成」がすべての地区、年代で 60%以上でした。次いで「建造物や仏像などの有形文化財の保存や修理」が 30.3%、「学校教育での充実」が 29.6%、「古民家などを生かした民間事業者等によるビジネス化」が 27.1%でした。

調査から、地域のまつりや伝統行事の継承に欠かせない担い手の育成が全世代共通の強い関心であり、担い手育成対策が求められていることがあらためて分かりました。また、建造物等の文化財の保存や修理、活用につながる取り組みや、将来の担い手確保につながる「学校教育での充実」にも力を入れていく必要があります。

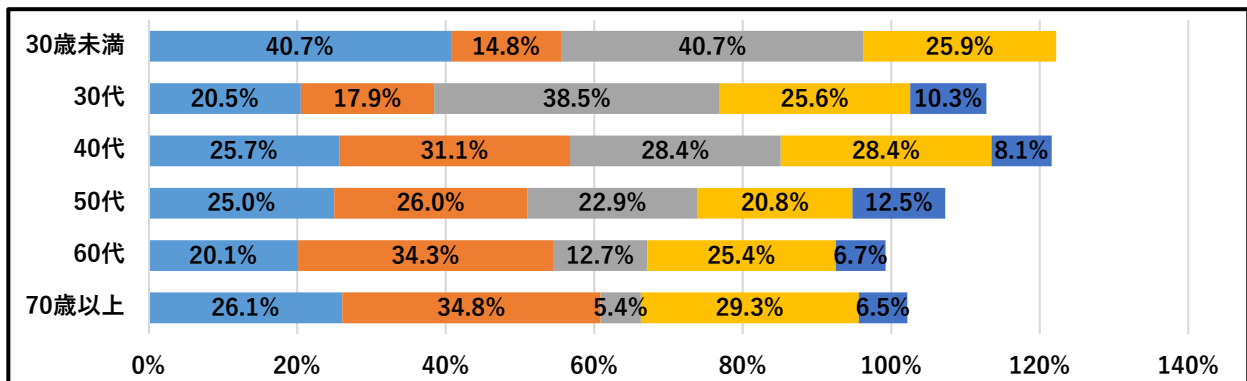
その他、若年層に対する知名度向上のために、SNS を利用した周知活動を求める意見がありました。

設問 8 ③ どのような取組みであれば自分でも協力できると思いますか。(複数回答可)

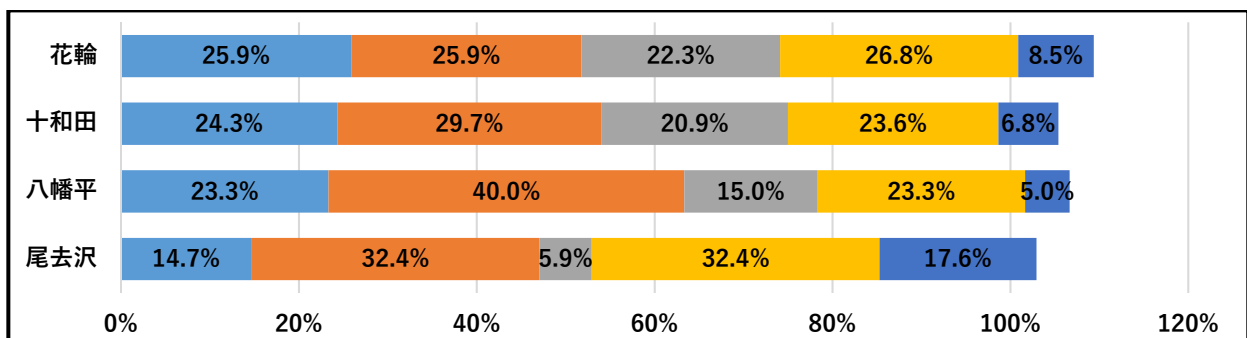
(1) 全体/男女別 (N=503)



(2) 年代別 (N=503)



(3) 地区別 (N=503)



(4) 分析結果

自分でも協力できる取組みでは、「イベント等への支援やボランティア活動」が 29.2%、「保存活用のための寄付」が 25.8%、「担い手としてまつりや伝統行事等への参加」が 24.1%、「SNS やインターネット等での情報発信」が 20.0%でした。

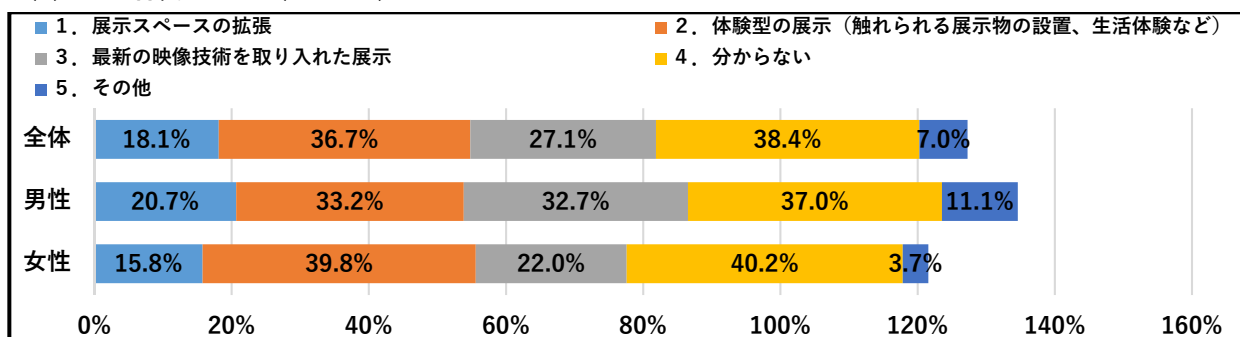
年代別では、「イベント等への支援やボランティア活動」については 30 代未満と 30 代の若年層が 10%代であることに對し、40 代以降では、協力できると感じている割合が高くなっています。逆に、担い手としての参加や SNS 等での情報発信については 30 代未満がどちらも 40.7%と他の年代より高く、担い手としての参加や情報発信など自身の興味関心や気軽に取り組めることが協力のしやすさにつながっているものと考えられます。そのほか、保存活用のための寄付についてはすべての年代で 20%以上となっています。

このことから、ボランティアを含め、まつりや伝統行事に参加しやすい仕組みづくりや、クラウドファンディング等の手軽に寄付ができる取組みの検討を進めていく必要があります。

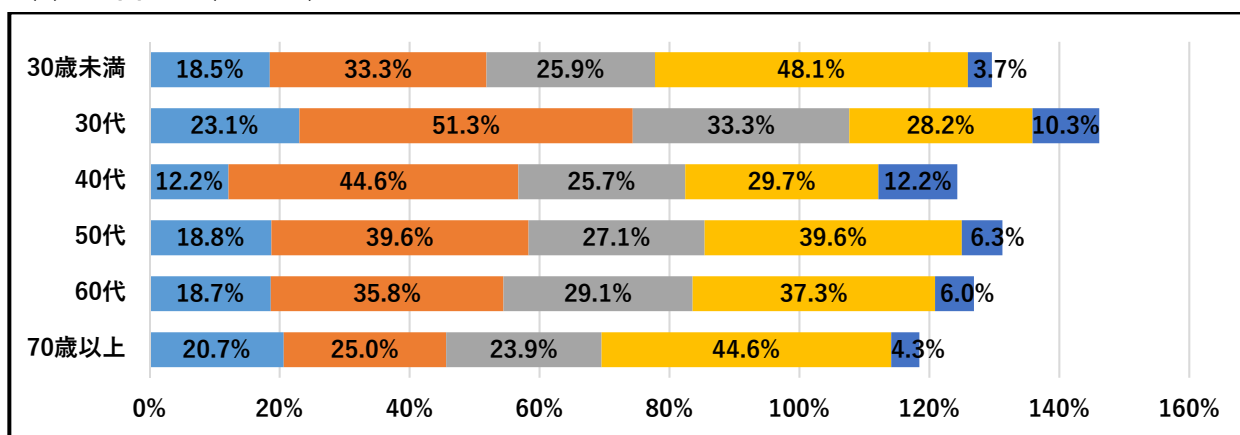
8 大湯環状列石について

設問 9 大湯ストーンサークル館の展示に、どのような内容を期待しますか。(複数回答可)

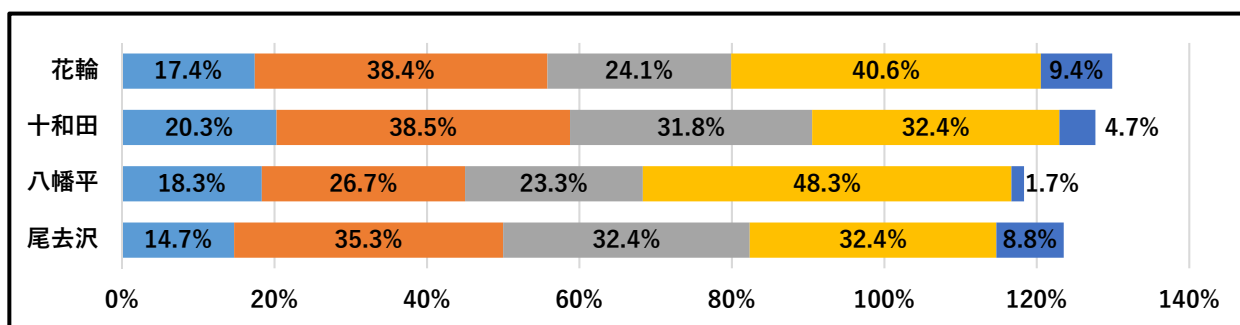
(1) 全体/男女別 (N=597)



(2) 年代別 (N=597)



(3) 地区別 (N=597)



(4) 分析結果

「体験型の展示」を選択した方が全体で 36.7%と最も高くなりました。特に、女性の期待が高く、次いで、年代別では 30 代、40 代の年齢層のニーズが高い結果となりました。

「最新の映像技術を取り入れた展示」は、全体で 27.1%となり、女性 22.0%、男性 32.7%で、女性よりも男性の方が 10 ポイント以上高くなりました。

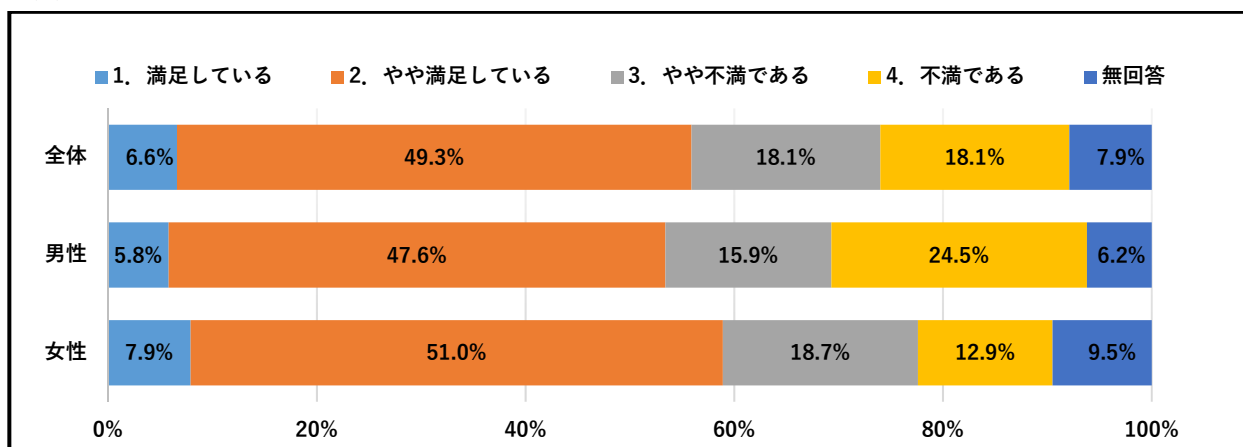
「展示スペースの拡張」は、全体で 18.1%でした。女性よりも男性の関心が高いことがうかがえますが、相対的に見て期待はあまり高くありませんでした。

その他意見として、飲食スペースの確保や売店の設置等による収益化を求める意見が複数ありました。

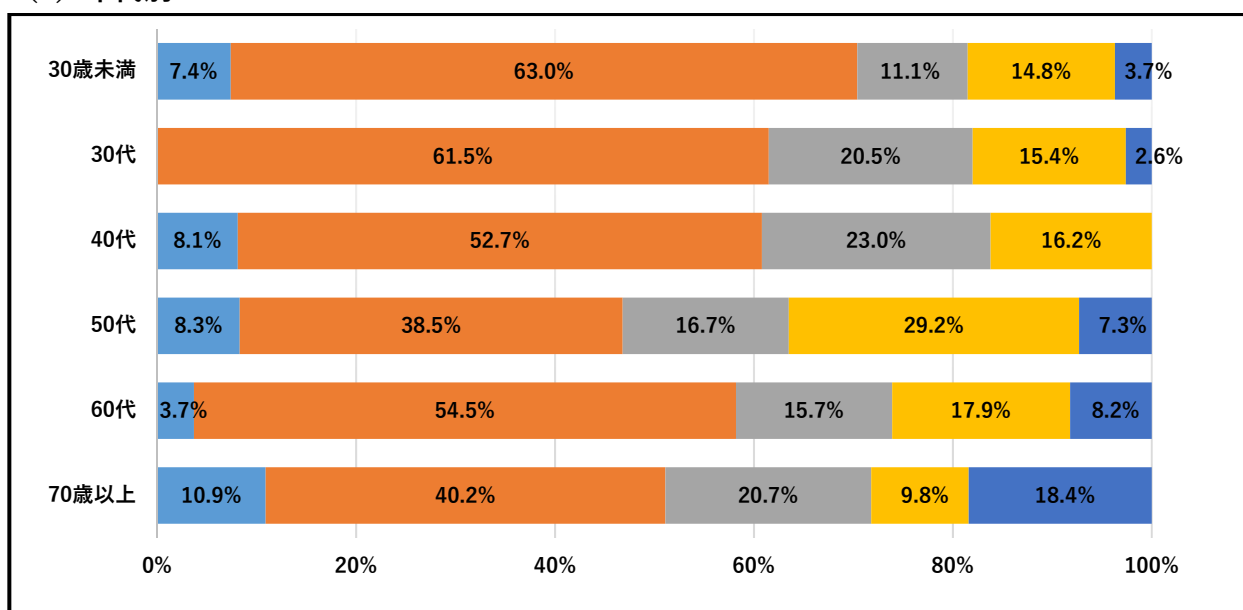
9 中心市街地について

設問 10 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

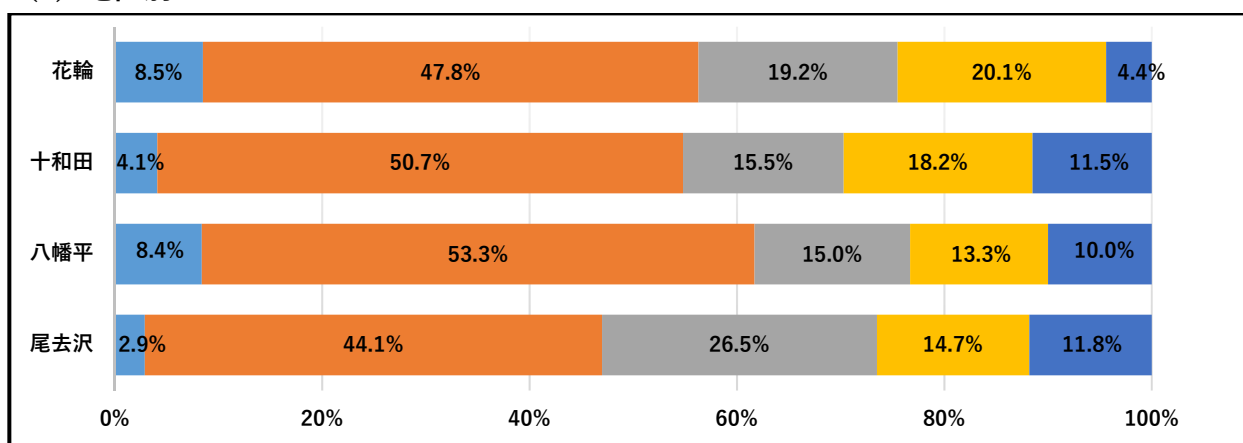
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

「満足」「やや満足」と回答した割合は 55.9% で前年を 2.2 ポイント下回りました。

年代別では、30 歳未満の満足度が 70.4% と最も高く、30 代、40 代は昨年同様 60% 以上となっており、比較的若い方の満足度は高くなっています。

地区別では、八幡平地区の満足度が 61.7% で最も高く、昨年度より 5.2 ポイント増加したほか、十和田地区は 2.7 ポイント増加しました。一方で尾去沢地区は 3.0 ポイント減少し、花輪地区においては 7.9 ポイント減少しました。

不満とを感じる理由では、公共交通機関の不便さ、駐車場の少なさ、道路の狭さといった交通面での不満が最も多く、次いで市役所や病院から遠い上、飲食店や商業施設などの店舗が少ないことから、活気がないことが挙げられています。

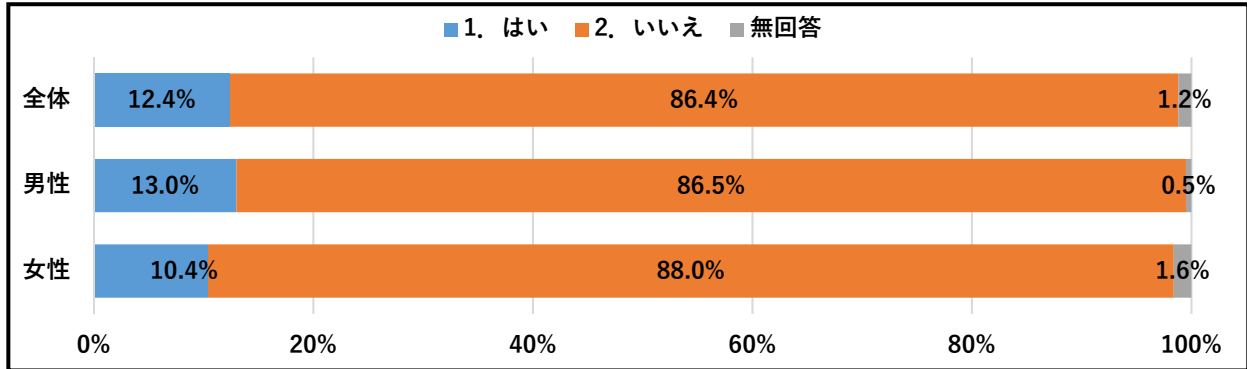
〔参考〕鹿角市中心市街地活性化プラン数値目標と実績値（再掲）

中心市街地の環境に満足している市民の割合							
基準値 (H30-R2 平均)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
53.6%	58.1%	55.9%	58.1%	55.9%	—	—	60.0%

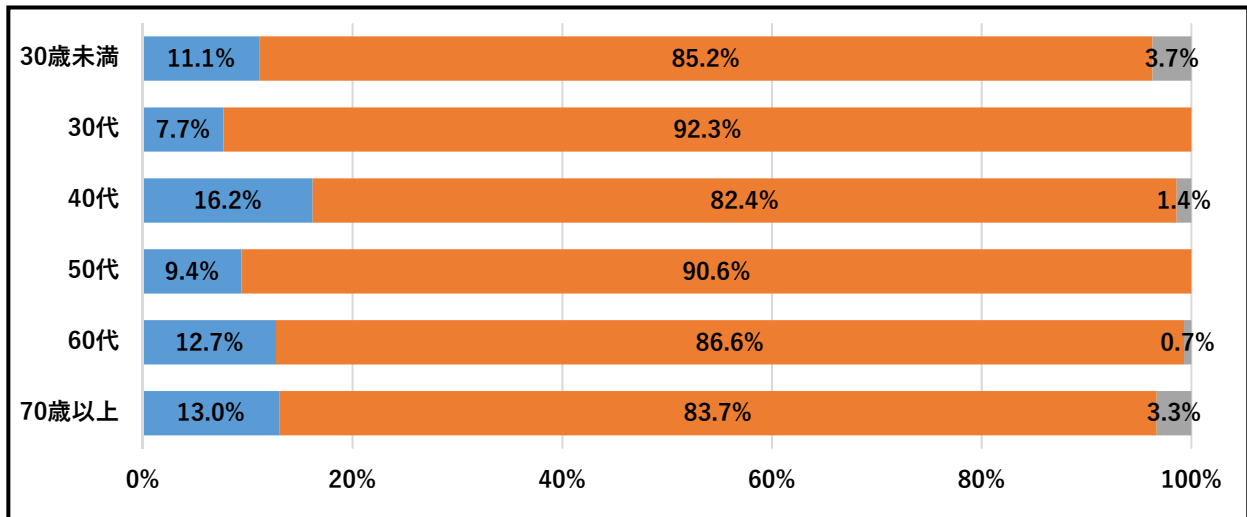
10 大館能代空港の利用について

設問 11① あなたは、昨年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日）、空港を利用しましたか。

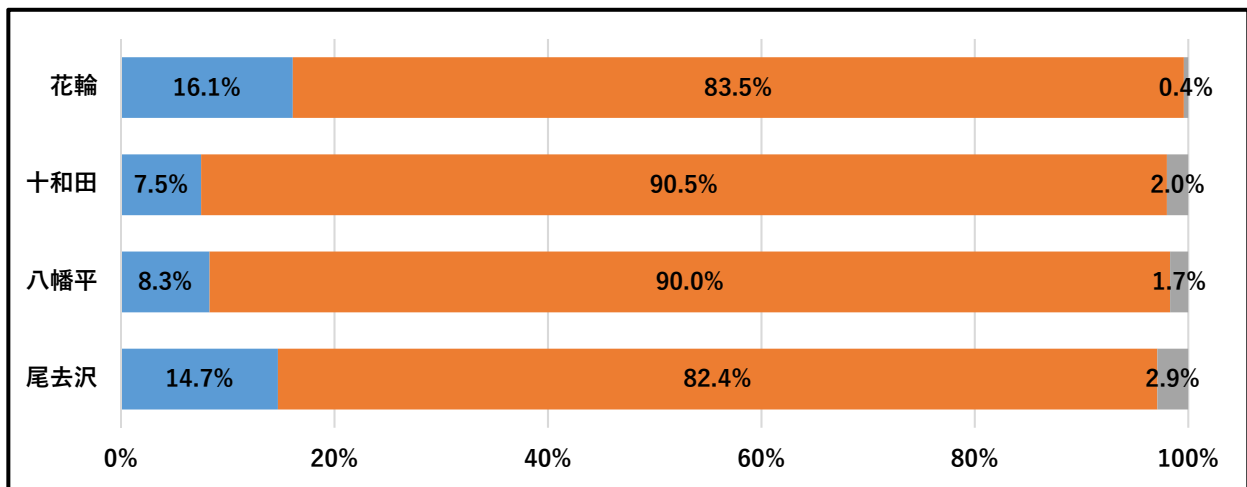
（1）全体／男女別



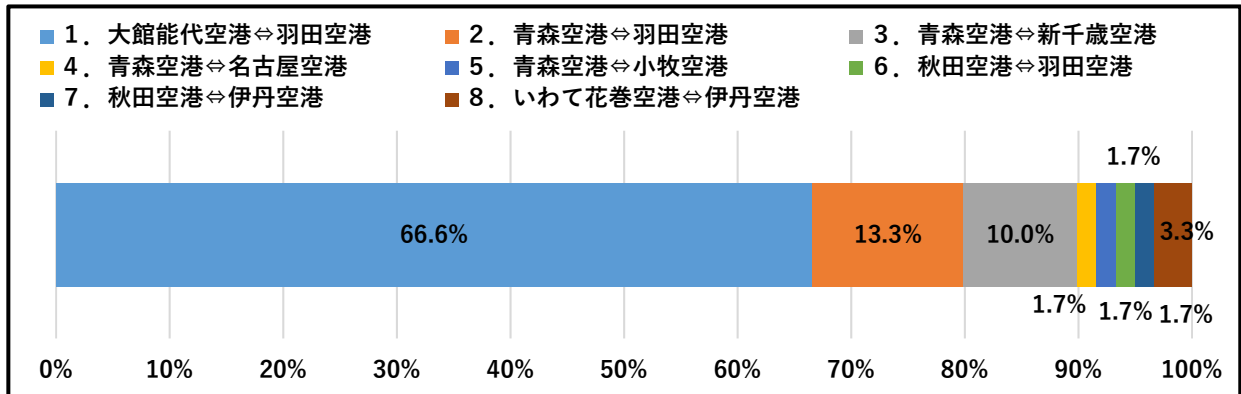
（2）年代別



（3）地区別



利用した空港（N=40）



（４）分析結果

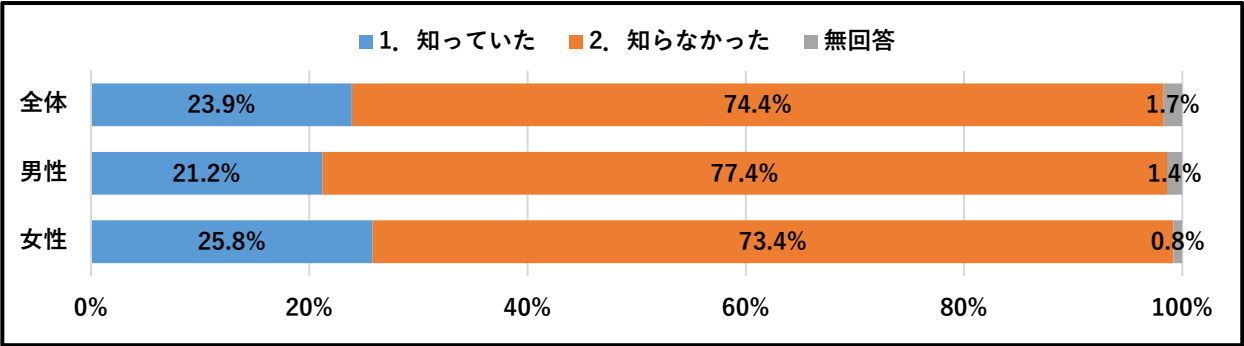
昨年１年間に空港を利用した人の割合は12.4%でした。利用者のうち３分の２が大館能代空港を利用しており、羽田空港行きの空路においては主に大館能代空港が選択されていることが分かりました。

男女別における利用者の偏りは見られませんでした。年代別にみると、40代以上の利用が最も多かった一方で、30代と50代の利用が特に低い結果となりました。働き盛り世代の利用率向上に向けて、出張の移動手段として、運賃助成制度を伴った航空機の利用を検討してもらうことが必要です。

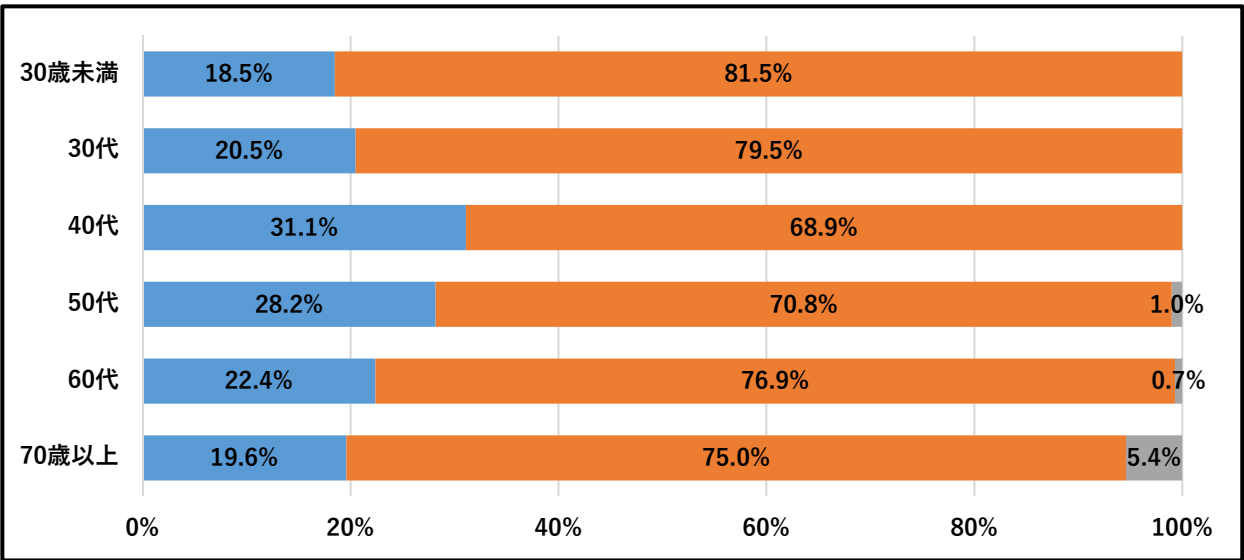
大館能代空港の利便性の向上や、空港の利用方法の周知も含め、各年代に対してより効果的な施策を講じていくことが必要です。

設問 11② 大館能代空港の利用促進を目的に、市民の方を対象に運賃助成（片道 5,000 円）をしています。あなたはこのことを知っていましたか。

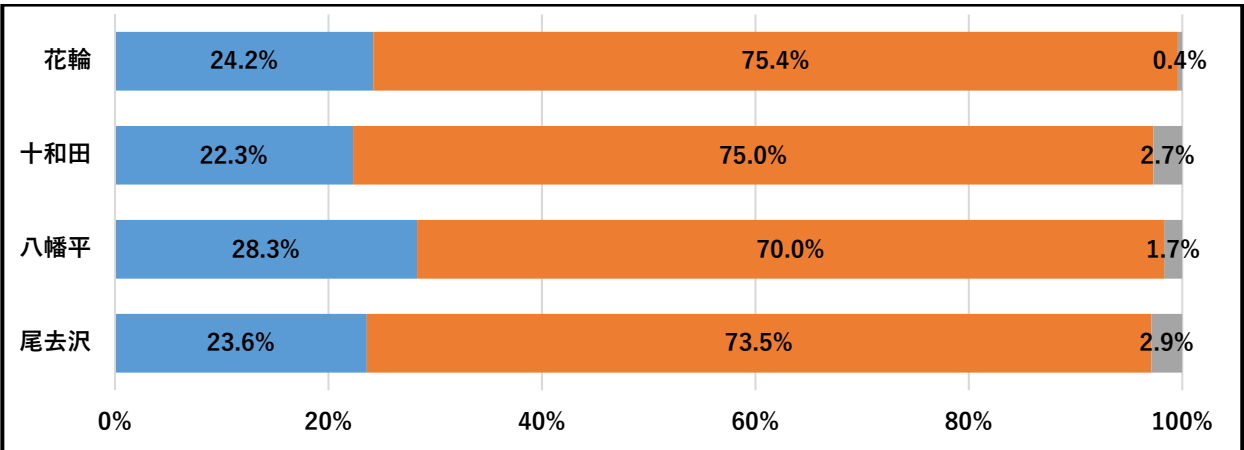
(1) 全体／男女別



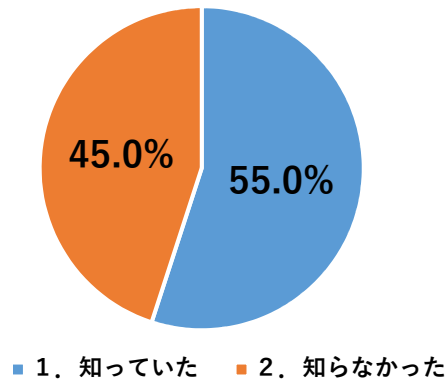
(2) 年代別



(3) 地区別



大館能代空港利用者における助成制度の認知率



(4) 分析結果

運賃助成制度については、70%以上が知らなかったと回答している上、大館能代空港利用者における運賃助成制度の認知率についても、45.0%の方が知らなかったと回答しており、さらなる周知が必要です。

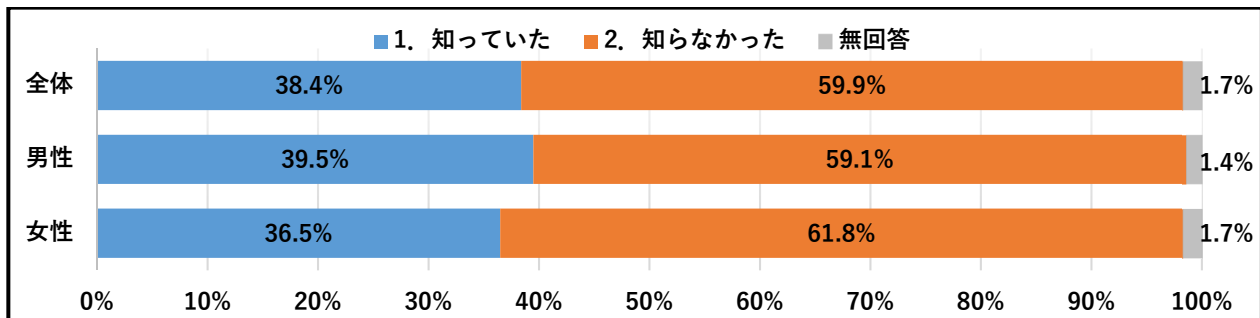
年代別にみると、知らなかったと回答した年代のうち30歳未満の比率が81.5%と最も高くなっています。

制度の周知については、市広報紙のほかホームページを中心に行っていますが、30歳未満や30代での認知度が比較的低いことを踏まえると、SNS等により空港利用のメリットも合わせながらさらなる周知を実施していく必要があると考えられます。

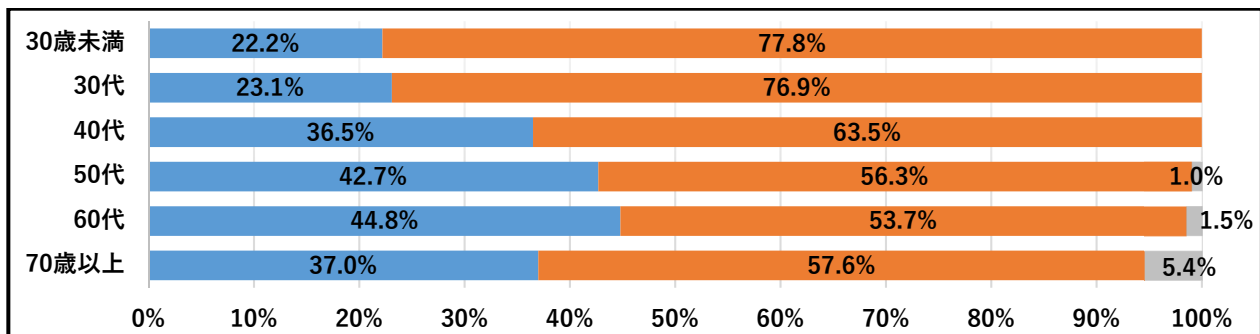
11 カーボンニュートラルについて

設問 12① 鹿角市では、令和4年3月に「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を行い、日本全体の目標である2050年より20年早い、2030年のカーボンニュートラル実現を目指しています。このことを知っていましたか。

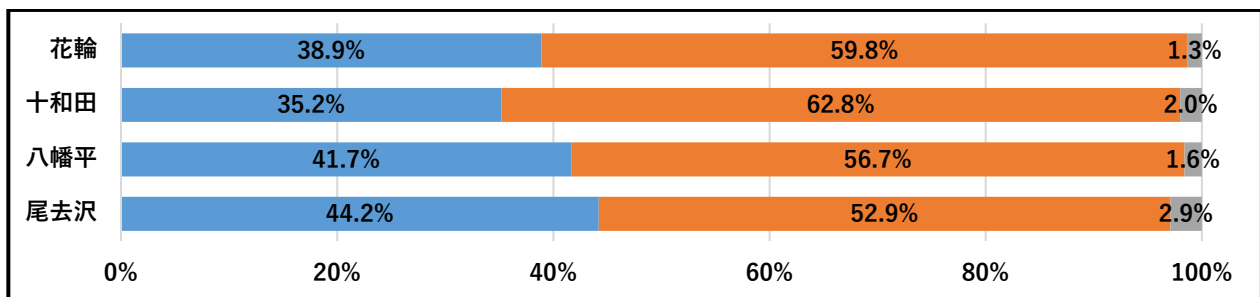
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を知っている人の割合は38.4%であり、昨年度の39.6%と比べて1.2ポイントの減少となりました。

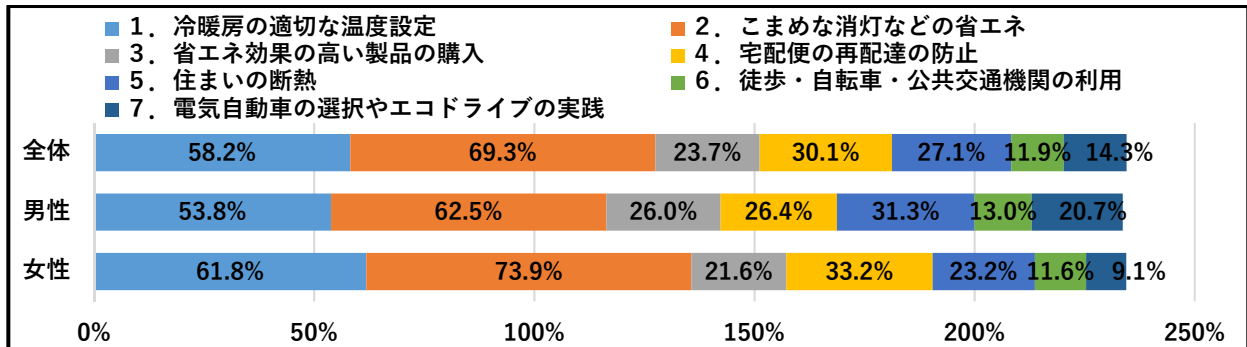
年代別では30歳未満の認知度は22.2%で、特に若年層の認知度が低い結果となりました。

昨年度も同様のアンケートを実施しましたが、分析で課題としていた女性の認知度は36.5%で、昨年度より3ポイント改善しました。一方で、男性の認知度は39.5%で女性の認知度とほぼ同水準にとどまり、昨年度の47.3%と比較し、7.8ポイント減少しています。

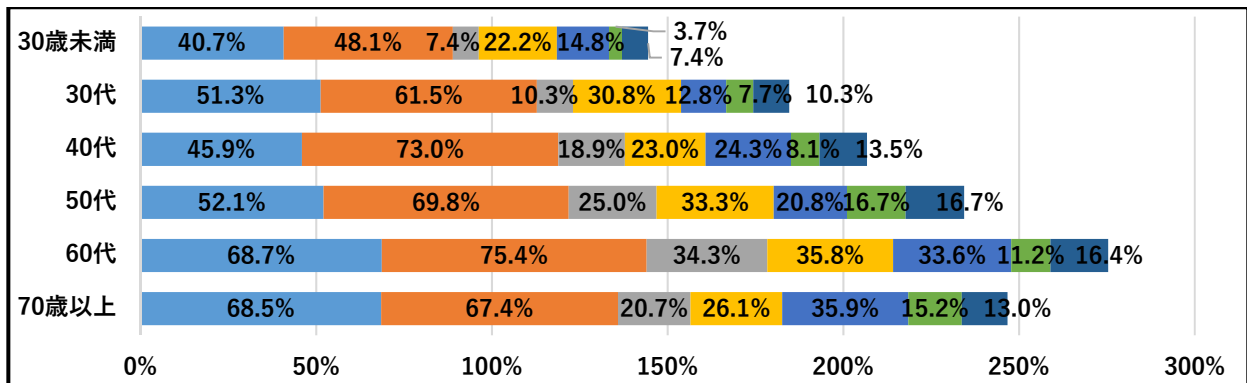
ゼロ・カーボンシティ実現のためには、全市を挙げた取組みが重要であることから、若年層を中心に、さらなる意識醸成を図っていきます。

設問 12② カーボンニュートラルの実現に向け、日常生活で取り組んでいることは何かありますか。
(複数回答可)

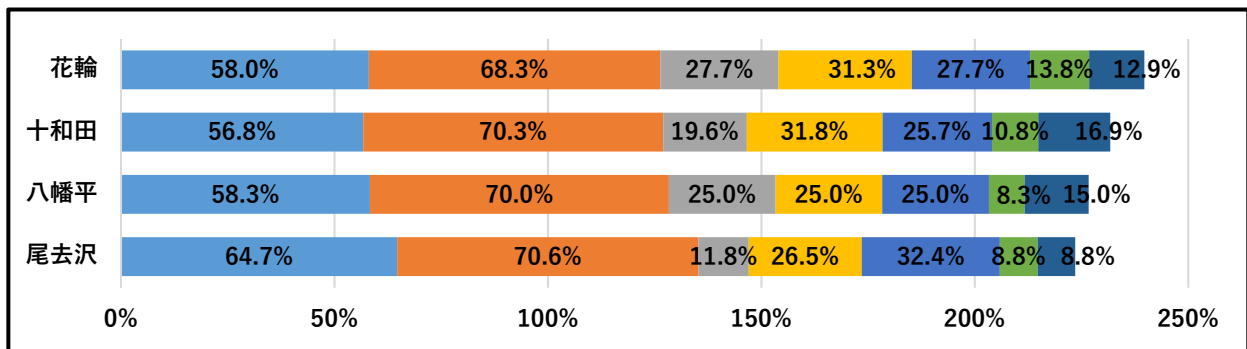
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

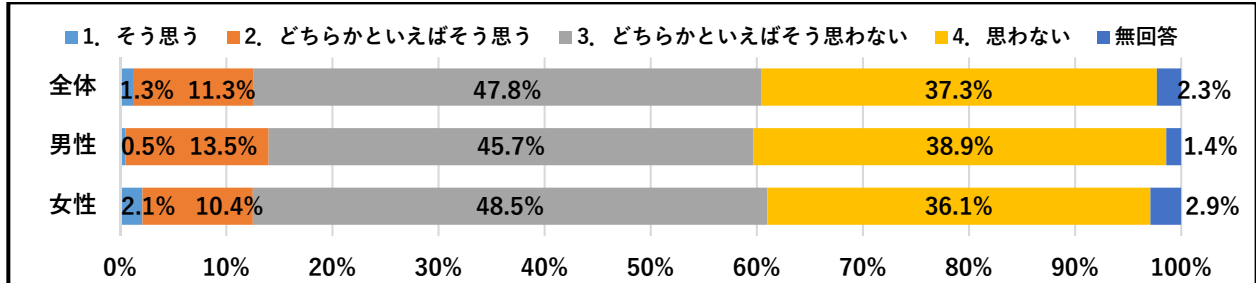
全体で見ると、「冷暖房の適切な温度設定」は 58.2%、「こまめな消灯などの省エネ」は 69.3%と、自宅で簡単にできる取組みはおおよそ半数が行っていることが分かりました。また、「省エネ効果の高い製品の購入」は 23.7%、「住まいの断熱」は 27.1%であり、投資が必要な取組率は低い結果でした。支援制度のある「住まいの断熱」は 27.1%と一定程度みられ、「省エネ効果の高い製品の購入」よりも 3.4 ポイント取組率が高い結果となりました。

取組んでいる割合の高かった「冷暖房の適切な温度設定」は、30 歳未満は 40.7%であったのに対し、60 代は 68.7%が取組んでおり、また、「こまめな消灯などの省エネ」も各年代と比較し 30 歳未満が低いという結果となりました。ゼロカーボンシティ宣言の認知度と同様に、若い世代へのアプローチが必要と考えています。

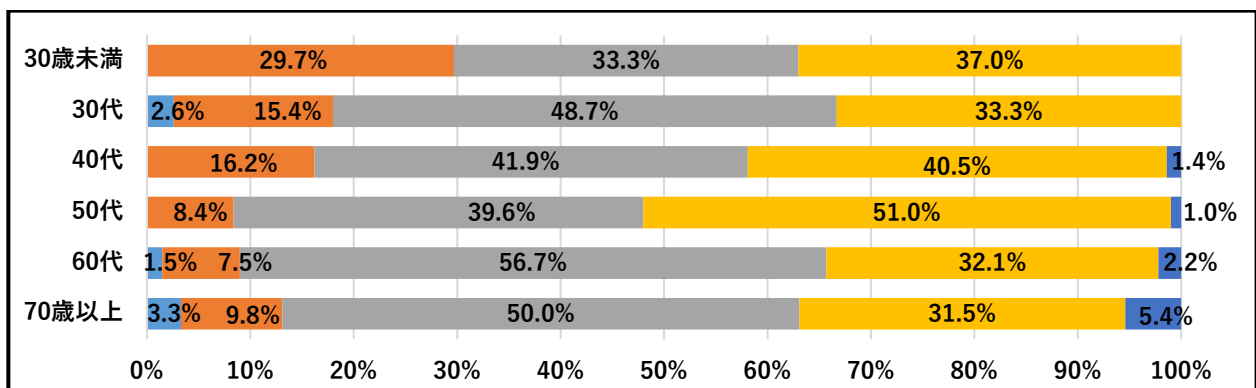
12 まちの満足度について

設問 13① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。

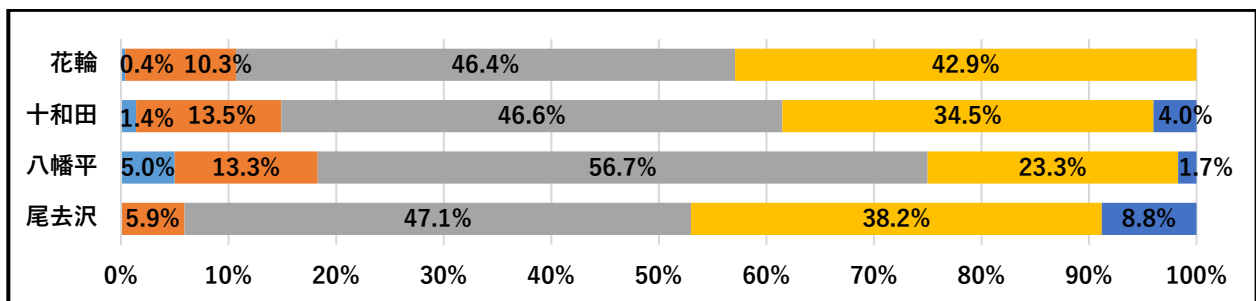
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

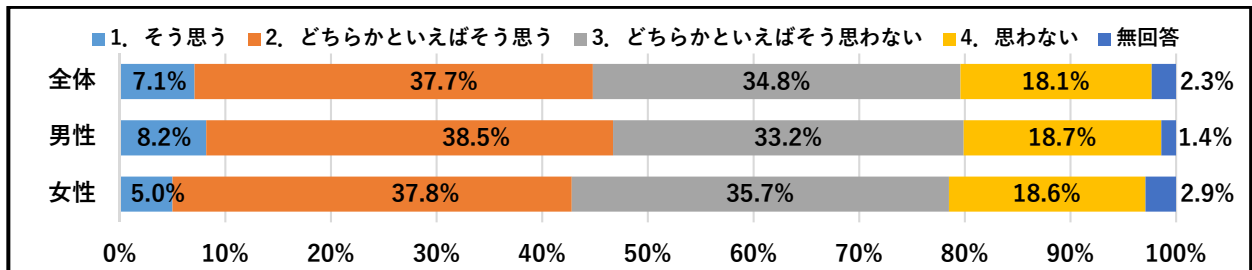
市の産業は元気で活力があると思う割合は12.6%で、昨年度（13.3%）より0.7ポイント、令和元年度基準値（19.5%）より6.9ポイント減少しました。

年代別では、30歳未満が9.7ポイント増加しましたが、「そう思う」と回答した方はいませんでした。30代は2ポイント減少、40代は3.5ポイント減少しており、働き盛り世代では昨年度と比べ減少しましたが、年代が若くなるにつれて、市の産業は元気で活力があると思う割合が高くなっている傾向にあります。

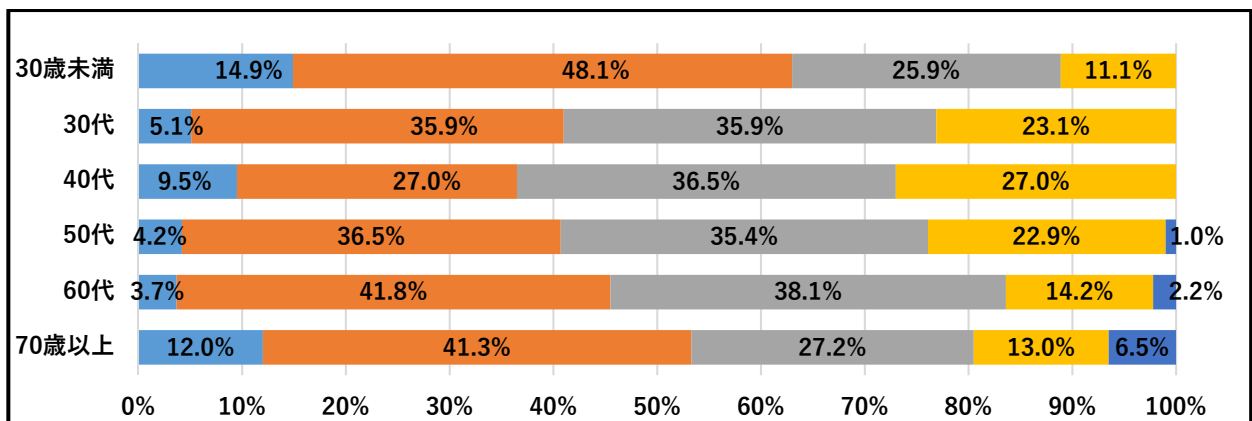
しかし、依然として、どの世代、どの地区でも産業の活力をあまり感じられていないことがうかがえます。

設問 13② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。

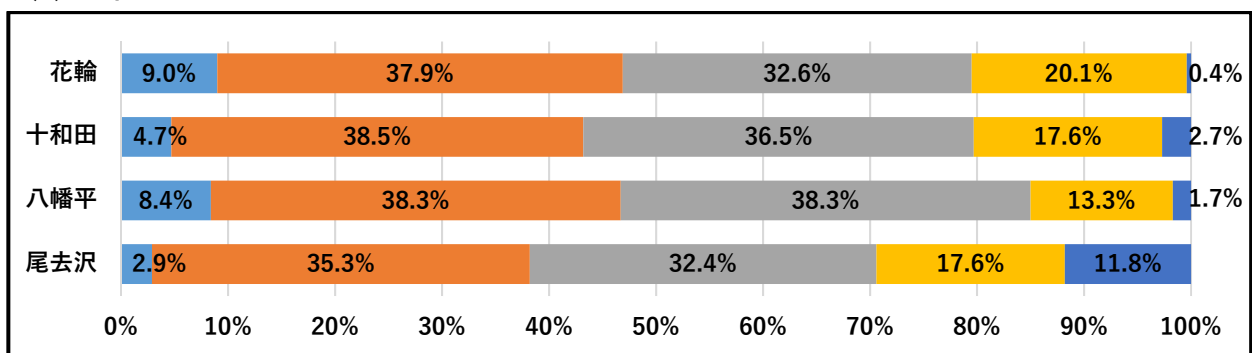
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



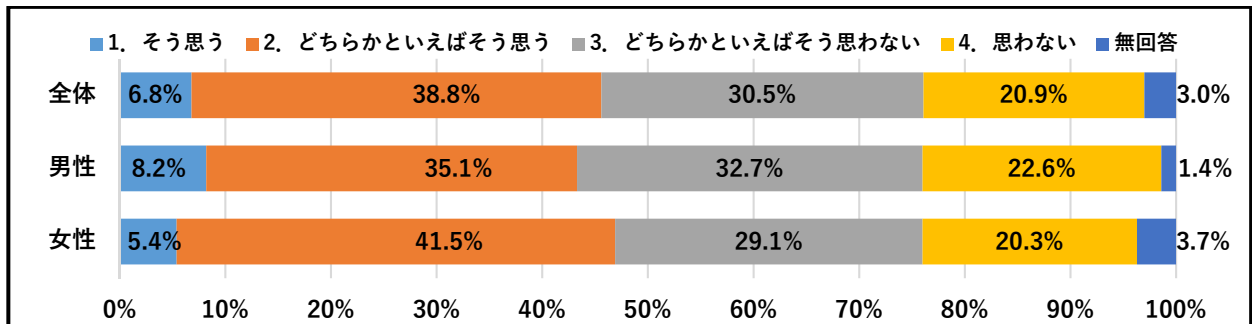
(4) 分析結果

心身ともに健康な暮らしができるまちだと思う割合は44.8%となり、昨年度（49.8%）より5ポイント減少、令和元年度基準値（58.7%）より13.9ポイント減少しています。

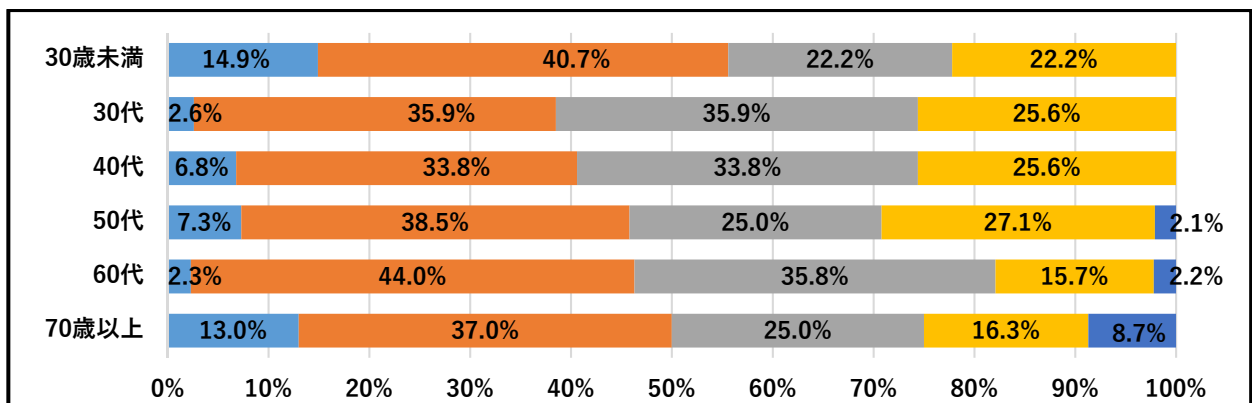
地区別での大きなばらつきは見られませんでした。年代別では、30歳未満の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合は63.0%と、他の年代と比べると割合が高くなっているものの、昨年度に比べて2.0ポイント減少し、30代が5.0ポイント減、40代においては14.3ポイント減など、働き盛り世代の割合が昨年度に比べて低い結果となりました。

設問 13③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちであると思いますか。

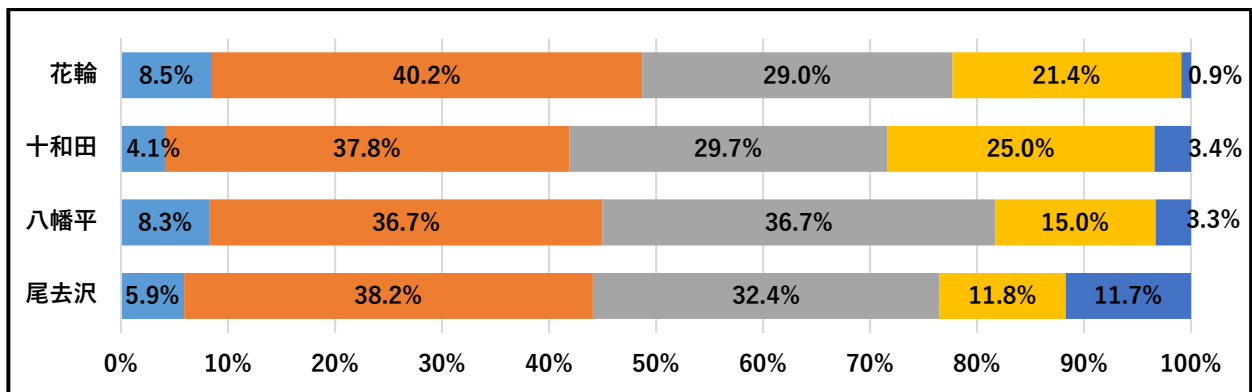
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

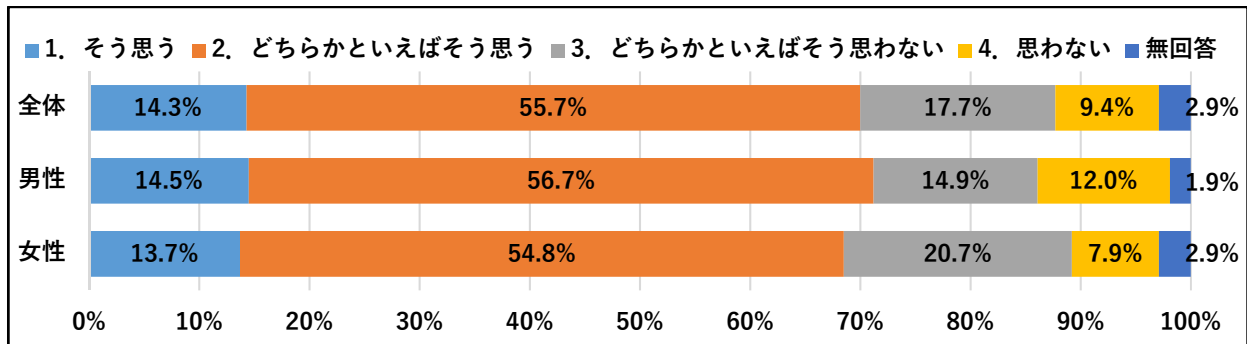
生活環境が快適なまちであると思う割合は45.6%となり、昨年度（46.8%）より1.2ポイント、令和元年度基準値（49.7%）より4.1ポイント減少しました。

年代別では、30代と40代の割合が減少した一方で、30歳未満の割合が10.6ポイント増加しました。

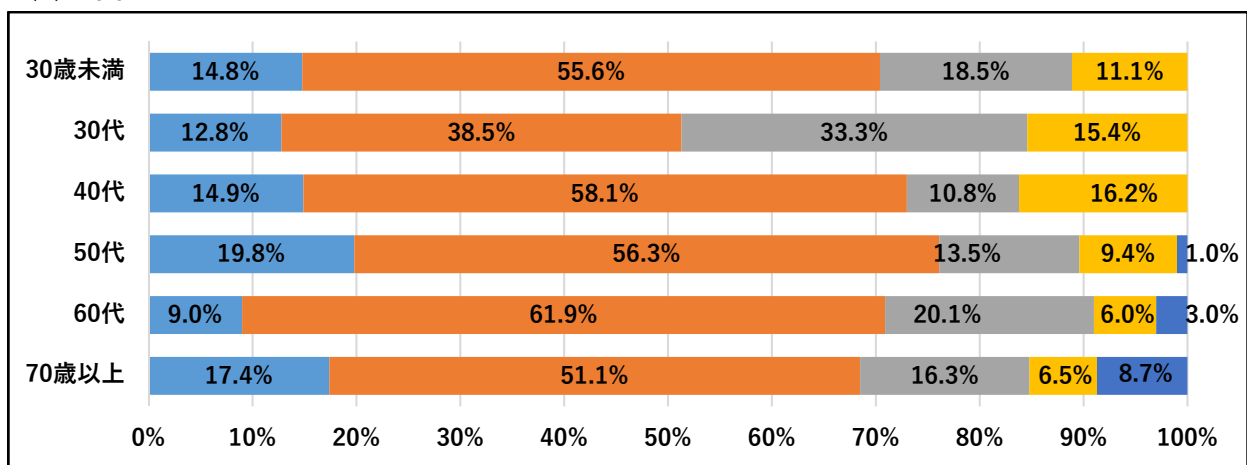
地区別では、十和田地区が昨年度と比べて10.2%減少した一方で、昨年度、大幅な減少が見られた八幡平地区と尾去沢地区については、一昨年と同水準まで回復する結果となりました。

設問 13④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

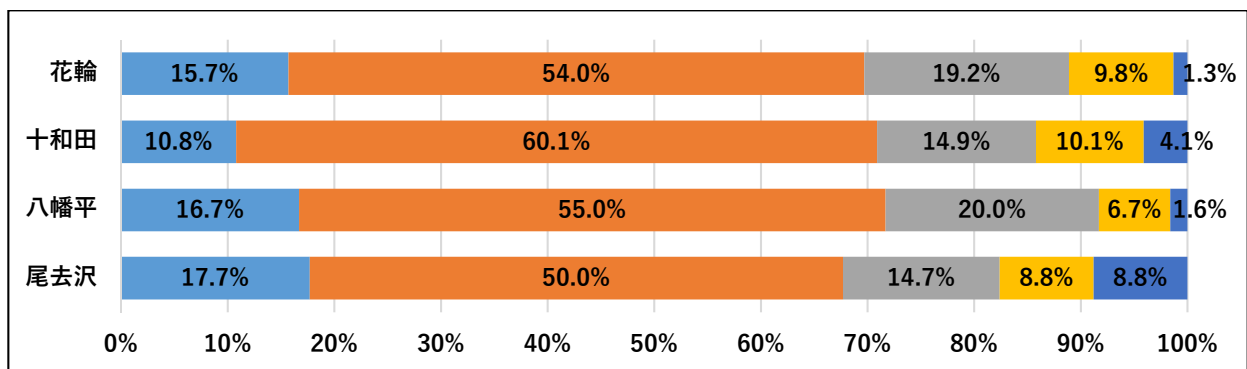
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

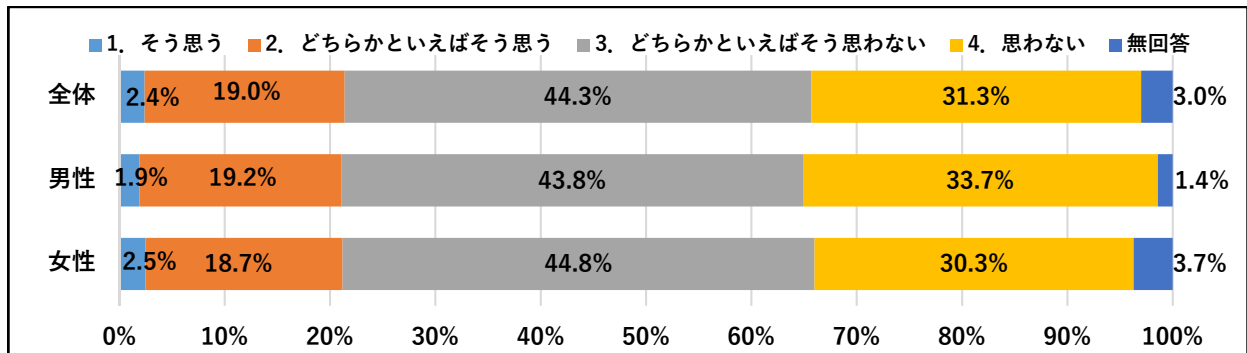
安全で安心して暮らせるまちだと思う割合は70.0%となり、昨年度（74.7%）より4.7ポイント、令和元年度基準値（77.6%）より7.6ポイント減少しました。

年代別では、30代が昨年度と比べて24.7ポイント減少し51.3%となりました。他のすべての年代では、若干の減少となりました。

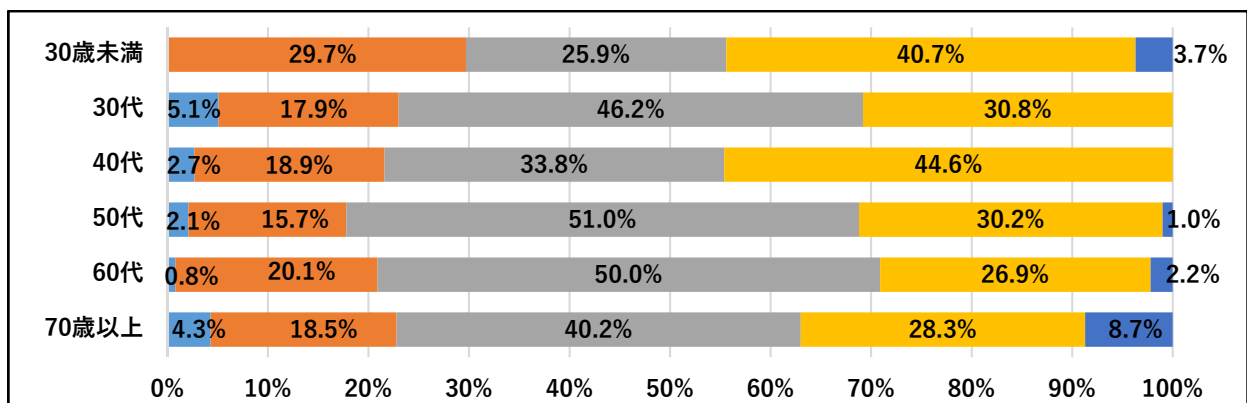
地区別では、昨年度減少幅の大きかった尾去沢地区が5.2ポイント増加し67.7%となりました。

設問 13⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。

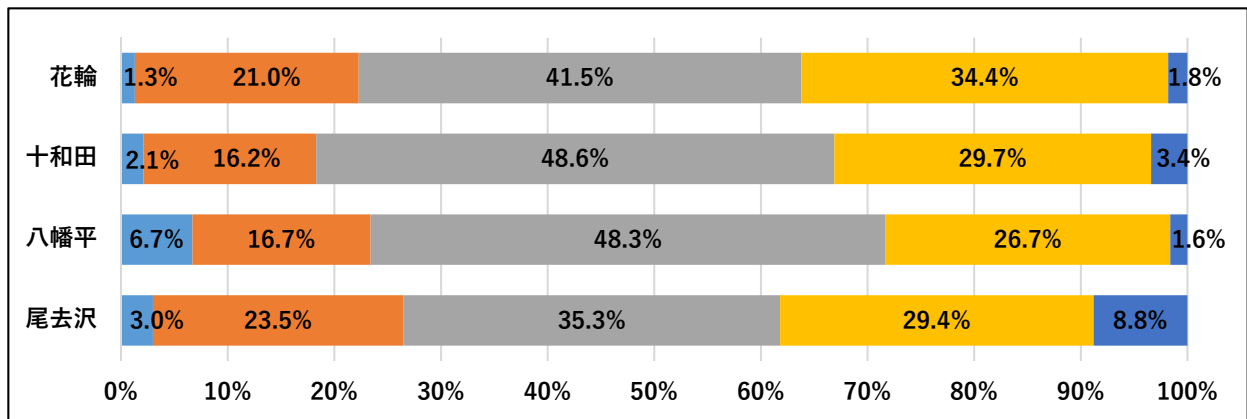
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

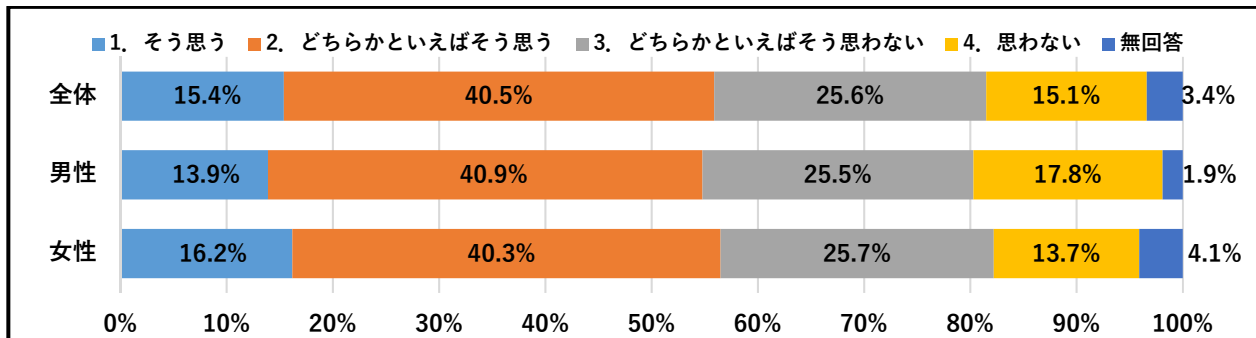
市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思う割合は21.4%となり、昨年度（22.8%）より1.4ポイント減少、令和元年度基準値（23.4%）より2.0ポイント減少しました。

年代別では、30歳未満が昨年度と比べ4.7ポイント増加し29.7%と最も高い割合となりましたが、「そう思う」と回答した方はいませんでした。昨年度に大幅な増加が見られた40代は、12.2ポイント減少の21.6%でした。

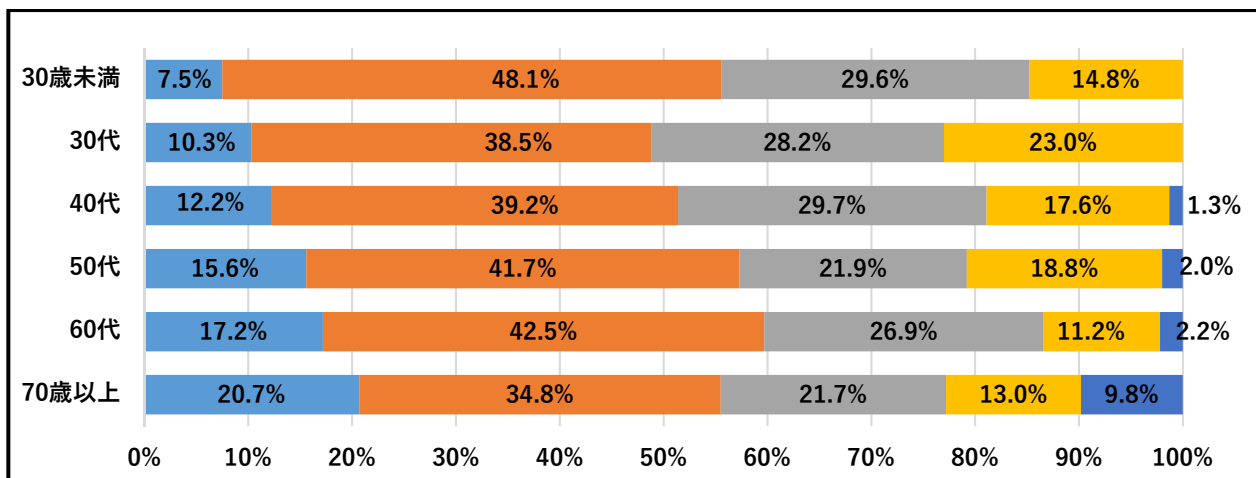
地区別では、八幡平地区が5.7ポイント増加の23.4%、尾去沢地区が13.9%増加の26.5%となりました。

設問 13⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。

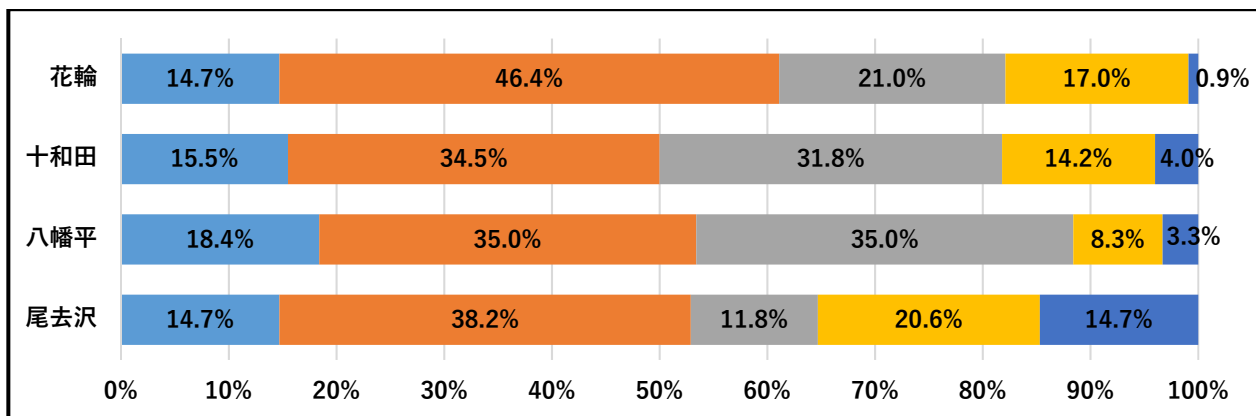
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



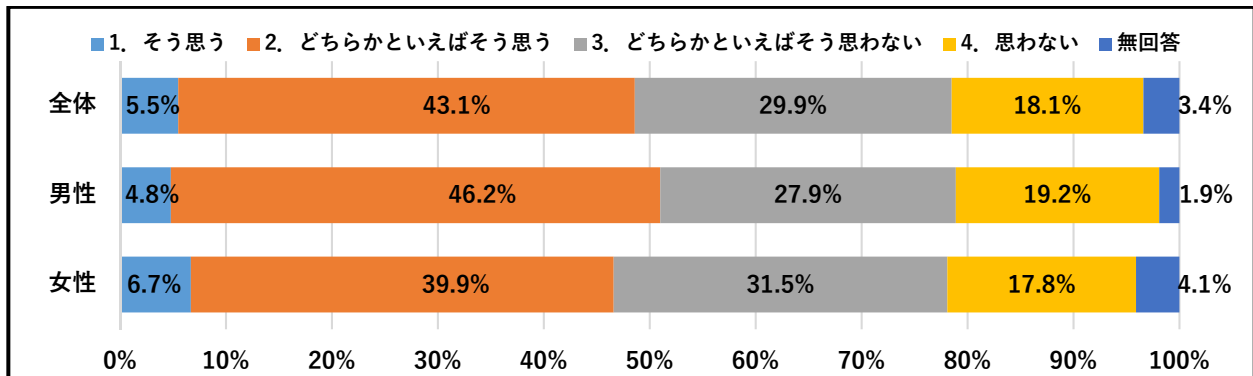
(4) 分析結果

文化遺産が豊富で誇れるまちであると思う割合は55.9%となり、昨年度から3.3ポイント減少しましたが、令和元年度基準値（51.3%）より4.6ポイント増加しました。

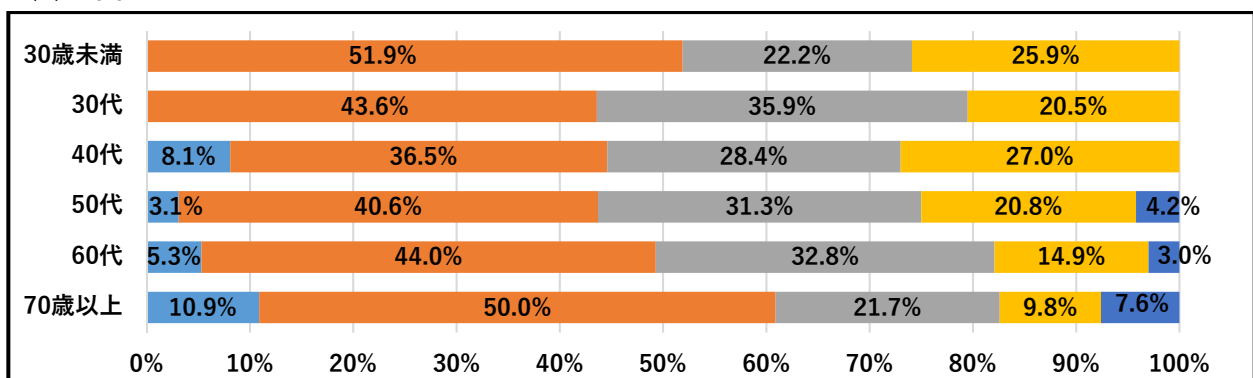
年代別では、30代と40代で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が昨年度と比べ大幅に減少しました。「そう思う」と回答した割合は年代が上がるにつれて高くなっています。地区別では、昨年度に大幅な減少のあった尾去沢地区が52.9%と、一昨年と同水準まで回復しており、すべての地区において半数以上の方が、文化遺産が豊富で誇れるまちであると感じています。

設問 13⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

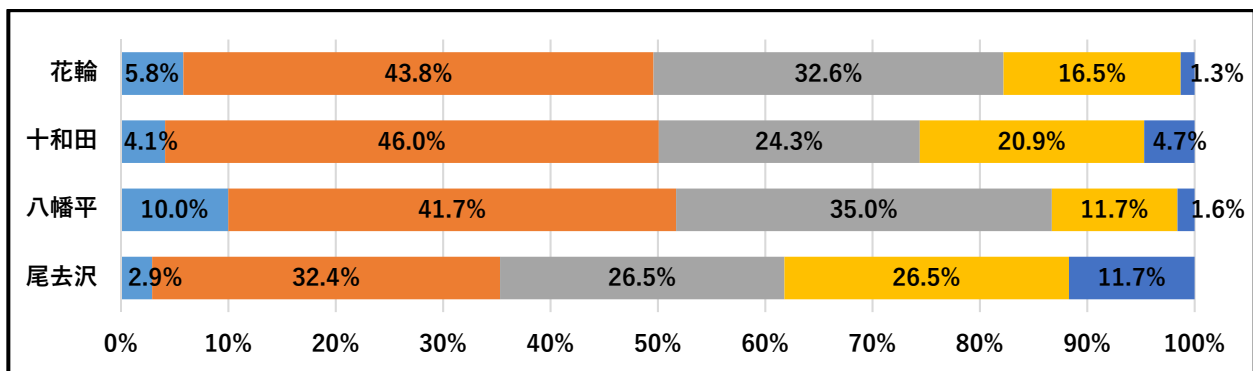
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

自分に必要な行政サービスが受けられていると思う割合は 48.6% となり、昨年度（50.2%）より 1.6 ポイント、令和元年度基準値（59.8%）より 11.2 ポイント減少しました。

年代別では、昨年度と比べ 30 歳未満から 50 代までが減少しています。特に 30 歳未満は 51.9% で昨年度より 13.1 ポイント減少しただけでなく、「そう思う」と回答した方がいないという結果となりました。一方で、70 歳以上が昨年度と比べ 10.9 ポイント増加し 60.9% となっています。

地区別では、尾去沢地区が 17.9 ポイントの大幅な減少が見られ、その他の地区では、ほぼ横ばいとなっています。

13 自由意見

設問 14 で記述のあった自由意見は、138 人から 234 件の市政に関する意見や感想、または第 7 次後期基本計画に望むことを記載いただきました。自由意見については施策別に整理し、それ以外を政策全般に関すること、職員・市長・市議会議員に関すること、市の窓口・行政手続きに関すること、アンケートに関すること、その他に分類し、下表に掲載しています。

(1) 施策別

基本戦略 1 活力を生む地域産業・生業を支える

取組方針 1 地域産業の成長への支援

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 代	給料の底上げをして欲しい。働きたい会社がないから市外に出るのは当たり前。
花輪	男性	40 代	地域としても所得の増加を推進し、高齢者や障害者だけ考えるのではなく、働く世代やその子どもたちが住みやすい街作りをして欲しい。
花輪	女性	60 代	休耕農地の整備（荒廃防止）
花輪	男性	60 代	人口減少の中で将来を見据えた産業構造や流通の再編についての議論が必要ではないか。

取組方針 2 意欲のある就労・就農への支援

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	50 代	農業人口の確保。
八幡平	男性	50 代	賃金UPを図り、若い人が住みたい鹿角市にして欲しい。
十和田	—	60 代	賃金が低すぎるのが問題だと思う。
花輪	—	70 歳以上	子供や年配の方々、移住者の皆さんに手厚い補助などを出すことも大事な事かと思いますが、どちらかというと鹿角に残り今現在安い給料で働いている若い方々にこそ何かしらの手助けをしてあげるべきではないでしょうか。
花輪	女性	70 歳以上	少子化→高卒後都市へ進学していく人が多いが、一度は都会に出てみたいという希望があってもいいと思う。Uターンとなると後継者になるという本人の意思があればいいのだが、就職となると企業、産業がないのは問題だと思う。生活の安定を考えたら市役所就職しかない。
花輪	男性	70 歳以上	家の修理修繕には、年金では賄えない部分があり、働かざるを得ない。その時に、高齢者の仕事が若者を圧迫しない程度であればよいし、高齢者の就労に対して市の補助があればいいと思う。

取組方針 3 産業の担い手の確保

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	60 代	若者の就職先確保の施策に重点を置く。

基本戦略 2 元気で健やかな暮らしを支える

取組方針 4 心身の健康づくりに取組みます

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 歳未満	不妊治療をしやすい市にして欲しい。(補助金をあげて欲しい！！不妊治療にはお金がかかります！！)
十和田	男性	50 代	病院に依存しない健康づくり
花輪	女性	60 代	生活習慣病防止の取り組み
花輪	女性	60 代	クマが出るのでウォーキング等もしづらい環境になっているので気軽に運動できる施設があると市民の健康にもつながると思います。
十和田	—	60 代	RIZAP に金を使うよりも、検診の補助や受診可能な日程を増やすなどに使って欲しい。
八幡平	男性	60 代	市で行っている健康診断についてですが、62 歳以上は自己負担になっていますが、年金受給者の方々が僅かな年金から負担して検診を受ける現状が理解できません。7、80 代の方々が元気で明るく生活していける鹿角市を目指すのであれば、市がもう少し高齢者の負担にならない政策を考えて欲しいです。
十和田	男性	70 歳以上	母子保健の充実、妊娠から子育て中の手当を拡充して欲しい

取組方針 5 適切な医療を受けられる体制整備

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 歳未満	鹿角市で出産できる環境を作って欲しい。
花輪	—	40 代	産婦人科の進捗状況を知りたい。
十和田	女性	40 代	市内で、透析をしても受け入れてくれる施設を作って欲しい。現在は、市外ないし県外に行くしかないが、そこでも待機している方がたくさんいて、受け入れてもらえない。早期に対応して欲しい。
花輪	女性	50 代	スポーツジムより、産婦人科の方が最優先だと思う。高齢者支援ばかり豊富で、若い世代の必要としているものがほとんど無い。厚生病院の対応が最悪なため、子育て世代はみんなわざわざ大館の病院まで通っている。本市ではなく、他の市に通われている事を恥じた方がいい。
十和田	男性	50 代	産婦人科常勤医の確保(いくら他の事業を充実させても、これが無いと若者は住み着かない)
十和田	男性	50 代	救急医療の充実(大湯リハビリ温泉病院、鹿角中央病院)。医者が確保されても看護師不足が深刻で激務、厚生病院だけでは無理です、看護師が辞めていくだけ。
花輪	女性	60 代	鹿角市内でお産ができるようになって欲しい。
花輪	女性	60 代	医療の質の向上。
十和田	—	60 代	やはり産婦人科の復活です。娘たちが里帰り出産できません。
十和田	女性	60 代	医療従事者の不足に対して、国や県との協力だけでなく、市独自の補助を出して欲しい。
八幡平	男性	60 代	鹿角厚生病院が、頼りにならなくて、非常に心細い。比較的住みやすいし、食べ物は美味しいし、伝統文化や温泉など、魅力に溢れている所だと思うが、

			(発信の面では物足りなく生かしきれていないと感じるが)これでは、老後、ここにいたいと思えない。病院のスタッフもなにか横柄な感じがっかり。ここに書くべきことではないのかもしれないが、医療は非常に重要だと思う。
十和田	男性	70 歳以上	里帰り出産ができる鹿角市にして欲しい

取組方針 7 地域ぐるみの子育て支援の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40 代	子どもを生む時点から高校を卒業するまでの期間の経費が一切かからないぐらいの支援をする方が、移住者や若い人たちの増加、定住に絶対繋がると思います。是非とも進めて欲しいです。
十和田	—	60 代	鹿角市で子育てするにはいい環境だと思うのもう少し子育ての面で市外にアピールしたらいいと思う。
八幡平	女性	60 代	子育て中は支援されていたり、色々と優遇されるのが当たり前だと思っている親が増大中なのが悲しい。もちろん、優遇されるのが今の世の常識になっているけど、子育てを人任せにして、気に入らない事があるとすぐ攻撃してくる。親としてどうあるべきかの教育も必要に感じます。
花輪	—	70 歳以上	子どもに対して予算を割いて欲しい。体操着、制服代が高すぎて辛い。給食費と体操着、制服代の助成をお願いしたい。

取組方針 8 高齢者のいきいきとした暮らしの支援

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	40 代	中心市街地だけでなく、もっと広域に老人が住みやすく、簡単に市街地に行けるようなサービスをやればいいと思う。
十和田	女性	40 代	介護タクシーの会社を増やして欲しい。
八幡平	男性	50 代	高齢者が外出できる環境（予約制のシャトルバスのようなもの）を中心街だけでなく、僻地な場所ほど、必要と考える。
花輪	女性	60 代	高齢者の交通手段対策。
十和田	女性	60 代	タクシー券の申請を各支所でできるようになって欲しい。
花輪	女性	70 歳以上	高齢者が過ごしやすい環境も作るべき。

基本戦略 3 快適で安らぎのある暮らしを守る

取組方針 10 衛生的で良好な生活環境の確保

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40 代	浄化槽設置の助成より下水道をもっと増やして欲しい。定住者を増やしたいのであれば目先の支援より、長期的な家の管理など視野に入れて対策して欲しい。
十和田	女性	40 代	上下水道の配管が通っていないために未だに地下水です。配管が通っている場所と通っていない場所の差別は何でしょうか？回答をいただきたいです。上下水道の配管が通っていない場所の工事を早急に対応して欲しいです。
花輪	女性	60 代	全地域下水道化の早期実施。

十和田	女性	60 代	介護従事者の不足に対して、国や県との協力だけでなく、市独自の補助を出して欲しい。
八幡平	女性	60 代	地域全体に差別なく上下水道設備を進めて欲しい。

取組方針 11 安全・安心な住まいづくりの推進

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	50 代	空き家対策をなんとかして欲しい。 空き家の雪庇や落下物が自分の家を損壊しないか心配。
花輪	女性	60 代	空き家対策。
十和田	女性	60 代	単身低所得者のための住宅が少ない。市で整備できないのか。安価な賃貸住宅で雪下ろしの補助もなく大家さんにもお願いできない人もいる。持ち家者の 1/2 でも補助できないのか。

取組方針 12 地域に合った公共交通手段の確保

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	40 代	オンデマンドを普及させて欲しい。高齢者や、自動車が運転できない人は鹿角では生活しにくい。
花輪	男性	40 代	免許返納後の交通手段の充実。
尾去沢	男性	50 代	商業施設や市役所の近くのバス停を使いやすくして欲しい。 近隣だと大館や鷹巣ではいとか SC やイオンの駐車場まで路線バスが乗り入れ、待合所が設けられています。鹿角のいとか SC でも駐車場への路線バス乗り入れ、屋根が付いた待合所があると高齢者の方も便利だと思います。 また、市役所については十和田タクシーの路線と同様に秋北バスの路線も庁舎の前までの乗り入れを検討できないでしょうか。
花輪	女性	60 代	市内循環バス、一方向だけでなく、反対回りも運航したら利用者は増えると思います。
花輪	女性	60 代	バスまたは代替の公共交通機関の整備をして欲しい。
十和田	女性	60 代	足の悪い人に対して移動手段を提供してあげること、消費の促進につながると思う。
十和田	女性	60 代	車が運転できなくなった時の移動手段が不安。
八幡平	女性	60 代	高齢の一人暮らしが多くなってきているため乗り合いタクシーみたいなものがあればと思う。
八幡平	男性	60 代	カーボンニュートラルを宣言しているなら、子ども達にバスの利用を促した方がいいと思います。学校も、運動公園、何もかも全て車で行くのが当たり前なので、遠く不便な場所にある。車を利用するから、バスの本数も少なく、十和田タクシーの路線バスも、土日祝休み。矛盾していませんか？ 交通機関が不便な所には、移住しないと思います。車がなくても生活出来る環境を作って欲しい。また、道も車椅子やベビーカーの人が安心して利用出来るような道を作れば、100%の介護では無くなるのかも。ゆっくり景色観ながら車椅子で出歩くのを望んでいると、思います。車を運転出来る年齢は元気の活力がある年齢です。中心部から離れていたり、子どもや高齢者

			はその人たちがいないと、中心部に行けないっておかしくありませんか？交通機関の見直しお願い致します。
八幡平	女性	70 歳以上	70 歳を超えたので、タートルマラソンでジョギングを楽しみたいけれど、交通手段がなくて困っている。頼りのバスは祭日、土日は休みだし、町からはずれた所にいると、どうも勝手が悪い。そういうことが色々なイベントから離れる不便さにもつながる。

取組方針 13 ごみの適正処理と資源リサイクルの推進

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50 代	街中のゴミがよくカラスにやられている。ゴミ収集の方法、置き方の工夫を。

取組方針 14 緑と水の映えるまちの環境の保護

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40 代	熊対策として周囲の木を伐採して欲しい。また、放置されている土地の木も伐採して欲しい。
花輪	男性	40 代	秋田県で花粉の少ない杉への植え替えを推進しているため、花輪地区も進めて欲しい。
花輪	女性	50 代	私の集落は田畑と隣接しているが、その耕作者の農地管理が適切に行われておらず、耕作放棄のようになり、毎年背丈以上の雑草で覆われ非常に近隣農地作業者と地域住民が迷惑している。また、不適切管理農地周辺が生活道路に面しておりその道路に泥をまき散らし農耕車等を走らせている。 毎年のように耕作者に近隣農地所有者並びに周辺自治会長が適正管理と道路の適正利用を要求するも全く改善されないし、並行し農業委員会にも苦情を出しても農業委員会の指導が行われているのか全く見えない。 特に昨今の熊・イノシシの被害報道を鑑みるに藪状態になった農地が隠れ家になる観点からも自治会内では非常に危惧している。 行政には、このような農業者を厳しく指導し改善が見られない場合は厳格な対処と社会的制裁を行って欲しい。 均しく農業も産業であり、生業としている以上は地域住民に迷惑をかけていいものではない。
花輪	女性	50 代	草刈りや木の伐採をしないと熊の温床になるので市を挙げて行って欲しい。
花輪	女性	60 代	熊対策。
花輪	女性	60 代	熊対策を引き続き行いメール配信やパトロールを行って欲しい。クマよけグッズを各家庭に配布して欲しい。（鈴や近づかない樹液 etc）
花輪	男性	60 代	水田の畝等に除草剤を散布することは食の安全を脅かすし、大雨時の災害増になる。電池駆動草刈機導入補助事業、市民が提案し任用職員として事業立ち上げに参加する制度が必要ではないか。
花輪	男性	60 代	市の防災メールを使っておりますが、熊の出没はかなり見かけていると思いますが、発見した際の連絡先は警察なのか市なのかはっきりさせていただきたいのと、聴取に時間がかかるからという理由で報告していない場合が多々あるようです。簡素化できないでしょうか。それと、発見場所などをネット

			の地図に載せたりすることはできないでしょうか。地名だけだとわからない場合もあり。
十和田	男性	60代	熊防除のため草刈りの強化。
花輪	男性	70歳以上	熊対策。
花輪	男性	70歳以上	クマ対策をしっかりと行い、人災がないようにしてもらいたい。
花輪	男性	70歳以上	しっかりと草刈りを行って欲しい。
花輪	女性	70歳以上	獣が出ないで安心して暮らせるまちづくり。
尾去沢	女性	70歳以上	自然を大切に保って欲しい。

取組方針 17 災害に強いまちの基盤整備の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50代	寒さや大雪に対する道路等の安全対策、自然災害に強い地域になることを望みます。
花輪	男性	60代	大雨災害予防のため、中心街の側溝の泥上げが必要かと思います。
十和田	男性	60代	道路の穴やひび割れの修復、白線を早くして欲しい。
花輪	男性	70歳以上	大雨の際の川の氾濫対策。
花輪	男性	70歳以上	西山の道路を急いで直していただきたい。
十和田	女性	70歳以上	雨天などの災害の復旧、橋などが通れず大変不便にしております。至急に直して欲しいのに何年かかるのか。市長（県議）にお願いしたのにいまだ通れず。大変困っています。（二本柳）

基本戦略 4 暮らしの安全・安心を高める

取組方針 18 防犯や交通安全を進めます

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	60代	田舎といえど犯罪は起きているのでプライバシーに配慮しながら防犯カメラの設置を進めて欲しい。

基本戦略 5 未来に羽ばたく人材を育てる

取組方針 19 子どもから青少年までの生きる力の育成

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30代	通学の定期購入は年一回学校でできるようにして欲しい。長期休みなど助成金を差し引いた金額で購入できるように。年に何回も購入に出向くのは負担である。
花輪	男性	40代	花輪小学校周辺の道路が狭く、通学時間帯の交通量が多いため危険。歩道の整備をせず、市としては事故が起こるのを待っている状況なのかと思う。
十和田	女性	40代	部活がない時の遠距離登校向けスクールバスを増やして欲しい。
花輪	女性	50代	学校の統合を進めて欲しい。それがコンパクトシティ化にもなるのではないか。小学校は3校？中学校は2校が現状からは妥当か。
花輪	男性	60代	学校教育について、知識偏重ではないあり方内容について鹿角市独自の内容

			を検討・試行してみたらどうか
十和田	女性	60代	教育委員会の対応について、児童・生徒及びその保護者の訴えに対してもっと親身になって欲しいです。先生方、教育委員会の皆さんを見てみると、事なかれ主義というか、その場しのぎの感じがします。これ以上、不登校の児童を増やさないためにも考えていただければと思います。
八幡平	女性	60代	鹿角の子ども達は根が優しく、素直な子ども達が多いので市の財産だと思います。産んで、育てる支援だけではなく、子どもに直接何かの支援や、子供を育てる、親を育てる支援。（自分の子に責任を持って育てることのできる親力の育成。）

基本戦略5 未来に羽ばたく人材を育てる

取組方針21 自ら学び、行動する社会人を支援します

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	40代	地域が発展するための一番の要因は、自分が何をしたいか、何に貢献できるか、はっきり認識できる人をいかに多く育てることができるかにかかっていると思う。
八幡平	女性	60代	コモッセに若者の人気のあるバンドやお笑い芸人来てもらう。

経営戦略1 まちに人・モノ・外貨を呼び込む

取組方針22 人や地域の活力を生む交流の促進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40代	県外移住者の経済援助
花輪	男性	40代	50手前でUターンしてきたおっさんに補助金とかはないのか。
花輪	女性	50代	交流活動を通して刺激があると良い。地域協力を促進して、事業、経済、社会発展が必要。
十和田	男性	50代	空き家や売り家を市で買い取り、IターンやUターン、子育て世代へ貸し出し、定住を促す。
十和田	—	60代	市の事業で鹿角市に移住したのにも関わらず、移住関連の補助が一切なかった。移住ありきの転勤だったが、「転勤扱い」になり補助がでなかった。補助が出る・出ないの基準を明確に記すべきだ。これは補助金事業すべてに言えることだと思う。
八幡平	女性	60代	市と高校でコラボして広報に高校の様子を掲載したり、市と一緒にイベントを開催したり、若い発想と力を借りてお互いに助けあって市を盛り上げて欲しい。

取組方針23 販売促進型農業と6次産業化を進めます

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50代	優良な黒土の畑地が豊富であることから市を挙げて生薬売買に取り組んではどうか。（新たな農業・付加価値・耕作放棄対策となりうる）

花輪	女性	60 代	物価が上がっているの、鹿角市内で小麦や蕎麦、家畜の飼料を作れないか？
八幡平	女性	60 代	特産品をオシャレなパッケージにしたり、時代に即したビジュアルを取り入れる。
尾去沢	女性	70 歳以上	鹿角の農作物を活かして地産地消を目指して欲しい。
尾去沢	女性	70 歳以上	これといった特産物を生み出し、鹿角が潤うようなものがあればいいと思う。

取組方針 24 稼げる観光振興の推進

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	30 歳未満	従来の方法とは異なる方法で、豊富な観光資源をもっと上手く活用し、観光客を呼び込める方法を考える必要があると思う。
八幡平	男性	50 代	観光に力を入れて欲しい
花輪	女性	60 代	観光客の増化対策
花輪	男性	60 代	他県から訪れる方々に「またもう一度訪れたい！」と思わせるような魅力的な市に思えるように、鹿角市の PR をもっとしていただきたいと思います。秋田県全体に言えることですが、県や市町村の宣伝がとても下手だと感じています。秋田、鹿角にはいい物だったり、素晴らしい文化がたくさんあると思っています。今の時代に合った情報の発信を積極的にしていくべきだと思います。
八幡平	女性	70 歳以上	八幡平国立公園がもっと身近になって栄えることを望みます。小さなバスでも夏の間だけでも走ってくれたらと思います。

取組方針 25 スポーツの力でまちの魅力を向上

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50 代	アルパスのテニスコートの補修をして欲しい
花輪	女性	50 代	スキーと駅伝のまち、と謳っているが、地元の方たちがどれくらい親しんでいるのかは疑問である。残念ながらそこまで根付いていないと感じる。
十和田	男性	50 代	全国規模の大会誘致の前に、各競技団体の高齢化になり役員不足が発生している。行政でもその種の人材確保が必要ではないか。その競技も知らずに派遣されても役には立たない。大会誘致したいのなら大会現場で最前線の役員の会社に直接市長が役員要請のお願いに回らないと、自分の休暇使って、会社に迷惑かけてまで役員は集まらない、役員に行きたいが会社からいい返事がない、会社で代わりがないなどの話も聞きます。役員要請の紙切れ一枚で休んで大会に来なさいなんて今の人材不足の中でご時世では無理です。
花輪	女性	60 代	市民プール以外に泳げるプール施設を用意して欲しい。
八幡平	女性	60 代	鹿角市のスポーツ賞では、全国規模、県大会優勝規模しか表彰しないが、県で上位に入ってる子供達がたくさんいるので、頑張りが認められる機会があれば子どもたちは嬉しいと思います。
花輪	女性	70 歳以上	「スキーのまちかづの」について、もはや市民スポーツではない現状を考えると、政策の転換が必要だと思う。
八幡平	男性	70 歳以上	これからスポ小として活動しようとしている団体に対し、手厚いサポートと

			スムーズな対応をお願いしたいと思います。また、スポーツ施設の維持管理として冷暖房設備をしっかりと整えて頂きたい。
--	--	--	--

取組方針 26 次世代産業の創出への取組

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30 歳未満	働ける場所や賃金を増やす。
花輪	男性	40 代	地球温暖化を早く止めるために鹿角市が独自性を出して大きなスローガンを掲げて取り組んでもらいたい。
花輪	男性	40 代	カーボンニュートラルの件について市で宣言したことは知っているが、何か取り組みはしているのか。
花輪	女性	50 代	鹿角にはお店が足りないと思う。 創業・起業ができるような、補助金や、助成金を活用できるよう、支援して欲しい。
花輪	女性	50 代	鹿角は北東北の中心にして交通の要衝として意義ある土地と思われるので、十和田 IC 周辺に物流倉庫・トラックターミナル等の誘致活動を積極的に行ってはどうだろうか。（2024 年問題の解決と雇用創出につながる。）
八幡平	男性	50 代	企業や商業施設の誘致を行って欲しい。
花輪	女性	60 代	元自動車学校の空き地を何かに利用して欲しい。たとえば、バッティングセンターやスポーツジム、カラオケ。
花輪	男性	60 代	地球温暖化は喫緊の課題だが、もっと全市民的な課題を共有できないものか。
十和田	女性	60 代	本アンケート内容につきまして、各項目大切なことばかりと思いますので、取り組みに期待致します。人口減少については触れられておりませんが、一市民として危機感を持っております。既存産業の成長も必要ですが、一次産業や観光だけに依存するのではなく、新産業の創造、誘致を含めた検討が必要だと思いますので、既にお考えのこととは存じますが、更なる議論を期待致します。以上、ふるさとを誇り、未来を拓くために健全な市政を実施頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。
十和田	男性	60 代	北東北の要衝地としての利点を活かして物流企業等の誘致を行う。（なるべく設備投資を伴う企業誘致に取り組む。）
十和田	男性	60 代	市の予算もソフト関連への支出を抑えて、工場や事業所の造成費用への助成金を増やす。
十和田	女性	60 代	省エネ家電購入補助金について上限 10 万円は多いと思う。補助金で家電を購入し、他人にプレゼントするという声まである。金額が少なくても、多くの人に補助ができるほうがいい。
花輪	女性	70 歳以上	若い人を集客できるような対策が必要だと考える。進学等で鹿角を離れても結局仕事の幅が無ければ鹿角で働くことがなく若者離れになっている。
八幡平	男性	70 歳以上	若者の市外流出を防ぐための新産業を創出する。 複合型レジャー施設（ショッピング・遊園地・飲食店）があれば、魅力ある街になると思う。
尾去沢	男性	70 歳以上	若者が働く事業所が少ない。 若者が、市内から都会に出ていかないように、皆で（特に議員）考えること。

経営戦略2 「世界遺産のまち」をつくる

取組方針 28 ヘリテージ・ツーリズムの推進

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 代	「スキーと駅伝のまち」はもう卒業して欲しい。時代ではないし、前市長が推していたのだから「世界遺産」をもっとアピールして欲しい。
十和田	男性	50 代	十和田地区のコンビニで、ストーンサークルの場所を聞く人を良く見かけます。
十和田	女性	60 代	有料文化施設にも市民割を設定し、事業者にも補助金を。
尾去沢	女性	60 代	鹿角は昔から観光地ですが、これからはプラスアルファが必要だと思います。例えば、あんとらあ、花輪ばやしの音楽を屋台だけでなく、太鼓の叩き方など、疑似体験とか出来たら面白いと感じてくれるのではないかと思います。また、ここでしか食べられないものを作るとか。文化財の多さをもっと PR するとか、もっとネットを使うことをおすすめします。
花輪	女性	70 歳以上	ストーンサークルにお金をかけることに市民はそれほど期待していない。現状で十分。これ以上の投資は市長の自己満足に過ぎないのではないかな。

経営戦略3 まちの経営力を高める

取組方針 29 効率的な行財政運営の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50 代	廃校になった末広小学校校舎や、北小校舎などなど、活用できていない建造物は、このまま廃墟になる前に早めに撤去して欲しいと思う。そこから出た廃棄物のなかで利用価値があるもの（椅子、机…ほか）は、市内・市外を問わずオークションなどで、無駄なくリサイクルして欲しい。
十和田	女性	60 代	鹿角市民への割引と事業者への補助。パークホテルの高額な補助金に納得できない。あのくらいするなら、ホテルのランチや宿泊に市民割があってもいいと思う。
花輪	—	70 歳以上	少ない税金をどう無駄なく使っていけるかももう少し市役所内で考え直す必要があるのでは無いでしょうか。本来は国がやるべき事だと思いますが、期待できぬのであれば市独自の新しい形を見出してみるべきでは無いでしょうか。正直な話、消滅可能性都市を実感する日々を過ごしています。

取組方針 30 未来技術の導入を進めます

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50 代	各種の手続きを高齢者がなかなか自分でやるのが難しい。もっと簡単にできないか。
花輪	女性	60 代	現行の保険証廃止への反対
十和田	女性	60 代	デジタルに疎く、1 人暮らしで情報が得られなくなるのが不安

取組方針 31 多様な主体の力で共に発展するまちづくりの推進

地区	性別	年代	内容
----	----	----	----

十和田	—	60 代	自治会に加入したら個人情報だだ洩れになった。時代の流れに沿った自治会運営を望みます。自治会がなくなればどこに問題があるのかを洗い出し、今後の自治会のあり方を検討するべきだ。プライバシーを大切にしてください。
-----	---	------	---

取組方針 32 コンパクトなまちづくりの推進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40 代	駅前活性化（食堂が無い）
花輪	男性	50 代	設問 10 はそもそも愚問である。中心市街地の生活環境の設問はそれ以外で生活している市民に対しての侮辱ともとられかねないし、中心市街地だけよくなればよい、なんとかしたいととられる。もっと農村地区にも目を向けて欲しい。
花輪	女性	50 代	鹿角市は広いので、やはりコンパクトシティ化がこれからの課題ではないかと思う。先祖からの土地を守るという気持ちの方は多いと思うが、できるだけ居住地を含め、人々の活動の場をもっと集約すべきだと思う。
尾去沢	男性	50 代	鹿角花輪駅周辺の駐車場を増やして欲しい。花輪線や夜行バスを利用したくても駅前駐車場が少なく停められないことがあります。土地的な制約があると思うので、例えばあんとらあに車を止めて駅との間を定額（500 円程度）で移動できるようなアクセス手段を作るとか方法はあると思います。
十和田	女性	60 代	市街地ばかりでなく、もっと農村地帯にも目を向けて欲しいです
尾去沢	男性	70 歳以上	コンパクトシティを目指して、税を効果的に使って欲しい。

(2) 政策全般に関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 歳未満	子育て世代ばかり手当を充実するのではなく、子どものいない世帯にも少しでも手当を考えて欲しい。(子どもが欲しくてもできない人たちがいるのを知って欲しい！！)そういう格差をなくして欲しいです。
花輪	男性	30 代	全てにつながってきますが 1 人でも子供が増え、人口が増えてくれる実感がもてればありがたいです。
尾去沢	女性	30 代	子供や高齢者に対する支援は色々あるけど、中高年向けの支援が少ないように感じる。
十和田	女性	40 代	高校卒業後の都会への流出が多いが、高校生はどんな職業に就きたいか、又、鹿角市に日常生活を送っていくのに魅力ある施設があるのかを聞いてそれに近いものを作っていくことが人口減少を少しでも和らげることになるのではないのでしょうか。
十和田	女性	40 代	少子化、人口減少に対する施策を本気で取り組んで欲しい。
十和田	男性	40 代	鹿角市は高齢者が多いですが、高齢者でも身体と相談しながらできることはまだまだあるはずだと思います。高齢者が街づくりに貢献している地域がありましたら、ぜひ紹介して欲しいです。そして鹿角市を盛り上げたいです。
花輪	女性	50 代	人口減少などを考えると、いろいろな行政サービスでも共有している鹿角市、小坂町の統合はもう一度検討、交渉する時期に来ていると思う。
花輪	女性	50 代	鹿角市のアピールが他県に比べて足りないような。よく青森県が TV や CM に

			出るが、アピールが上手！！
花輪	女性	50代	少子高齢化はやむを得ないことだと思う。今住んでいる人たちが「鹿角はいい町」と思えることが最優先。そのために行政があるべきではないか。
花輪	男性	50代	市の政策がよく見えないとともに、興味があまり持てない。市民にもう少しわかりやすい政策を示して欲しい。
十和田	男性	50代	子供たちの教育に力をいれて全国トップになっても、ほとんどは県外に出てしまい、鹿角市どころか秋田県にも還元できていない現状。まずは最低限、安心して医療や子育て、就労のできる地域にしないといけない。
十和田	男性	50代	アンケート内容で、市が力を入れている計画を初めて知りました。広報だけでない発信の方法、回数、興味のある方への情報の拡散、イベント開催など鹿角市から市民、県民、全国民へ周知されるような発信をして欲しいです。市民なのに鹿角市が何に力を入れているのか伝わっていません。
十和田	男性	50代	少子化、人口減少を見据えた政策。
八幡平	女性	50代	観光面で魅力のある町だと思うが、それを支えていくためには、人手が必要であり、そこで暮らす人の生活を安定させることが重要だと思います。子を産み育てたいという気持ち。それを実現できる環境が整い、その世代が鹿角市に集まることを願います。
八幡平	男性	50代	とにかく少子高齢社会に対応した地域活性化の項目を推進して欲しい。
花輪	女性	60代	今後も利用しやすく安くなるクーポン券を春夏秋冬で行って欲しい。
花輪	女性	60代	鹿角市が何を推し、何を売り込みたいのかよくわかりません。少子高齢化は全国的なので仕方ありませんが、若い人が住んで楽しくなければ当たり前都市部へ流出します。我が家も娘3人が県外で就職しました。私が自分の地区で思うのはあまりに連帯感みたいなのが強いところと、他への干渉が著しいところ。若い人はそれが嫌いなんだと思います。様々なところを押し付けあうようなところもあります。なんでも自分からやってみたいとか参加したいと思えるような活動があればいいと思います。
花輪	女性	60代	人口減少をしっかりと対策しなければと思います。
花輪	女性	60代	鹿角市がもっと活気のある町になればいいと思う。現在は休日でも商店街は閑散としている。いいものがたくさんあるのにうまく発信できていない。若い人の意見をたくさん取り入れて活気を取り戻して欲しい。外部の有識者に協力を仰ぐなどして欲しい。
花輪	女性	60代	子どもや生産年齢人口の減少対策
花輪	女性	60代	次世代を担う若い人たちが居たいと思える街づくりをして欲しい。街に活気を取り戻して欲しい。
花輪	女性	60代	各地 移動への交通手段減少、若者減少、温泉地の利用活力衰退。もっと鹿角市を考えなければならないと思います。
花輪	男性	60代	数年ぶりに鹿角市に帰って来ましたが、いい意味でも、悪い意味でも何も変わっていないと感じます。多少、建物が変わっても、住人の意識まで変われるのか疑問です。今までやったことがない、今までこれでやってきたという保守的な考え方や行動意見は衰退を助長させているということを強く認識して欲しい。

十和田	女性	60 代	商品券の検討をお願いしたい。
八幡平	男性	60 代	鹿角市に今以上の期待を求めることはありません。人口流出、出生減少、企業撤退・倒産など、どんなに素晴らしい文化財があったとしても、それでは生活していきません。魅力ある企業（職業）、農業、商業など、若い人たちが意欲をもって取り組むことのできる業種があればいいと思うのですが、鹿角市にもはや何を期待すればいいのかわからなくなってきました。
花輪	女性	70 歳以上	他の施策も 1 つ 1 つに深みがなく、市民の満足度が低いように感じる。市長公約と総合計画に整合性がなく、公約の進捗を示す指標が一向に見えない状況を感じる。
花輪	女性	70 歳以上	高齢者は若者と違って SNS とか情報の共有などできない人が多い。何でもかんでも SNS は悪手だと感じる。誰でもわかる情報発信について今一度考えるべき。職員の方々も直接市民の声を聴いて欲しい。
花輪	男性	70 歳以上	移住で人口を増やすのも重要ですが、今、市内や県内にいる学生や若者を県外に流出しないようにする取り組み、または大学などを卒業して地元に戻って来てもらえる魅力のあるに力を入れて頂きたい。
花輪	男性	70 歳以上	活気のあるまちづくり、魅力あるまちづくり若者が集まってくるような鹿角にして欲しい。
花輪	—	70 歳以上	全国的な流れで、それに従い同じような政策をとっているだけだとは思いますが、急激に人口減少が進む秋田県、鹿角市で他の地域と同じような政策を打ち出しても何も改善されて行かないような気がします。
十和田	—	70 歳以上	何をやるにも宣伝不足のような気がします。近くで行事をやっている知らないということが多い。
尾去沢	男性	70 歳以上	子ども達が地元に残りたいと思うようなまちづくり
尾去沢	—	70 歳以上	鹿角は自然が豊かで住んでいる人たちはとてもいい人ばかりで安心安全な地域だと思っています。でもこのままでは消滅してしまうのでは？と心配です。私の子どもたちも地元に残っていないので申し訳ない限りですがそれぞれ住んでいる所で頑張っているのでも・・・。 素晴らしい世界遺産もたくさんあるのに人を呼び込めてないのも残念です。もう少し人が集まるような施設や子どもたちが楽しめるような所、地元以外から「行ってみたい」と思えるような所があればよいと思います。そのようなアイデアをお持ちの方はいないのでしょうか？楽しく素敵な鹿角になって欲しいです。
花輪	女性	—	先日ニュースで秋田県は、秋田市以外は 2040 年頃には消滅都市になっているであろうと報じられてましたが、鹿角市を維持、もしくは発展させていくにはまず子育て支援や、若者が遊べる娯楽施設や県外から移住しやすい街を目指すべきだと思います。もちろん予算をたくさんかけるわけでは無いと思いますから、住宅地の中に小さな公園を作って人の目が届きやすいようにするとか、若い女性が入って来やすいように古い建物を再利用して、ちょっとしたカフェやレストランなどを作ったり、鹿角には今娯楽施設が全く無いのでカラオケ店を復活させたり（もちろん建物の再利用で）手取り早いのが、若者が主催した若者を中心としたイベント（スポーツ大会でもいいですし、

			自分の好きな趣味を話し合うサークルを作る活動をするとか、軽く物を譲りあうイベントとか) があってもいいと思います、予算がないなら無いなら無いなりに創意工夫を凝らして、本気で鹿角市を消滅させたくないのであれば今から手を打つべきだと思います!
--	--	--	---

(3) 職員・市長・市議会議員に関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 歳未満	市議会議員の資質の向上。 具体的には、高い見識と倫理性が重要であるが、それが全く感じられない。
花輪	男性	40 代	市議会と市長の対立、道の駅あんとらあ問題等々、 市議の方々も市長対立だけじゃなく、市民のための仕事をしてください。
花輪	男性	40 代	現在の市議会と市長の対立構造はどういう事なのでしょうか？ どちらも民意によって選出されたはずですが…。このままでは市政に影響をきたすのは間違いないと思います。早急な改善を望みます。
花輪	男性	40 代	鹿角市は選挙のたびにごたつきやすいと感じる。
花輪	—	40 代	市役所で、各課の窓口に行くと女性職員がいないときは奥の男性職員と目が合っても立ってこないで待たされることがある。
花輪	女性	40 代	何を言っても無駄。役所の人顔が、本当に怖い。
十和田	女性	40 代	市議会議員の人たちはどうして関市長の事を悪者扱いしたがるのですか？鹿角市民が選出した方なのに、客観的に見ても異常だと思います。以前、毛馬内のユニバースの駐車場で議員が煙草をふかしてしたのを見て、ホントにこんな奴が議員なのか?と思いました。結局、党や派閥に属していないと議員になったとしても潰される鹿角市議会議員。昔からのクソみたいな風潮で未だにやり続けているから、関市長にはそれをぶっ壊して欲しい。このままだと本気で鹿角市消滅すると思う。
十和田	女性	40 代	現在は市議会には女性が一人もいないが、もっと女性の意見を出しやすい環境を作り出していくべきだと思います。
花輪	女性	50 代	何よりもあんとらあをなんとかして欲しい議員の抵抗に負けず頑張っ欲しい。職員の皆様は市長が代わりやり方が代わり大変だと思うが自分自身で考えて行動して欲しい。何が間違っていて何が正しいのか、議員の圧力に負けず、正しい行動をして欲しいと思います。市民の声で市長が変わりました。その意味をよく考えて欲しいです。鹿角市は素晴らしいところだと思います。ここで生まれて暮らしていることを誇りに思っています。市職員の皆様も市民もみんな一緒にこれからの鹿角市をもっと住みやすく誰もが幸せに感じられる場所にしていきたいです。市長は鹿角のために頑張ってくれていると思います。少々声が大きくなることもあるようですが、市長に協力して鹿角市の未来を明るくして下さい。心からお願いいたします。
花輪	女性	50 代	市長・議会・役所の関係がよくないのが気になる。もっと鹿角市をよくするための建設的な議論をすべき。あら探しをし、足を引っ張りあう印象に見える。
尾去沢	女性	50 代	議員の定数を 5 人減らしてもよいと思う。

花輪	女性	60代	市民の代表である、行政に携わる議員の皆様の行動があまりに気になり、一言記したいと思います。人間の根本である常識がなく悲しく思いました。上下の関係、年上の方への言葉遣い、態度がとても目につきました。先輩の皆様が市民の皆様より偉い、俺は偉い感でいるから、後輩の新入議員の何名かの目に余る行動にがっかりしました。親の姿を子が見てそれでよしとして過ごすものです。もっと常識ある市民の皆様の手本になる人に育てていただきたいと思います。あいさつ、お礼（ありがとう）（すみません）が、心から言える、そんな議員さんの姿を期待します。他人の足を引っ張ることばかりで仕事をやっているのかと心配です。もっとまとまりのある行政を期待します。
花輪	女性	60代	鹿角市の行政や職員は、全てにおいて時代遅れの感が否めない もっと見聞を広めないと取り残される(今でも田舎行政そのもの) 市長をはじめ市議会議員が市職員とJA職員のOBが大半を占めるようでは、先行きは難しい。
花輪	女性	60代	市長と市議会議員の仲たがいを早く終わらせてください。 もっと市で頑張っていることなどを新聞等でアピールしてください。
花輪	男性	60代	市民の目線で市政を執り行って欲しい。
十和田	男性	60代	最近職員の不祥事が多いので市民が安心して暮らせるよう努めてもらいたい。
八幡平	女性	60代	何を望んだところで何も変わらないのが目に見えているので期待しない。今後、全国で自治体が消滅して行く中で、何をして行くべきかを鹿角市職員が考えるべきではないのか。一般企業は生き残りをかけて日々考えながら経営してる。こんなこと言っても市職員には響かないと思うが。
尾去沢	女性	60代	市長と市議会議員がバチバチしてばかりでこの様な状況が、早く終わりますように。
花輪	男性	70歳以上	市議会の資質ある発展を祈る。
花輪	男性	70歳以上	市長にもっと街づくりに前向きな気持ちで望んでももらいたい。
花輪	男性	70歳以上	鹿角市に住む人たちのことをしっかり、市長に考えて、行動していただきたい。
花輪	男性	70歳以上	関市長が大きな自治会の行事には意欲的に参加しているようにみえ、その自治会に協力的だと思う。鹿角は小さな自治会が多数ある為、そういった自治会の行事にも意欲的に参加してもらいたい。いつでも市長室をやるのなら自分から色々な自治会に足を運んでももらいたい。
花輪	女性	70歳以上	市長と市議会議員で意見の違いがあるようですが、市長には頑張ってもらいたいと思います。
十和田	男性	70歳以上	市役所職員が上から目線すぎる。
尾去沢	女性	70歳以上	市議会を見ていると政治への期待を持てないと感じてしまう。

(4) 市の窓口・行政手続きに関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40代	30年ぶりに鹿角市花輪へUターンしてきました。 帰ってきたその足で住民票の変更に行ったら、「土日祝はできません」といわ

			れた。 平日仕事がある人はどうすればいいのだろうか。
八幡平	男性	40 代	役所に取りに來い、手続きに來い、という態度が見られる。
花輪	男性	60 代	市役所に用事があるとき、あまりにオープンすぎて視線が気になり、ある程度の衝立等あってもいいのではないかと思います。声とかも響いて、個人情報話を話す場合気を遣ってしまいます。

(5) アンケートに関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50 代	アンケートの具体的な取り組みの例が抽象的で、何について答えているかわからなかった。アンケートに回答するためには、具体的な資料を回答票とは別に資料を添付して欲しい。正確な情報がなければ回答できない。
花輪	女性	60 代	もう少し回答期限がほしかった。
十和田	女性	60 代	このアンケートがほかの方に届いており、その方が届けてくださった。同じ地区だったため、良いのかわからないが問題だと思うので改善をお願いします。
尾去沢	女性	60 代	総合計画について、難しすぎて市の取り組みについて理解できない。次回からは、若い人を中心的な対象としてアンケートを行って欲しい。

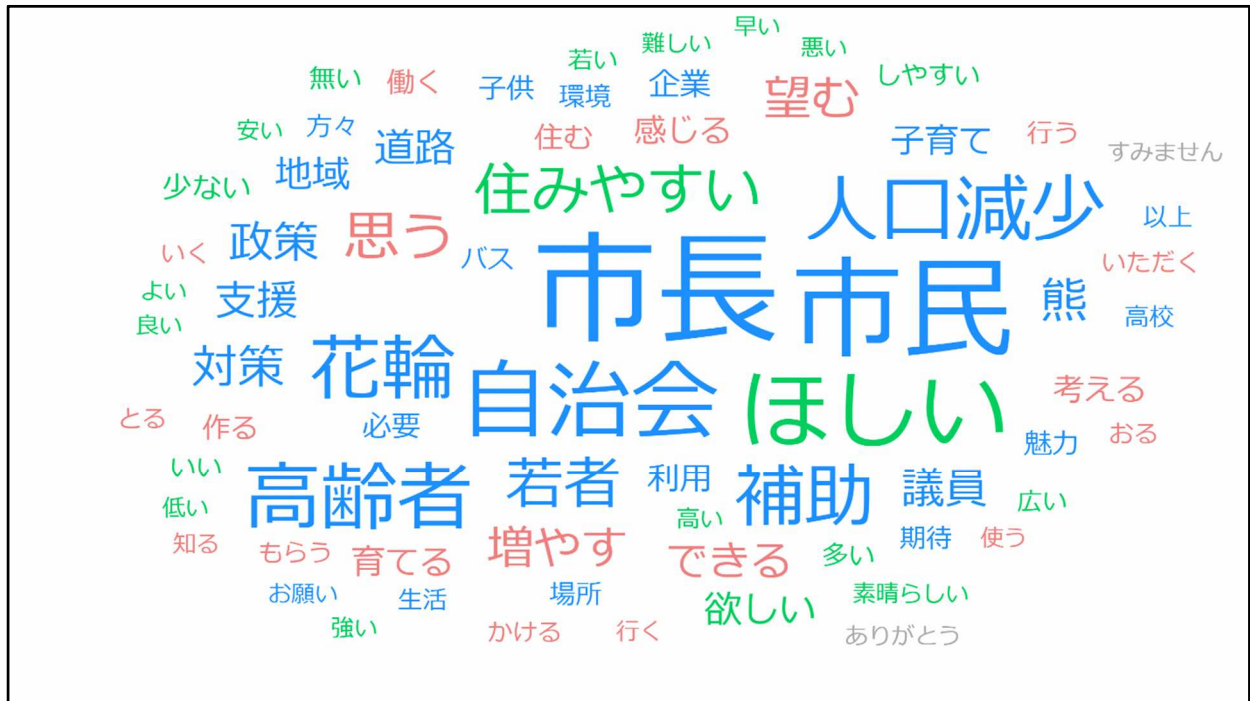
(6) その他

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30 歳未満	住み良いまちづくりを期待しております。
花輪	男性	40 代	鹿角高校に統合され、高校前の道路の通学時間帯の路上駐車がより一層増え危険を感じる。熊が出没する地域のため送り迎えは必要だと思うので、高校敷地内にロータリーを作るなど路上駐車を減らす対策をして欲しい。また高校周辺道路に歩道を確保して欲しい。
十和田	男性	40 代	鹿角市は他の市町村に比べて明らかに景気が悪い。その割には、従業員を募集しても集まりが悪く、しかも働く真剣度が低いと、市外の経営者の方々が言うております。いくら市役所が頑張っても住民が従来の考え方から脱却できず、他人任せでは、鹿角市はよくなりません。
八幡平	男性	40 代	市民のためにありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
十和田	女性	50 代	県外にお土産を送るときに、いつもお店の包装紙で包んでもらうのですが、たんぼ小町ちゃんが印刷された包装紙があればいいと思います。
十和田	女性	50 代	年々、年配者の住みにくい世の中になってきたが、これからは若い人たちのために進めて行って欲しい。未来に期待したい。
十和田	男性	50 代	花輪に声良鶏の像があったはずがいつの間にか無くなっていて残念。子ども時代から、駅に降り立つといつも待っていてくれた。駅はその町の玄関。現在は高速バスも止まる。なのに駅にその町のシンボルが見当たらない。来る客に説明のしようがない。
尾去沢	男性	50 代	「こいずみ眼科へのアクセスについて」 私の祖母が毛馬内からこいずみ眼科へバスで通院しています。狐平のバス

			停からこいずみ眼科へ徒歩で移動していますが、歩道が片側にしかないため、川側の車線の路側帯を怖い思いをしながら歩いているようです。また、小坂方面のバス停が撤去されてしまい不便に感じています。バスでこいずみ眼科へ通院される方がどうにか安全に移動できるように整備して欲しいです。
花輪	女性	60 代	知らないことがたくさんあったのもっとお知らせして欲しいです。
花輪	女性	60 代	生活物品が高い。
花輪	女性	60 代	葬儀費用の定価を市にて決定して欲しい。
花輪	女性	60 代	湯瀬温泉を利用したい。
花輪	女性	60 代	電車料金を安くして欲しい。(特に学割)
花輪	女性	60 代	市役所と管轄が違う川の修理を、自治会を管理している場所に依頼した。石垣が崩れてゲリラ豪雨の際に家が傾くのに 1 年も放っておかれた。2, 3 か月に一回でもいいのでどこまで話が進んでいるのか情報が欲しい。
花輪	女性	60 代	地元の農作物を何時でも買いたい。
花輪	女性	60 代	国道 282 号線の横の川をきれいにして欲しい。魚もいなくなったし草がボーボーで汚いし、夏になると臭い。
花輪	男性	60 代	もっと税金を安くして欲しい。
八幡平	女性	60 代	移動販売などあればいいと思う。
花輪	女性	70 歳以上	秋田県版、鹿角市版、共に広報であると思いますので、右開き、左開きに統一して欲しい。ファイルする時に、また、再度見る時に困る。広報以外の出版物でも同じ方向にして欲しいです。
花輪	男性	70 歳以上	タバコを吸いながら歩いてる人や、街中の歩道や通学路にある灰皿は必要なく、喫煙所になっているので、撤去してもらいたいです。どうしても必要なら、歩道から 30m 以上離れた人目につかなく受動喫煙の起きない場所にすべきです。 ※祭りでの喫煙は毎年ひどい状態です。屋台の中で喫煙している演者がいました。屋台運航道路、会場等、人込みの中では一切喫煙を禁止にすべきです。子供、高齢者、妊婦、病人等々が来る以上、祭りから煙草を排除すべきです。(青森ねぶたでは 10 年以上まえから煙草はなくなってるらしいです)
花輪	—	70 歳以上	あんとらあの道の駅に屋外で遊べる公園を作って欲しい。大湯のが羨ましい。あんとらあにあったら、遊びに行く回数が増えると思う。
十和田	女性	70 歳以上	除草剤は基本毒であることを市民に広くアピールして欲しいです。 浜田から大湯までの広い農道が去年に増して黄色く縁どられていました。去年のことですが、除草剤で黄色く枯れた道端に小学生が座っていました。一般市民だけではなく、学生に対しても、除草剤が害であることを伝えて欲しい。
八幡平	女性	70 歳以上	鹿角市は駅伝のまち、かるたのまちとか聞いていたが、年寄りにも見える大きなかるたを作ってくれたら読み手、取り手も活気づいて年配の人たちにも手軽に触れるきっかけになるのではと思います。

(7) AI テキストマイニングの活用による分析

設問 14 で記述のあった自由意見について、AI テキストマイニングにより可視化しています。テキストマイニングは、大量のデータから必要な情報を抽出するのに役立ちます。ユーザーローカルのテキストマイニングツールにより解析しており、単語をスコア化し、スコアが高い単語を複数選り出して、その値に応じた大きさで図示しています。



(ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析)

スコア順に解析した結果、最も高いスコアとなったのが、「市長」です。市長と市議会議員との対立構造への懸念のほか、市長の市政運営に対する意見がありました。

2番目となったのは「市民」です。安心して暮らせる地域社会を築くために、市民のためになる市政運営を求める意見がありました。また、市民へ情報が行き届いていないといった意見も多いことから、市民への情報提供を効果的にいき、満足度の向上につなげる必要があります。

3番目に高いスコアとなったのが、「自治会」です。自治会というコミュニティならではのしがらみの多さに問題を感じている意見がありました。会員減少への対策と並行して、今の時代に合った自治会の在り方が求められています。

4 番目に高いスコアとなったのは「高齢者」です。高齢者の移動に対する支援のほか、高齢者が行政サービスや情報にアクセスしやすくなる取組みが求められています。

5 番目に高いスコアとなったのは「人口減少」です。人口減少対策として、産業振興や地域の魅力を高めるまちづくりに取り組んで欲しいとの意見があり、特に若者や若い世代向けの施策が求められています。

その他にも、「花輪」では、中心市街地の活性化によるコンパクトなまちづくりに関する意見が寄せられ、「補助」、「支援」では、先述の高齢者だけでなく、子育て世代や、移住者への支援に関する意見が寄せられました。

これらの貴重なご意見につきましては、全庁で情報共有するとともに、次年度以降の事務事業と後期基本計画の策定に反映できるよう検討していきます。

資 料

令和 6 年度市民アンケート回答票

令和6年度市民アンケート回答票

紙による回答用

二次元コード



※インターネットによる回答の方はこちら →→→

ご記入にあたってのお願い

- 1 回答は、あなたの考え方に一番近いものに○をしてください。分からないもの、答えられないものについては無理に回答しなくても結構です。
- 2 対象者（封筒のあて名になっている方）が現在住んでいないなど、回答できない場合は、ご家族の方が代理で回答してくださるようお願いいたします。
- 3 インターネットによる回答を受け付けています。詳しくは、別紙「令和6年度市民アンケートへのご協力について」をご覧ください。
- 4 ご不明な点がございましたら、裏表紙に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

はじめに、あなた自身についておたずねします

設問1 あなたの住んでいる地区、性別、年代について、当てはまるものの□に○を記入してください。

①住んでいる地区	☐ 花輪	☐ 十和田
	☐ 尾去沢	☐ 八幡平
②性別	☐ 女性	☐ 男性
③年代	☐ 30 歳未満	☐ 30 代
	☐ 40 代	☐ 50 代
	☐ 60 代	☐ 70 歳以上
④主な職業 ※兼業の方は、主たる職業を選択してください。	☐ 農林業	☐ 自営業
	☐ 会社員・団体職員	☐ 公務員
	☐ パート・アルバイト	☐ 学生
	☐ 無職	☐ その他

鹿角市の政策についておたずねします

設問 2 あなたは、市が進めている取組にどのくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ 1 つずつ選んで○をつけてください。

基本戦略 1 活力を生む地域産業・生業を支える

市の取組項目		これまでの 満足度						これから の 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
①	地域産業の成長に対する支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③	市内外からの産業の担い手の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略 2 元気で健やかな暮らしを支える

市の取組項目		これまでの 満足度						これから の 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
④	健康診査の推奨や運動による心身の健康づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑤	適切な医療を受けられる体制の整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑥	結婚の希望が叶うよう応援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑦	地域ぐるみの子育て支援の充実	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑧	高齢者のいきいきとした暮らしの支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

具体的な取組の例

①	地域産業の経営基盤の強化（設備投資や人材育成支援）、産業の付加価値を高める取組み、効率的な農林業経営による経営安定と競争力の強化、生産基盤の整備による農業生産力の維持・向上など
②	就職支援の拡大と働きやすい職場環境の形成、女性・若者のチャレンジ促進（資格取得の支援、情報通信により職場以外で働くことの推進）、農林業の担い手育成と定着支援など
③	本市に戻る人、来る人による起業や就業者の創出、首都圏等に住む人や外国人が本市で働きやすい受入環境の構築など

具体的な取組の例

④	健康診査と感染症予防の推進、健康意識の高揚と生活習慣病予防の推進、切れ目のない母子保健の充実、スポーツや運動による健康づくりの増進など
⑤	中核病院における医療従事者の確保と病院機能の充実、安心して医療が受けられる環境づくりなど
⑥	男女の出会いの場の拡大、結婚支援の充実など
⑦	出産・育児に必要な経済的支援、安心・楽しい子育ての推進（子育て環境の充実）など
⑧	住み慣れた地域で安心して暮らすための仕組みづくり、高齢期を元気に過ごすための介護予防と生きがいづくり、認知症にやさしいまちづくりなど

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑨	障がいや国籍にかかわらず誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略3 快適で安らぎのある暮らしを守る

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑩	上下水道による衛生的で良好な生活環境の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑪	安全・安心な住まいづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑫	地域に合った公共交通手段の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑬	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑭	緑と水が映えるまちの環境を保全	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略4 暮らしの安全・安心を高める

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑮	自助・共助による災害への対応力のある地域づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑯	火災や救急に対する体制強化の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

具体的な取組の例

- ⑨ 障がいのある人の地域生活支援の充実や就労機会の充実、地域で支えあう体制・活動の充実（あらゆる世代への福祉支援）、外国人との共生社会への推進など

具体的な取組の例

- ⑩ 水道水の安定供給、下水道等による生活排水対策の充実など
- ⑪ 市営住宅や民間住宅における住環境の向上、空き家等の適正管理など
- ⑫ 公共交通を支える仕組みの構築、公共交通網の維持確保など
- ⑬ ごみ出しマナーや減量意識の向上、資源リサイクルの推進など
- ⑭ 農村が持つ様々な機能の維持、森林の更新・保護による環境保全、快適でいつまでも美しい生活環境の確保（不法投棄の防止、鳥獣被害防止など）

具体的な取組の例

- ⑮ 防災意識の高揚、地域防災力の向上、災害時の迅速な情報提供など
- ⑯ 火災予防・応急手当の啓発と高度な専門職員の養成、消防施設・設備の充実と効率化、消防団活動の充実と活性化など

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑰	災害に強いまちの基盤整備の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑱	防犯や交通安全の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略5 未来に羽ばたく人材を育てる

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑲	子どもから青少年までの生きる力の育成	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑳	地域の特色ある教育活動の実施	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉑	自ら学び、行動する社会人の支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略1 まちに人・モノ・外貨を呼び込む

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
㉒	人や地域の活力を生む交流の促進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉓	販売重視型農業と6次産業化の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉔	稼げる観光振興の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

具体的な取組の例

- | | |
|---|-----------------------------|
| ⑰ | 生活道路等の安全確保、水道施設の耐震化など |
| ⑱ | 消費者被害の未然防止・拡大防止、交通事故防止の推進など |

具体的な取組の例

- | | |
|---|--|
| ⑲ | 豊かな心を育み、のびゆく子どもを支える学習環境づくり、未来に生きる確かな学力と高い志を育てる教育の推進、地域で共に子どもを見守り育てる環境の充実など |
| ⑳ | 自信を持って未来を切り拓くことのできる資質・能力の育成、家庭・地域社会・学校の連携強化、体験等を通して成長できる機会の創出など |
| ㉑ | 自発的な学習活動の促進、新たな教養や感動を互いに生み出し与え合える学習機会の充実、学んだ知識を生かし地域で活躍する人材の育成など |

具体的な取組の例

- | | |
|---|---|
| ㉒ | 地域とのかかわり強化により本市とつながりを持ち活動する人口の拡大、地域間交流により本市を訪れる人口の拡大、地域ぐるみの受入態勢による移住定住の促進など |
| ㉓ | 魅力あるブランド農畜産品や高収益作物の生産拡大、付加価値を生み出す農産物加工の商品化、多様な販売チャネル（販売経路）による消費・販路の拡大など |
| ㉔ | 市全体を観光資源として生かした滞在型観光の充実、地域 DMO（株式会社かつの観光物産公社）による国際的観光地としての受入態勢づくりなど |

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑤	スポーツの力によるまちの魅力向上	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②⑥	次世代産業の創出	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略2 「世界遺産のまち」をつくる

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑦	文化財の保存	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②⑧	ヘリテージ・ツーリズム（文化遺産の観光資源としての活用）の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略3 まちの経営力を高める

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑨	効率的な行財政運営の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑩	未来技術の導入の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑪	多様な主体（自治会や各種コミュニティ）の力で共に発展するまちづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑫	コンパクトなまちづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

具体的な取組の例

- | | |
|----|--|
| ②⑤ | スポーツと観光、レクリエーションなどによる幅広い交流人口の拡大、全国級の大型大会開催とスポーツを支える人材の育成・確保など |
| ②⑥ | デジタル化による未来技術の進展に対応した新たな産業の創出、次世代を担う創業や新たな仕事づくりの推進、エネルギー産業の育成など |

具体的な取組の例

- | | |
|----|--|
| ②⑦ | 伝統芸能などを末永く後世に伝えるための各種保存団体・後継者の育成、文化財の計画的な維持管理と価値を守ろうとする市民意識の向上など |
| ②⑧ | 広く歴史文化に親しむ機会の創出、世界遺産と共に成長する地域人材の育成、観光資源としての文化の最大限の活用、海外向けデジタル観光情報の発信強化など |

具体的な取組の例

- | | |
|----|--|
| ②⑨ | 公共施設の効率的な維持管理や未利用施設の貸付等の推進、市民サービスを支えるための市税や税以外収入の確保など |
| ③⑩ | ICT（情報通信技術）の進展に適切に対応できる環境整備、あらゆる分野の諸課題解決や市民サービス向上に向けた未来技術の導入など |
| ③⑪ | まちづくりに係る地域人材の育成・活動支援、お互いに支え合える自治会活動の充実など |
| ③⑫ | 中心市街地の空き家等を利活用した居住人口の集積、まちなかエリアの交通アクセスと魅力の向上など |

運動の実施状況についておたずねします

設問 3 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの時間はどれくらいですか。

1. ほぼ毎日	→	主に行っている運動や活動： _____ 1回あたりの時間： 約 _____ 時間 (約 _____ 分)
2. 週に1回程度	→	
3. 月に1回程度	→	
4. ほとんど行っていない		

健康づくりについておたずねします

設問 4 ① 市では、RIZAP 株式会社グループと健康づくりに関する連携協定を締結して、健康増進の取組みを進めています。あなたは、昨年度開催した RIZAP 健康セミナーを知っていましたか。

1. 知っていた	→	【参加しなかった理由】 _____ _____ _____
2. 知っていたが参加しなかった		
3. 知らなかった		

設問 4 ② あなたは、常時利用できる有料会員制のスポーツジムが市内にあった場合、利用しますか。（月額 3,000 円程度）

1. 利用したい	→	「2」「3」と回答した方に理由を伺います。 1. 興味がない／必要と思わない 2. 費用が高い 3. その他 (_____)
2. 利用しない		
3. 分からない		

医療相談が受けられる環境づくりについておたずねします

設問 5 市では、健康相談をはじめ、病気や怪我などで不安を感じる時、専門スタッフが24時間、年中無休で電話相談を受ける「テレフォン病院24事業」を行っていますが、あなたは知っていましたか。

- | | | |
|-----------|---|----------------------------------|
| 1. 知っていた | → | 利用したことがありますか。
1. はい
2. いいえ |
| 2. 知らなかった | | |

芸術鑑賞についておたずねします

設問 6 あなたは、昨年1年間に市内外で文化芸術鑑賞をしましたか。また、コモッセで鑑賞したものは何回ありましたか。

文化芸術とは、音楽、演劇、舞踊、映画、メディア（アニメーション、漫画）、美術館、展覧会、コモッセのギャラリー展示などを示します。

- | | | |
|------------|---|---|
| 1. 鑑賞した | → | そのうちコモッセで鑑賞したものは何回ですか。
1. 4回以上
2. 1～3回
3. なし |
| 2. 鑑賞しなかった | | |

コモッセの利用状況についておたずねします

設問 7 あなたは、昨年1年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

- | | | |
|---|---|-------------|
| 1. 毎週
2. 月1回程度
3. 年3回程度
4. 年1回
5. 利用しなかった | → | 【利用しなかった理由】 |
| | | |

文化財についておたずねします

市では、小坂町と共に文化財の保存と活用を進めています。以下の設問について当てはまるものすべて選んで○をつけてください。

設問 8 ① 日常生活の中で文化財・歴史文化・文化遺産に接するのはどの機会ですか。

1. 地域・家庭で行われるまつりや伝統行事、年中行事
2. 学校での授業や行事
3. 博物館などの文化施設での展示や講演・講座
4. 旅行・観光
5. 情報メディアやホームページ、SNS等
6. 機会がない
7. その他（ ）

設問 8 ② 市にある文化財・歴史文化・文化遺産の保存活用を進める上で力を入れるべきだと思う取組みは何ですか。

1. まつりや伝統行事等の担い手の育成
2. 建造物や仏像などの有形文化財の保存や修理
3. 防災・防犯等への対策
4. 講座や展示、情報発信の充実
5. 学校教育での充実
6. 古民家などを生かした民間事業者等によるビジネス化
7. その他（ ）

設問 8 ③ どのような取組みであれば自分でも協力できると思いますか。

1. 担い手としてまつりや伝統行事等への参加
2. イベント等への支援や遺跡・文化財等の草刈りなどのボランティア活動
3. SNSやインターネット等での情報発信
4. 保存活用のための寄付
5. その他（ ）

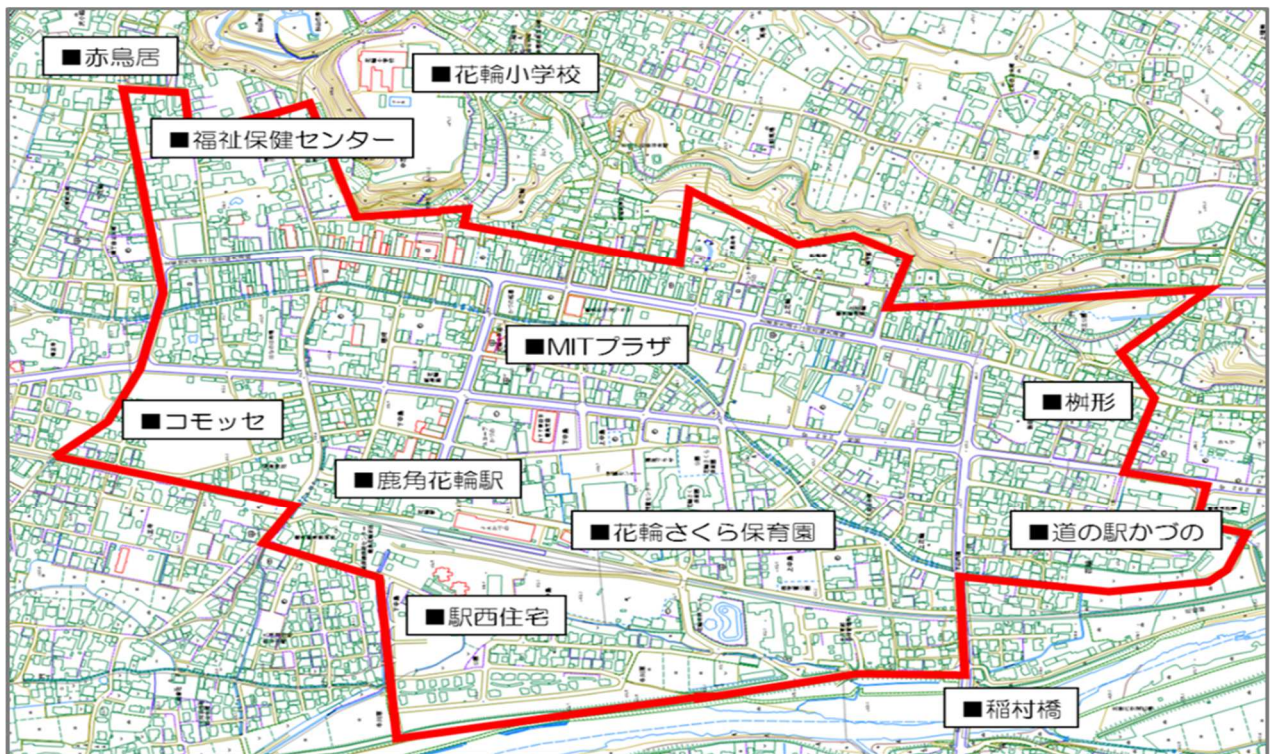
大湯環状列石についておたずねします

設問 9 市では、世界文化遺産「大湯環状列石」の保存と活用を進めています。大湯ストーンサークル館の展示に、どのような内容を期待しますか。(複数回答可)

1. 展示スペースの充実
2. 体験型の展示（触れられる展示物の設置、生活体験など）
3. 最新の映像技術を取り入れた展示
4. 分からない
5. その他（ ）

中心市街地についておたずねします

ここでいう中心市街地は、線で囲まれた以下の区域を指します。



設問 10 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

- | | |
|--|------------|
| 1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満である
4. 不満である | 【不満と感ずる理由】 |
|--|------------|

大館能代空港の利用についておたずねします

設問 11① あなたは昨年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日）、空港を利用しましたか。

1. はい	→ { どの区間を利用しましたか。（複数回答可） 1. 大館能代空港⇄羽田空港 2. 青森空港⇄（ ）空港 3. いわて花巻空港⇄（ ）空港 4. その他（ ）空港⇄（ ）空港 }
2. いいえ	

設問 11② 大館能代空港の利用促進を目的に、市民の方を対象に運賃助成（片道 5,000 円）をしています。あなたはこのことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

カーボンニュートラルについておたずねします

設問 12① 市では、令和4年3月に 2030 年までにカーボンニュートラル（※）を達成することを宣言しました。このことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

※地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量と森林による吸収量を均衡させることを言います。

設問 12② カーボンニュートラルの実現に向け、日常生活で取り組んでいることはありますか。当てはまるものすべて選んで○をつけてください。

1. 冷暖房の適切な温度設定	2. こまめな消灯などの省エネ
3. 省エネ効果の高い製品の購入	4. 宅配便の再配達防止
5. 住まいの断熱	6. 徒歩・自転車・公共交通機関の利用
7. 電気自動車の選択やエコドライブの実践	

まちの満足度についておたずねします

あなたが思うまちの満足度について、それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

設問 13① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

[illegible]

ポストにご投函ください。

90 令和6年度市民アンケート報告書

令和 6 年度
市民アンケート実施結果報告書

令和 6 年 8 月
鹿角市総務部政策企画課総合戦略室
電話：0186-30-0201
FAX：0186-30-1122
E-mail：kikaku@city.kazuno.lg.jp